大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2022

にまっすぐ。

人にまっすぐ。

CONTENTS

001 学長挨拶
002 学生たちの「今」と「未来」
007 数字で知るOKU
009 学部・課程・学科・専攻 一覧
011 教育実習
015 就職支援
019 海外留学・国際交流
023 PROFESSOR MESSAGE
025 教員養成課程
059 教育協働学科
073 大学院／特別専攻科
075 OKUトーク
079 年間行事
081 クラブ＆サークル
083 学生宿舎・下宿
084 アルバイト・ボランティア
085 キャンパスマップ
092 附属学校園
095 就職DATA
098 学生DATA
099 入試GUIDE
101 入学金・授業料・奨学金
102 学位プログラムと3つのポリシー
111 アクセス

未来を創る

大阪教育大学 学長 栗林 澄夫

大阪教育大学は、1874年の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史がありますが、学校現場で各教科を中心とする知識の確実な伝授ができる人材の育成とそれを基礎として思考力の発展を促進できる人材、また、高い倫理観を持ち、広い教養に裏付けられた判断力に基づいて、広く社会や学校現場に貢献し指導的な役割を果たすことのできる人材の育成を主眼とした教育を行ってきました。

現代社会は、急速な人口の減少、グローバル化やIoT等の技術革新等がすさまじい速度で変化しているため、日本の教育は質の保証と高度化へ向けて新たな時代を迎えつつあります。グローバル化が進行する世界の中での日本は、これまでの教育の基盤を大切にしつつも、広く国際社会に向けて貢献できる活動が求められることになります。また、Society5.0の時代を迎えるにあたっては、AI等の普及により新たな価値を生み出す力、時代をけん引する力などを身につけることが必要になってきます。

かつてスマートフォンやインターネットの普及を予想できなかったように、これからの社会も予測不可能な変化が起きることとなるでしょう。そうした社会や新型コロナウイルスがもたらしたニューノーマルの時代の中で育つ児童・生徒の置かれる状況は、これまでよりも一層複雑化し、多様化していて、育成には多くの困難が予想されます。

しかし、未来を創るのはその児童・生徒たちです。そしてその児童・生徒たちと最も向き合うことが出来るのが教育です。

学校の教員だけでなく全員がそうした認識を持ち、児童・生徒たちを支え、日本の未来を一緒に創るという使命感と倫理観に基づいて活動してほしいと願っています。

おりしも、入学者選抜改革、新学習指導要領の導入など様々な教育改革が行われていますが、西日本最大の教員養成大学である大阪教育大学では、最先端の教育的課題に真っ向から取り組み、学生に真摯に向き合う優秀な大学教員や、夢を共有し、切磋琢磨しながら励まし合える多くの友人達にきっと出会えます。

大阪教育大学で学び、成長し、協働して未来を創る人材になりませんか。

大阪教育大学の沿革

- 明治7年5月 教員伝習所 — 大阪市東区南久太郎町、東本願寺掛所内に創設。
- 明治8年8月 大阪府師範学校 — 初期の頃は大阪府学務課の管理に属し、校舎も大阪市北区天満河内町の興正寺内から、東区法円坂町に移り、更に中之島常安町と転々とした。女子師範科の設置（明治１８年７月設置・明治１９年５月廃止）。
- 明治19年9月 大阪府尋常師範学校 — 府立堺師範学校及び府立吉野師範学校を合併し、師範教育令及び尋常師範学校官制の公布に伴って、大阪府尋常師範学校と改称。
- 明治31年4月 大阪府師範学校 — 明治２３年４月、再び女子部が設置され、明治３１年４月、大阪府師範学校と改称、同時に女子師範学校の独立が決定。
- 明治33年4月 大阪府女子師範学校 — 南区天王寺字桃山に新校舎が竣工し、大阪府女子師範学校が発足。昭和２年３月、住吉区平野流町に新校舎を竣工し、移転。
- 明治41年4月 大阪府天王寺師範学校
- 明治41年4月 大阪府池田師範学校 — 池田市上池田町、旧大阪府池田中学校の土地、建物を充当して設置。
- 昭和18年4月 大阪第一師範学校 — 師範教育令改正及び師範学校規程制定実施によって大阪府天王寺師範学校及び大阪府女子師範学校を廃止し、文部省直轄の大阪第一師範学校が創設され、男子部が天王寺に、女子部が平野に置かれた。
- 昭和18年4月 大阪第二師範学校 — 昭和１９年４月南河内郡富田林町毛入谷、元大阪府富田林高等女学校旧校舎を使用して女子部を設置。
- 昭和24年6月 大阪学芸大学
- 昭和42年6月 大阪教育大学
- 平成16年4月 国立大学法人大阪教育大学

大阪府師範学校（常安町）
川に面した北側の門柱には
「大阪府師範学校」とある

大阪学芸大学の門標
（天王寺分校正門）

学生たちの「今」と「未来」

大阪教育大学には教員免許取得を卒業要件とする課程と、卒業要件としない学科があります。
その学びは多種多様な分野を含むため、キャンパスには実に個性的な学生たちで溢れています。
彼らにとっての「今」の大教大での学びが、自分の思い描く「未来」にどう繋がっているのか、どんな計画を考えているのかを
それぞれの視点から正直な意見として語ってもらいました。

今 子どもの心に寄り添える教員になりたい

大阪教育大学では、少人数で学ぶことができるので、同じ夢をめざす人たちや先生方と強い繋がりを築けることが、魅力だと思います。先輩や後輩と共に何度も行事運営や劇作りなどをすることで、教員になるために必要なことを実践的に学ぶことができます。皆で何かを作り上げる達成感はなかなか味わうことのできない貴重な経験です。互いに理解し合える大切な友人がたくさんでき、教師になってからも助け合える関係が築けます。また、大学内のつながりだけでなく、卒業後に教師をしている先輩たちとの繋がりが深いです。何度も直接話を伺える機会があり、4年間で教員になりたいという気持ちがより一層強くなりました。是非大阪教育大学で素敵な先生をめざしませんか。

未来

子どもたちが毎日幼稚園に来るのが楽しみだと思えるような遊びを一緒にできるように、ずっと学び続けたいです。

初等教育教員養成課程
幼児教育専攻
浅井 恵莉奈さん（出身校：大阪府立生野高等学校）

今 生徒が楽しいと感じる数学の授業を目標に

私が大教大に入学して教員をめざすようになったきっかけは、高校のときに「数学が楽しい」と感じるようになり、この楽しさを将来の子どもたちにも伝えていきたいと感じたからです。そこで、教員になって子どもたちに数学の楽しさを伝えるために、まずは自分自身が数学をもっと楽しいと思わなければいけないと思ったので、現在は大学で学ぶ数学の勉強を頑張っています。大学の数学は高校までの内容と違って抽象的な内容ばかりなので理解するだけでも大変ですが、周りにいる同じ専攻の仲間と一緒に切磋琢磨して取り組むことができています。また、専攻の仲間に限らず周りにも教員志望の友人がたくさんいることもモチベーションにつながっています。あなたも大教大に入学して、一緒に教員をめざし頑張りましょう!

未来

子どもたちに「数学は楽しい」と感じてもらい、数学から考える力を育てていくことを実現したいです!

学校教育教員養成課程
小中教育専攻 数学教育コース
樋口 紘斗さん（出身校：大阪府立高津高等学校）

学校教育教員養成課程
小中教育専攻 国語教育コース

藤本 有裕さん（出身校：上宮高等学校）

今 新たな対話の形を模索し続ける教師に!

私の所属する国語教育コースでは、3年時から共同研究を始めます。一人ひとりが興味関心のある分野のゼミナールを選んで所属し、指導教官と話し合いながら、研究対象を決め、探究活動を行うのです。私は、漢文ゼミナールで5人の仲間達と、竹林七賢の領袖である嵇康の残した論文や詩、書簡を読み、対話を重ねて、彼の死生観を明らかにしていきました。令和2年度は、コロナ禍で、コースの冬学会の発表もリモートになりましたが、各ゼミとも、ビデオやオーディオピクチャーを作成したり、資料に工夫を凝らしたり、プレゼンテーションでもリモートならではの新しい挑戦をしました。共同研究を通じて、身につく文献調査や研究の方法は、教職に就いたときには深い教材研究に繋がると思います。

未来 互いに尊重し合い、対話によって新たな地平を拓く国語教室を創造する。

教育協働学科 グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース

徳田 夏子さん（出身校：東京学館新潟高等学校）

今 多様な国際関係に貢献できるグローバルリーダーをめざして

私には、人としての尊厳が尊重され幸福と感じられる国際社会の実現に貢献したいという夢があります。そのために、コミュニケーションの基本となる英語学や、世界の文化・歴史等を知る国際理解を中心とした教育学を学んできました。また、学習支援ボランティアや新興国での短期留学を経て、現代を生きる私たちの生活を客観的に見つめ直す貴重な機会を得ることができました。その経験により、多様に進化し続ける国際社会には課題が多く存在していると実感しました。そうした課題の平和的解決に向けて、日本という国の立場からより良い社会づくりを目標として、今後の進路に繋げたいと考えています。

未来 大学で学んだ沢山の知識を世界に発信し、日本と世界の架け橋になりたいです!

教育協働学科
芸術表現専攻 音楽表現コース

西前 日菜子さん
（出身校：大阪府立夕陽丘高等学校）

今 人の心を癒やせる演奏家になりたい

大阪教育大学は専門である「音楽」と「教育」を学ぶ事ができる魅力的な大学です。同じ夢や目標を持つ仲間たちに囲まれながら過ごす大学生活はとても充実しています。現在私は、専門実技のピアノに力を入れ、日々練習に励んでいます。自分のソロだけでなく、室内楽や伴奏も学び、学内外での演奏会を通して貴重な体験を重ねています。大阪教育大学に入学し、素敵な先生に出会うことができ、もっとピアノや音楽を学び演奏家になりたい、そして先生のような素敵な指導者になりたいという夢ができました。この夢を叶える第一歩として大学院の受験をめざして頑張っています。残りの大学生活もたくさんのことを吸収し、時間を大切に過ごしていきたいです。

未来 演奏家としても指導者としても活躍し、音楽の楽しさをたくさんの人に伝えていきたいです。

今 ポジティブシンキングで生徒を勇気づけたい

大教大での活動はとても充実したものとなっています。授業では他学科の学生と交流する機会がたくさんあり、様々な人に出会えます。グループワークやディスカッションなどのコミュニケーションを取る場面が授業では中心となっているので、コミュニケーション能力の向上が図れます。また、日々の授業では、教員として必要な力を身につけることができるのも良いところです。一方、部活動では男子バスケットボール部に入部しましたが、楽しくそして本気で取り組むことができています。学生主体となってチーム運営から日々の練習までを取り組んでいます。仲間と協力して考えたりチャレンジしたりすることが多く、仲間の存在にとても助けられています。ぜひ、大教大で勉学と部活に励みましょう。

未来 学校教員としても一流となり、部活動の指導者でも一流になりたい。

教育協働学科 スポーツ科学専攻

原 未来斗さん
（出身校：広島県立広島皆実高等学校）

今 勉強を「楽しい」と思ってもらえる教師をめざして

「勉強が楽しい=勉強したことが身近に感じる」という信念をもとに、学んだことが実際に身についたと思ってもらえるような教師になるべく日々頑張っています。私が所属している自然科学コースでは、理科の教員になるための勉強だけでなく、実際に教壇に立った時に役立つ教材の開発、学外の団体の方々とのタイアップでイベントを企画・運営する実習といった様々な活動が行われているので、座学だけではない生きた知識を学べています。また、カリキュラムも朝から晩までぎっしり詰まっているというわけではないので、自身が興味を持った分野の勉強や関係する資格の取得を課外活動として行ったりもしています。そして、大教大の多種多様な課程や学科があることを生かして、同じ専攻の人だけでなく他の専攻の人たちと仲良くなって、いろんな価値観や考え方を深めたりもしています。

未来 学んだだけでは終わらず、子どもたちの将来に役立つようなことを教えられる、そんな教師になりたいです!

教育協働学科
理数情報専攻 自然科学コース

田中 奏多さん（出身校：大阪府立天王寺高等学校）

今 小さな変化に敏感な養護教諭をめざして

私が所属する養護教諭養成課程では、充実した講義はもちろん、教育現場や病院での実習により、学校で起こる出来事に対応する力を身につけることができます。

同じ養護教諭をめざす仲間とともに切磋琢磨しながら、支え合いながら日々勉強に励んでいます。また、私は大学の講義や実習に加えて、インターンシップやボランティア、サークル活動に参加しています。その中で、さまざまな専攻の仲間の多様な価値観や考え方にふれ、感性を研ぎ澄ましています。大阪教育大学で、共に高め合える仲間と充実した大学生活を送りませんか。

未来 子どもの一歩踏み出す手助けをし、共に成長することができる保健室をつくりたいです。

養護教諭養成課程

石黒 まいさん（出身校：大阪府立四條畷高等学校）

今 生徒と向き合い、個性を尊重できる教師をめざす

大阪教育大学柏原キャンパスは、自然豊かな立地にあります。なので、気持ちのよい自然の空気を吸いながら活動することができます。個性豊かな同回生と協力しながら、作品制作や作品鑑賞を通して、互いの考えや意見を認め合います。自分のやりたいことや研究したいことを見つけ、仲間同士でコミュニケーションを取り、励まし合いながら、楽しく作品制作を行うことができる環境だと思います。さらに、研究室の先生や先輩と気軽に話せる環境でもあると思います。作品制作や授業に対する質問をすると、先生や先輩は真摯に向き合って下さり、丁寧に教えてくれます。また、先輩が体験した教育実習や教員採用試験の話を聞く機会が沢山あったので、具体的にイメージすることができました。私にとって、この大学はとても居心地のいい場所です。

未来 人との交流を大切にし、生徒を支えられるような誠実な教師になりたいです。

学校教育教員養成課程
中等教育専攻 美術・書道教育（美術）コース

岩本 奈々さん（出身校：神戸市立六甲アイランド高等学校）

今 児童一人一人に寄り添える教師になりたい

私は夜間コースに所属しているので、昼間はアルバイトを行い、18時から大学の講義を受けています。アルバイトでは、大阪市で特別支援サポーターとカフェで勤務をしています。昼間に実際の学校現場で勤務することができ、接客業ではコミュニケーション力をつけることができます。夜間5年コースでは小学校教師になるための時間を有効に活用することができます。また講義の後には、バスケットボールサークルとして活動しています。同じ学科や学年の人だけでなく、サークル活動や学校行事を通して、先輩・後輩とも仲良くなれます。4回生になってからは、大阪市教育センターが開講している、大阪市教員養成講座を受講しています。多くの受講生と共に、大阪市の教員になるために切磋琢磨しています。

未来 子どもたちの個々の特徴を理解し、一人一人に合わせた対応ができる学校を作りたいです

初等教育教員養成課程
小学校教育専攻 夜間５年コース

竹井 佑允さん（出身校：大阪府立北千里高等学校）

数字で知るOKU

大阪教育大学にはたくさんの魅力があります。
その中でも、今年の大学案内で紹介したい内容を
数字で表してみました。
それぞれには関連するページを記載しています。

140年
歴史と伝統を有する
日本有数の教育大学

01P

西日本最大の教員養成大学
学部学生数
3,955名

98P

全国の大学における
教員就職者数
ランキング
1位
朝日新聞出版
「大学ランキング2022」より
(小学校・中高一貫校・中学校・高校教員の合計)

95P

世界に触れよう!
豊富な海外協定校
12
国・地域
33
海外協定校

19P

令和元年授業料免除の計
2億7千万
(前後期〈全額・半額〉延べ免除者数1,525名)

101P

大阪府内に
2キャンパス
2つ

アクセス便利な都市型の
天王寺キャンパス

郊外型の自然豊かな
柏原キャンパス

111P

広大な柏原
キャンパス
に驚き!
67万m²
阪神甲子園球場の約17倍

85P

多様な専攻・
コース設定で
様々な学びを実現!
35
専攻・コース設定

09P

少人数制
による
きめ細かい
講義
3.6名
(学部募集人員〈900名〉/本学教員数〈250名〉)

09P

約6割
の学費
62.9%
私立大学文系平均を100とした場合、
本学の学生納付金4年間合計は
62.9%の学費となります。

101P

62.5%
6割の学生が
課外活動で
(クラブ・サークル等)
活動しています

81P

昨年度ウェブ
オープン
キャンパス
参加者数
1,313名
(2日間計、保護者含む)

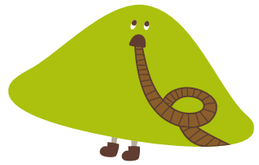
79P

学部・課程・学科・専攻 一覧

学部	キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員	取得できる教員免許状（注1） 幼	小	中	高	特支	養護	卒業後イメージ	掲載ページ
教育学部	天王寺（注2）	初等教育教員養成課程	幼児教育		15	●	○					幼稚園教諭、小学校教諭など	P.27～28
			小学校教育	昼間コース	45	○	●					小学校教諭、幼稚園教諭など	P.29～30
				夜間5年コース	40		●					小学校教諭など	
				夜間コース（3年次編入学）	（25）		●						
		小　計			100（25）								
	柏　原	学校教育教員養成課程	特別支援教育		45		●			●		特別支援学校教諭、小学校教諭など	P.31～32
			小中教育	学校教育	25		●	△	△			小学校教諭、中学校教諭 高等学校教諭など	P.33～44
				国語教育	40		●	○国語	○国語				
				英語教育	15		●	○英語	○英語				
				社会科教育	35		●	○社会	○地理歴史 ○公民				
				数学教育	25		●	○数学	○数学				
				理科教育	35		●	○理科	○理科				
				家政教育	10		●	○家庭	○家庭				
				保健体育	30		●	○保健体育	○保健体育				
				音楽教育	10		●	○音楽	○音楽				
				美術・書道教育 美術分野	15		●	○美術	○美術				
				美術・書道教育 書道分野			●	□国語	□国語 ○書道				
			中等教育	国語教育	10		□	●国語	○国語	□		中学校教諭、高等学校教諭 特別支援学校教諭など	P.45～56
				英語教育	15			●英語	○英語				
				社会科教育	10			●社会	○地理歴史 ○公民				
				数学教育	25			●数学	○数学				
				理科教育	25			●理科	○理科				
				技術教育	10			●技術	○工業				
				家政教育	10			●家庭	○家庭				
				保健体育	10			●保健体育	○保健体育				
				音楽教育	10			●音楽	○音楽				
				美術・書道教育 美術分野	10			●美術	○美術				
				美術・書道教育 書道分野				○国語	○国語 ●書道				
		養護教諭養成課程			30						●	養護教諭など	P.57～58
		小　計			450								
計					550（25）								
	柏　原	教育協働学科	教育心理科学		40							教育・心理・人材育成系の企業・公務員・団体職員、社会福祉系企業、企業の人事管理・人材育成部門、教育サービス企業など	P.61～62
			健康安全科学		35			○家庭	○家庭		○	健康・安全系の企業・公務員、学校安全コーディネーター、食品関連企業、住宅系企業、医薬系企業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭など	P.63～64
			理数情報	数理情報	40			○数学	○数学			ＩＣＴ系教材開発企業、ＩＴ関連企業、情報処理・情報通信系企業、化学・薬品系企業、電器・機械メーカー、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	P.65～66
				自然科学	60			○理科	○理科				
			グローバル教育	英語コミュニケーション	30			○英語	○英語			語学指導者、国際交流機関職員、通訳・翻訳業、航空業界、ホテル業、観光業、商社、出版業、外資系企業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	P.67～68
				多文化リテラシー	45			○国語	○国語				
			芸術表現	音楽表現	40			○音楽	○音楽			文化振興系公務員・団体職員、芸術教材開発企業、演奏家、楽器講師、音楽・美術の指導者、広告代理店、グラフィックデザイナー、楽器販売業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	P.69～70
				美術表現	10			○美術	○美術				
			スポーツ科学		50			○保健体育	○保健体育			スポーツトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、アスリート、スポーツ用品メーカー、スポーツ振興系公務員・団体職員、競技団体職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭など	P.71～72
		小　計			350								
合　計					900（25）								
大学院 ／ 専攻科													P.73～74

大阪教育大学公式キャラクター
【 たまごどり 】
大阪教育大学のロゴマークのフォルムでもある「たまご」がモチーフです。明るく元気で少しおっちょこちょい。今はまだ飛べませんが、未来に羽ばたく学生たちのように、いつか自由に飛びまわることを夢見ています。

大阪教育大学公式キャラクター
【 やまお 】
柏原キャンパスのある自然豊かな山々をイメージしています。のんびりした性格。ずっと昔からこの地にいて、とても物知りです。柏原キャンパスができてからは学生のみんなを優しく見守っています。



（　）は夜間3年次編入を表し、外数。

（注1）●は卒業要件を満たすことにより取得できる免許状。
○は卒業要件以外にコースに応じたそれぞれの免許状に必要な科目の単位を併せて修得することによって取得が可能。
ただし、△（学校教育コース）は社会など取得できる教科が限定されます。
□は履修要件を満たした者に限り、取得のために必要な科目の単位修得が認められます。
幼…幼稚園教諭一種　小…小学校教諭一種
中…中学校教諭一種　高…高等学校教諭一種
特支…特別支援学校教諭一種　養護…養護教諭一種

（注2）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻（昼間コース）は、1～2年次を柏原キャンパスで履修予定です。

取得可能な資格等

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許状を取得できる課程・専攻等において、「学校図書館司書教諭」の資格が取得可能です。
また、全課程・学科において、「図書館司書」「学校司書（注3）」の資格等取得のための履修が可能です。
ただし、「図書館司書」「学校司書」の資格等取得に必要な授業は、柏原キャンパスにて開講予定です。

学校図書館司書教諭

小学校などで教諭として採用された者が、学校教育に必要な書籍や視聴覚資料の管理、読書指導を行う仕事です。司書教諭として勤務するための前提として、小学校などの教諭の普通免許状を取得する必要があります。

図書館司書

公立または私立の図書館で勤務し、資料の収集・提供、読書相談や調査研究の援助、読書活動の助成、集会・行事の企画などを行う仕事です。図書館で働く職員のすべてが司書であるわけではなく、図書館における専門的な職務に携わる専門職です。

学校司書

学校図書館において、職員として児童又は生徒及び教員が学校図書館を利用するために必要とされる事務的仕事を行います。

（注3）学校司書は学校図書館法上、資格としての定めはありません。
文部科学省が定める学校司書養成のモデルカリキュラムに対応する科目を開講し、修了者には単位取得証明書を発行します。

※この他にも取得可能な資格がありますので、詳細については専攻・コースごとのページをご覧ください。

学生の未来をサポート
OKU STYLE
01

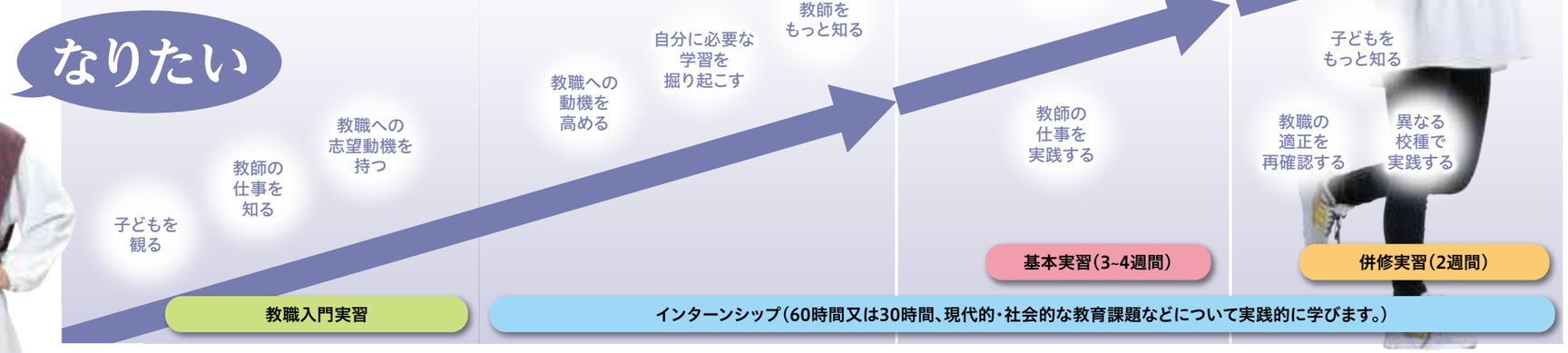
教育実習 大教大だからできる 超現場主義！

積み上げ型の教育実践システム

1・3・4回生での教育実習に加えて、2回生からの段階に応じた学校インターンシップでは、児童・生徒との関わり方やクラスづくりに加えて今日的な教育課題に触れ、学校教育の現状について学びます。その学びを大学の修学につなぎ、教員としての実践力を身につけます。

「なりたい」から「なる！」に つながる実習

大阪教育大学では「4年間を通した学校現場における実践的学修」を行っています。4年間にわたり教育実習と学校インターンシップを行い、力を積み上げることで、教師としての実践的指導力を身につけます。さらに「電子ポートフォリオ」を取り入れ、指導教員と学びの軌跡を確認します。そうすることで総合的な教育実践力と専門分野の知識・技能を向上させます。



1回生：導入期

教わる側から教える側へ 視点を転換する

【必修】初等教育教員養成課程・学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

教師の視点で子どもに関わる経験をし、学校現場の教師の姿から子どもへの関わり方を学びます。得られた課題を学校インターンシップでさらに追求します。

2回生：体験期

基本実習に備えて 実践の基礎を身に付ける

【必修】幼児教育専攻・小学校教育専攻
【選択必修】中等教育専攻
【選択】小中教育専攻・養護教諭養成課程

基本実習前の学校インターンシップは基本実習の準備段階と言えます。子どもとの関わりを深め、学級でのルールや子どもの様子を理解し、先生方の仕事の補助をします。

3回生：実践期

学習指導と授業実践力を 身に付ける

【必修】初等教育教員養成課程・学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

児童・生徒の実態に応じた教材研究や授業づくりを経験することで、実践的な指導力を身に付けるとともに、教職の専門性を高めます。基本実習での学習は今後の教職への力と自信になります。

4回生：発展期

基本実習で身に付けた 実践力にみがきをかける

【選択必修】中等教育専攻
【選択】小中教育専攻・養護教諭養成課程

本実習後の学校インターンシップでは特に、児童・生徒への指導や支援を充実させることができます。先生方の仕事の補助もきめ細やかに行うことができます。教師の卵としての力量を身に付ける最終仕上げの段階です。

学校インターンシップと教育実習の接続

専攻やコース、学校のある自治体などにもよりますが、学校インターンシップを行う学校と同じ学校での教育実習を希望することができます。教育実習前に学校インターンシップの活動を行えば、児童・生徒や先生方との人間関係をあらかじめ作っておくことができ、教育実習を円滑にスタートさせることができます。

実習制度

	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
小学校教育専攻 夜間5年コース				教育実習Ⅰ(必修)	教育実習Ⅱ(必修)
	1日授業観察(必修)	学校インターンシップ体験(必修)	学校インターンシップⅠ(選択)	学校インターンシップⅡ(選択)	学校インターンシップ Ⅲ(選択)
教育協働学科	教員免許状取得を希望する学生は、教職実践演習の履修が必要です。教育実習は、4回生で、主として附属高等学校において行っています。				

電子ポートフォリオによる学び診断

夢を叶えるために受けた授業や経験したことなど、「学びの軌跡」を蓄積し、自分の成長を確認します。「履修カルテ」と「教育実習カルテ」で構成されます。

履修カルテのポイント

●自分を知る
○全学生が入力　○学習や卒業後の目標を自分で設定
○授業科目の履修状況と学修成果を把握
●何を学んだか、何を感じたか、を記録
○履修した全ての授業科目についてふりかえり（自由記述）を入力
○学外実習・ボランティア経験も記録
●評価する
○教育実践演習シートでは、教員に必要な様々な資質能力について自己評価
○年2回、指導教員がデータを見てコメント

教育実習カルテ

教育実習カルテは、それぞれの実習の指標にそって作成しています。自分の到達目標を設定し、実習にのぞみます。

ポートフォリオと指導教員

指導教員は、入学から卒業までの間、継続的に面談をおこない、履修カルテに基づいて、指導や助言をし、良好な大学生活を送れるように支援します。

ポートフォリオをもとに指導教員と面談

教育実習 FAQ

Q. 教育実習など学校現場に行く機会はどれくらいありますか。

A. 本学の初等教育教員養成課程、学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程では，正課（授業）で「教職入門実習（教職入門の授業内で実施）」「基本実習」「学校インターンシップ」等があります。さらに正課外でも、「学校サポート活動」などボランティアで活動する学生も多くいます。時間割次第では毎年学校現場で活動することが可能です。なお、教育協働学科で教員免許状取得を希望する学生は、4回生時に教育実習に参加することになります。

Q. 教育実習は取得する免許と実習先に関係はありますか。小・中・高全ての教員免許がほしい場合は全ての校種で実習しなければいけないですか。

A. 関係があります。基本実習は大学案内9ページで「●」表示されている免許を取得するための実習です。小学校免許が「●」表示のコースの基本実習は小学校、中学校免許が「●」表示のコースの基本実習は中学校または高等学校で行います。なお中高の教員免許を両方取る場合、実習先は中高のどちらか一方だけになります。
（例）小中教育専攻所属で小・中・高全ての教員免許を取得する場合
3回生時に小学校で基本実習（3週間）
4回生時に中学校（または高校）で併修実習（2週間）

Q. 教育実習の実習先はどのようにして決まりますか。母校（他府県など）に行くこともできますか。

A. 基本的には本学附属学校園が実習先です。実習の種別によっては大学近隣の公立学校も実習先となります。これらの学校だけでは全ての実習生を受け入れることができないなどの理由で、実習の種別、教科等によっては出身校等での実習を認めている場合があります。また、学校インターンシップの受入校で教育実習を受け入れてもらえる場合もあります。なお、近畿の学校に限るなど地域に制約がある場合があります。

※教育実習の実習校等については、今後変更の可能性はあります。

学生の未来をサポート
OKU STYLE
01

教育実習体験記

Student Voice

「絶対に教師になる!」改めて実感できた教育実習

私は、3回生の時に小学校、4回生の時に中学校の実習へ行きました。元々、小学校でスクールサポーター等の活動をしており、子どもと関わる経験をしてきましたが、子どもたちを目の前に授業を行うのは初めて。実習が始まるまでは、緊張と不安でいっぱいでした。

実習では、明るく元気いっぱいな子どもたちと出会いました。一緒に遊んでいると、あっという間に楽しく1日が過ぎていきました。

先生は授業内外問わず、たくさんの仕掛けや工夫をされており、私もこんな授業やクラスづくりをしたいというイメージを少しずつ持ちはじめました。

そんな中迎えた初めての授業。授業をすることに精一杯で、うまくいかない悔しさが残りました。先生からご指導いただき、授業の回数を重ねていくにつれ、子どもたちとのやりとりで授業が進んでいく楽しさを感じることができました。

私は教育実習を通して、教師という仕事の大変さ以上に、やりがいや喜びも得ることができました。そして、「絶対に教師になる!」と、改めて実感することができ、有意義な実習になったと感じています。

実習先(小学校)でのある1日のスケジュール

6:30～ 7:30	起床・準備
7:30～ 8:00	登校・準備
8:00～ 8:30	教室で児童を迎える
8:30～ 8:50	朝の会
8:50～ 9:35	1限目　国語の授業見学
9:45～10:30	2限目　算数の授業
10:45～11:30	3限目　他クラスでの算数の授業
11:40～12:25	4限目　体育の授業
12:25～13:15	給食・掃除
13:30～13:50	昼休み
13:50～14:35	5限目　英語の授業見学
14:45～15:30	6限目　社会の授業見学
15:30～15:40	帰りの会
15:40～16:30	実習ノート記入・教材研究
16:30～17:30	反省会・授業準備
17:30～	帰宅

学校教育教員養成課程
小中教育専攻
美術・書道教育コース
中川 奈美さん
(出身校:大阪府立富田林高等学校)

現場にしかないやりがいと、教師という道への決意

私は、3回生時に中学校へ3週間、4回生時に小学校へ2週間の実習を行いました。

大学で模擬授業をしたことはあれど、現場では当然のこと、相手は子どもなので、自分の意図した発問でも、彼らに届かないことも多く、かなり困難さを感じました。しかしそんな中でも、子どもたちや現場の教員の方々は、自分のことを「先生」として扱ってくれ、その期待を背負っていたからこそ、最後まで「子どもたちのために」という思いを掲げ、授業を作ろうと尽力しました。

授業の回数を重ね、また他の実習生の授業なども拝見する中で、たくさんの発見があり、現場に出てからも、こうした粘り強さと、他人に教えを乞う素直さをいつまでも忘れてはならないと感じました。

1日1日を全力で取り組んだ末の実習最終日では、子どもたちから感謝の言葉を受け、拙いながらでも一生懸命にやれば、子どもたちには必ず届くと学び、この実習全体で学び感じ取ったことを初心として心に留め、現場で1つでも多く活かしていこうと思いました。

実習先(小学校)でのある1日のスケジュール

5:50	起床
6:00～ 7:00	出勤準備
7:00～ 8:00	登校
8:00～ 8:50	授業準備
8:50～ 9:35	1時間目　算数の授業
9:45～10:20	2時間目　他実習生の授業見学
10:25～10:40	モジュール学習
11:00～11:45	3時間目　理科の授業
11:55～12:40	4時間目　指導教員の授業見学
12:40～13:20	給食
13:20～13:40	昼遊び
13:40～14:25	5時間目　教材研究
14:35～15:20	6時間目　他実習生の授業見学
15:20～15:30	清掃
15:30～16:00	下校指導
16:00～16:30	実習生会議
16:30～17:00	教材研究
17:00～	帰宅

学校教育教員養成課程
中等教育専攻
理科教育コース
岡﨑 海都さん
(出身校:大阪府立大手前高等学校)

学生の未来をサポート
OKU STYLE
02

就職支援 求められる人材へ キャリア形成をサポート!

本学は、時代に先駆けて行ってきた教養教育や、教員就職・企業就職・公務員就職に関する支援が充実しており、教員正規採用人数は毎年全国トップクラス、就職希望者の就職率は **96.8%**※と、高い就職実績を実現しています。また、教員就職・企業就職ともに、人間的魅力や仕事ぶりにおける卒業生の評価は高く、社会の様々な場面で活躍しています。2010年4月に開設したキャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と職業選択を支援することを目的とし、学生の進路・就職に向けたサポートを1年次からスタートしています。「自分の適性」を把握し目標を持った大学生活を過ごすことが理想の就職につながるという観点に立ち、より実践的な就職支援プログラムを展開し、教育協働学科を有する本学だからできるきめ細かいキャリア支援をめざしています。※令和2年度学部卒業者

教員志望者における教員就職率

98.9%

（講師含む、令和2年度学部卒業者）

● 教員就職
経験豊富なキャリアアドバイザーが教員採用試験に向けた面接指導、場面指導や模擬授業対策など幅広いサポートをしています。

● 企業・公務員就職
専門のアドバイザーが企業・公務員就職に関する様々な相談に応じています。エントリーシート添削、面接指導など、きめ細かなサポートをしています。

● 就職支援Webシステム
在学生専用Webシステム「大教UNIPA」では就職ガイダンスや各種対策講座の通知を受けたり、就職相談、面接指導の予約などができます。大学に届いた求人情報も閲覧することができます。また、eラーニングのオープンソース「大教Moodle」では、教員・企業・公務員就職に関する情報、ガイダンスの説明会の資料、ビデオを見ることができます。

● 保護者対象就職説明会
1、2回生（夜間2、3回生）の保護者を対象に就職説明会を開催し、最新の就職状況や大学の支援について情報を提供しています。

STEP 1 1・2年次からの目標設定 指導教員制による個別支援

STEP 2 独自のキャリアプログラムで 学生の進路決定をサポート

STEP 3 個別の進路に合わせた ガイダンス実施と情報発信

STEP 4 進路別の対策講座・面接で 細かな指導を実施

STEP 5 卒業生を含め 就職決定まで万全サポート

入学

初等教育 教員養成課程 / 学校教育 教員養成課程 / 養護教諭 養成課程 / 教育協働学科

職業観をつかむ

キャリア支援センター教員担当授業科目
「キャリアデザイン」
「キャリア教育」
「教職キャリア形成論」
入学時より授業（選択制）を通じてキャリア形成力を育成。

キャリア支援センター主催
「キャリアガイダンス」
就活準備学生（昼間1、2回生、夜間2、3回生を対象）就活の現状とキャリア支援センターの利用方法や開催講座を紹介し、就活期へのスムーズな移行ができる準備ガイダンスです。

教員をめざす

教員就職ガイダンス
教員としての資質を磨く上で重要な事を確認。

教師塾、学校サポート活動 学校インターンシップ
実際の学校現場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。

データファイル
教員採用試験を受験した先輩たちが記録した試験内容、対策、勉強法など、膨大な情報を集めた本学オリジナルの冊子。学内で配布。先輩たちもこれを見て合格！

教採スタートアップガイダンス
3年次から始める教員採用試験対策の解説。

教採面接指導事前ガイダンス
面接の基本を確認。

教員採用試験説明会
各教育委員会担当者から試験の詳細や変更点を聞くことができる。

私立学校教員採用説明会
希望者向けセミナー
私立の教員試験を受けるための対策・流れを確認。

筆記試験対策講座
個人で対策の難しい科目について、オンライン形式や講義形式で解説。

面接対策指導
教育委員会や校長を経験されたアドバイザーによる面接練習を受けることができる。

教員採用試験 1次試験合格！

実技・面接対策
水泳・音楽・体操など実技試験の対策、集団面接、模擬授業・場面指導の対策講座。

教採CAFÉ（P17）で対策

教員採用試験 最終合格！

→ **教員**

企業をめざす

就職ガイダンス
最新の就職活動状況、次年度の就職状況の説明を聞く。

インターンシップ実習（P18）
実際の職場を体験し、将来像や職業観の形成に役立てる。

自己分析講座
採用試験の初めに必要な履歴書作成のノウハウを身につける。就職活動の第一歩となる自己分析について学ぶ。

エントリーシート・グループディスカッション対策講座
自己PR方法や簡潔な表現方法を学ぶ。

合同業界研究セミナー
本学学生の採用に意欲的な多くの企業・官公庁が集まる。

就職相談
就職活動中の悩みを相談したり、求人情報を収集できる相談を随時開講。

企業採用試験 面接合格 内定！

→ **企業**

公務員をめざす

就職ガイダンス
今年度公務員試験の状況と、次年度の傾向と対策、勉強方法確認。

面接対策実践講座
企業・公務員の面接試験を実践練習。

公務員試験 面接合格 内定！

→ **公務員**

学生の未来をサポート
OKU STYLE
02

就職支援

夢は叶えるためにある!
なりたい自分に!

学校教育教員養成課程
家政教育専攻（改組前の名称）
大久保 寛さん
（出身校：桃山学院高等学校）

教採CAFÉ

教員採用試験の対策として、志望自治体が同じ学生同士が自発的に集まり、面接対策の練習や、筆記試験の情報交換等を行い、全員合格をめざす有志の会のことです。2020年度は、対面・オンラインを駆使して、自主的に面接練習などを行なっていました。

設立の経緯は？

10数年前から、同じ自治体を希望する学生たちが自発的に集まり、面接対策の練習をしたことが始まりです。当時は「県人会」と呼ばれていました。県人会参加者の合格率が高いことが口コミで次第に広がっていき、2009年度から大学も積極的にサポートしていくこととなりました。2012年に名称を「教採CAFÉ」に変更、現在はキャリア支援センターが練習機会や活動場所の提供等に携わっています。

参加するには？

採用年度の4月と5月の各教育委員会の教員採用説明会にて、希望者で教採専用LINEグループを作成しています。その後の参加も随時可能です。問い合わせはキャリア支援センターの窓口まで。

どんなことをするの？

受験生役と試験官役に分かれて面接練習をしたりします。色々な視点から意見を出して、全員で高め合っていきます。また人数が必要な集団討論等の練習も積極的に行なっています。

メリットって何？

❶自由な時間に集まって練習できる
学生たちが自由な時間に集まり、何度でも練習を重ねられます。Zoom等も利用することで場所も限定されず、より気軽に練習できます。

❷みんなの学びによる相乗効果
集団で切磋琢磨することにより刺激を与えあい、全体のレベルアップにつながります。

❸連帯意識とモチベーションの向上
同じ自治体の教員をめざす仲間たちとの連帯意識が高まり、モチベーションの維持・向上にもつながります。

❹情報の共有
試験に関する情報を共有でき、各自治体に応じた対策を講じることができます。

❺卒業後もネットワークを構築
卒業後も同期の教員としてネットワークを継続・構築できます。

インターンシップ

企業・官公庁等で、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。体験目的は、「アルバイトとの違いを知る」「自分の適性を知る」「業界を知る」等学生により様々です。近年は、1、2回生の募集も増えています。そのため、キャリア支援センター実施の学内説明会は、年次を問わず参加でき、インターンシップの意義や効果を伝えています。

インターンシップの意義とは？

インターンシップは目的ではなく目標に対する手段です。参加学生に対し、学内研修を実施し、目標を立て（P）、実習先で取り組み（D）、気づきや学び、課題を発表して共有し（C）、新たな発見につなげます（A）。このPDCAサイクルで得た成長を大学生活に活かすことこそインターンシップです。

どんな種類があるの？

インターンシップは大きく次の3つがあります。

❶セミナー型（短期）
実際の仕事が疑似体験できるプログラムで、セミナーやワークショップ形式が多い。
※数時間～1日はインターンシップと呼ばず「仕事体験」や「仕事研究」等の名称となる。

❷プロジェクト型（短期・長期）
与えられた課題に対して、その会社の経営理念や現代社会の背景等さまざまな要素を考慮し、仲間とともに取り組む。

❸就業型（長期）
実際に働くタイプ。責任や裁量が大きい分、大きな経験や知識が身につく。
※それぞれの型に自由応募（ナビ会社や個人で応募する）と学校推薦（本学を経由して応募）がある。

メリットって何？

❶自分にフィットする業界や企業が見えてくる
インターンシップは、業界研究・企業研究に最適の場です。興味がある会社だけではなく「知らない会社」を知ることで、どういう業界・企業または職種が自分に合うのかを知ることができます。

❷社会人や採用担当者との交流機会が得られる
社会人や採用担当者とのコミュニケーションに慣れていれば、将来の就職活動で良いパフォーマンスを発揮できる可能性があります。

❸就職活動に慣れる
就職活動を考えている人が集まるので、その情報が自然に入ってきます。就職活動は、情報収集をして行動することの繰り返しなので、そのスタイルに慣れておくと、本番もスムーズに活動できるでしょう。

❹他学生の行動を観察できる
インターンシップでは、他学生と協力して課題に取り組むことがよくあります。その際に、優秀な他学生の行動を見て刺激を受けたり、比較して自分の強み弱みに気づくことがあります。それらを参考にすることで、自分を成長させることができるでしょう。

❺これからのすべきことが見えてくる
参加した後に自分の行動を振り返ると「できた点・できなかった点」が見えてきます。その後の学生生活の中で意識的にできることを増やし、できなかったことを鍛えましょう。目標設定と振り返りこそ、就職活動を成功させるポイントです。

教育協働学科
健康安全科学専攻
水口 愛菜さん
（出身校：関西大倉高等学校）

学生の未来をサポート
OKU STYLE
03

海外留学・国際交流

世界に触れる!
新しい自分を見つけよう!

交換留学（6ヶ月〜1年間）

学生交流協定に基づき、本学の学生が海外の協定締結校へ留学し、海外の協定締結校の学生も本学へ留学する制度が、交換留学制度です。大阪教育大学では、アジア・アメリカ・ヨーロッパなどの大学（海外12か国・地域33校）に交換留学生として留学することができます。留学期間中は、「休学」ではなく「留学」の身分として、各自の専門に応じて、開講されている科目の中から自由に選んで履修できます。

語学研修・文化研修

大阪教育大学では、海外協定校協力の下、語学研修・文化研修プログラムを多数実施しています。夏休みや春休みを利用して1週間から5週間ほど現地に滞在し、語学を学ぶとともに異文化を体験する語学研修プログラムは、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダで実施しています。また、文化研修は韓国、台湾、スイスで行っています。授業として開講している研修も多数あります。

学生交流協定締結校一覧（令和3年5月1日現在）

留学支援

充実の語学学習サポート！

大学内でTOEFL®、IELTS™のセミナーやTOEFL ITP® 試験を実施しています。また、外国語学習支援ルームでは、英会話チャット、ネイティブ教員の個別指導、様々な国際交流イベントの他、多数の多読本、外国語検定対策本（英・仏・独・中・韓）の貸出を行っており、留学に向けた語学学習をサポートしています。

留学資金のサポート体制も充実！

交換留学する学生には派遣開始年度の後期授業料を免除する制度があります。

また、海外留学のための給付型奨学金（文部科学省・日本学生支援機構・民間団体等）を獲得するために、留学計画や小論文などの申請書類の作成をサポートしています。

令和元年度は交換留学した15名中13名が奨学金を受給しました。

留学相談室

Q1. 留学する際に必要な費用を教えてください。

大阪教育大学の交換留学制度では、留学先の大学への授業料を支払う必要はありません。（大阪教育大学へ授業料を納める必要はあります。ただし、授業料の一部免除制度があります）。とはいっても留学には沢山のお金が必要です。基本的に必要な経費として、渡航費・食費・寮費・テキスト代・衣服・娯楽費・旅行費などがあります。また、留学までに、TOEFL® 等の受験料、パスポート・ビザの申請料・海外旅行保険代（大学指定）などが必要です。

Q2. 交換留学制度ではどのような国、大学へ行くことができますか？

交換留学制度では、ベトナム、中国、台湾、韓国、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、スイス、キルギスに行くことができます。

Q3. どのように選抜されるのですか？

募集は年２回（11月と6月）行っています。予定派遣期間が秋学期開始（8月〜10月）の大学は11月募集、春学期開始（1月〜3月）の大学については、6月募集です。申請書類や面接により、語学力や目的意識などを確認し、総合的に判断します。

Q4. 留学先の単位は認定されますか？

留学先の大学で修得した単位は、本学の単位として認定されることがあります。修得された単位がすべて自動的に認められるのではなく、大阪教育大学側の審査を経て認定されるかが決まります。

※令和2年度については、新型コロナウイルスの世界的流行の影響のため、学生の海外派遣はすべて中止となりました。

2学期4ターム制の導入

本学は、第三期中期目標において「教員養成及び教育・学習支援人材養成の広域的拠点として、学長のリーダーシップのもと全学的な改革に取り組み、我が国の教育界を牽引するグローバル教育人材を養成する。」ことを目標としつつ、教養教育に関して、「大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、グローバル化に対応した教養教育の質的充実を図る。」と定めています。

上述の目標に照らし、平成29年度から、教育学部の改組を行うとともに２学期４ターム制を導入しました。短期間で集中的に学ぶことによる教育効果の向上はもとより、海外留学等に参加しても、授業を履修しやすくする環境づくりをするとともに、教養教育科目（教養基礎科目、共通基礎科目）の一部の科目をターム科目として開講し、成果の検証と課題を踏まえ順次拡大します。

導入によるメリット

① 留学や海外体験がしやすくなる

段階を経て、ターム科目を増やし、留学や海外体験をしやすくします。また、留学や語学研修に参加しても、修業年限で卒業・修了できるような学年暦及びカリキュラム編成をめざします。

② 短期集中型授業による学修

短期間で集中的に学び、重点的に予習・復習を行うことによる教育効果の向上をめざします。

③ 多様な学外活動に参加できる

まとまった時間を利用して、教育実習やインターンシップなどの学外実習や、ボランティア活動などの自主的活動を行えるような環境づくりをめざします。

学生の未来をサポート
OKU STYLE
03

海外留学体験記

新しい環境で新しい自分と出会う

私はアメリカのノースカロライナ大学で10か月の交換留学を経験しました。留学先では、専門である教育学に加え、語学、SDGs、リーダーシップなどの授業を受講し、多様な観点から物事を捉えることができるようになりました。特に、教育学の授業においては現地の小学校を訪問する中で日本とアメリカの教育の違いを実際に見ることができました。

授業以外にも、日本語を勉強している現地学生の学習支援や日本の文化紹介、インターンシップなど学びの機会に溢れていました。普段の生活ですら全く新しいことの連続で、ルームメイトは海外からの留学生であることが多く、常に多様な文化に触れていられます。

もちろん、留学を通して語学力や教育学の知識は身につきました。しかし、今まであった固定概念や偏った価値観を壊し、新しい自分に出会いやすいのも留学の良さであると思います。常に人の目を気にして社会の価値観の中で生きてきた私ですが、一新して自分らしく生きられるようになりました。自分の良さと出会い、可能性を広げる一つの機会になると思います。

留学先でのある1日のスケジュール

6:00～ 7:00	起床
7:00～ 8:00	準備
8:00～11:00	小学校見学
11:00～12:00	課題
12:00～13:00	昼食
13:00～14:00	予習
14:00～15:00	授業
15:00～16:00	日本語学習支援
16:00～17:00	課題
17:00～18:00	自由時間
18:00～19:00	夕食
19:00～20:00	サークル活動
20:00～21:00	自由時間
21:00～22:00	予習
22:00～	自由時間、就寝

学校教育教員養成課程
理科教育専攻(改組前の名称)
池田 真悟さん
(出身校:桃山学院高等学校)

Student Voice

書の本場、台湾の書法と教育事情

私は台北にある台湾師範大学で約1年間の交換留学を経験しました。留学先では、専門の書道や教育、水墨画、篆刻の授業を受講し、空き時間に語学センターで中国語を基礎から発展まで幅広く学びました。後期は現地の小学校で週に一度、書道科の授業のサポーターをさせていただき、台湾の書道教育の実態を知り、教授法も学ばせていただきました。休日は台北故宮博物院へ何度も足を運び、日本では見ることのできない実物の書を鑑賞し、台湾特有の書の歴史や技術を学習しました。印刷ではない本物の良さを感じることができ、新たな書の魅力も発見することもできました。1年間の交換留学を通じて、年齢や国籍の違う世界各国の留学生と中国語を使って積極的にコミュニケーションを取り、様々な文化や価値観を知ることができました。台湾の人の暖かさを感じ、留学先に台湾を選んで本当によかったです。皆さんも大学の留学制度を利用して自分の可能性を広げてみませんか?

留学先でのある1日のスケジュール

6:00～ 7:00	起床
7:00～ 8:00	準備 朝食
8:00～10:00	中国語学習
10:00～12:00	図書館
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	水墨画実践演習
15:00～18:00	友人と言語交換
18:00～19:00	夕食
19:00～20:00	バレーボール
20:00～23:00	寮で予習復習
23:00～	就寝

教養学科 芸術専攻
美術・書道コース(改組前の名称)
油田 珠子さん
(出身校:奈良県立桜井高等学校)

家政教育部門

大本 久美子 教授

「仕事と家庭生活の調和」をめざしたワーク・ライフ・バランスの実現が注目されています。そのような中、健康・快適で安全・安心な生活を営むために、何が必要かを考える学問があることを知っていますか？

私は、家庭科（家政学）を中心に子どもたちが自らの「生き方」や持続可能な社会の構築について考える教材の開発やカリキュラムの研究を行っています。今、私たちの生活を取り巻く環境が大きく変容しています。ウェルビーイングをめざしたあなたのニューノーマルを一緒に探究しませんか。

健康安全科学部門

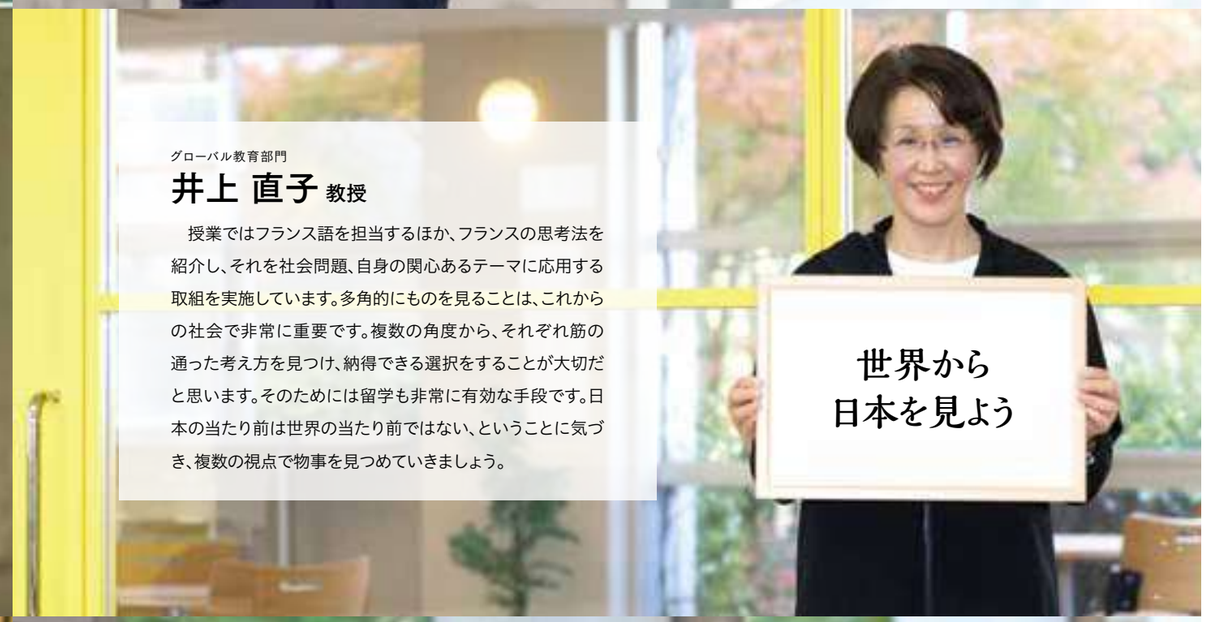
藤田 大輔 教授

大阪教育大学では、児童・生徒、教職員、PTAそして地域の関係機関が連携・協働して安全推進に取り組む「セーフティプロモーションスクール」の認証制度を創設し、国内外の学校への普及に取り組んでいます。私は、「安全教育学」「セーフティプロモーション論」「学校安全」などの授業を担当し、将来の安全と安心を担う協働人材の育成について研究しています。安全で安心な学校をめざした活動の充実と発展について一緒に学び考えてみませんか。

保健体育部門

小川 剛司 准教授

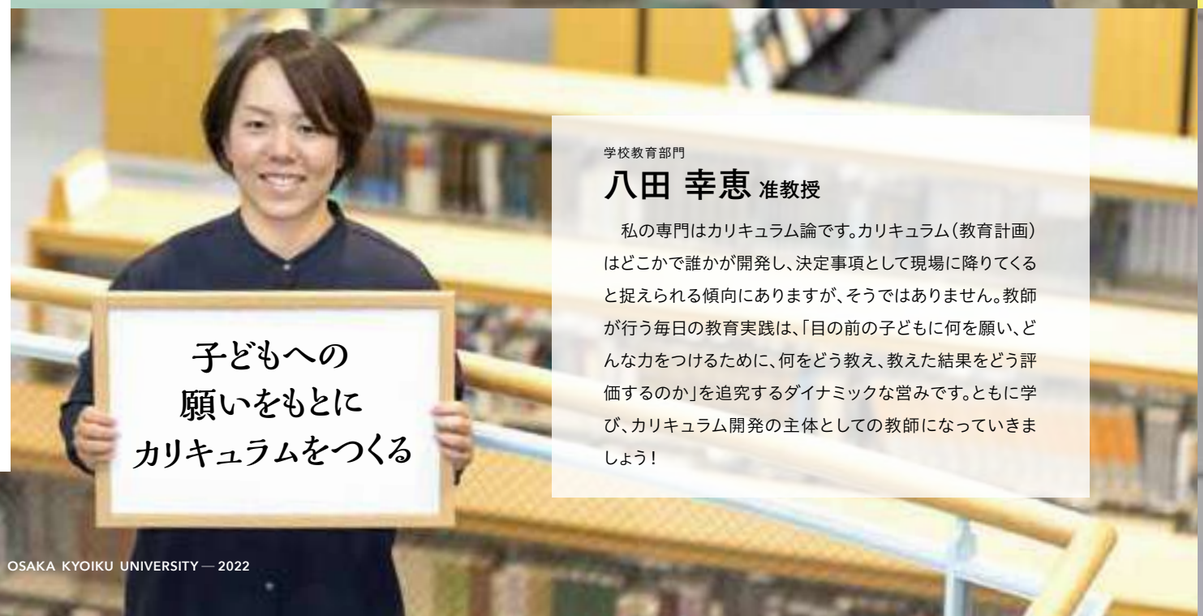
スポーツは、「する人」には楽しさと達成感だけでなく、心身の「健康」をもたらし、「観る人」には楽しさと感動をもたらします。すべての人に楽しさを覚えてもらうには、正しいスポーツが必要です。私は運動時の生理的反応を、特に呼吸循環応答を主なテーマとして研究しています。正しいスポーツ活動とその指導は、科学的な証明をもとに構築されるべきです。みなさんも教員と共にスポーツについて科学的に探求してみませんか。



グローバル教育部門

井上 直子 教授

授業ではフランス語を担当するほか、フランスの思考法を紹介し、それを社会問題、自身の関心あるテーマに応用する取組を実施しています。多角的にものを見ることは、これからの社会で非常に重要です。複数の角度から、それぞれ筋の通った考え方を見つけ、納得できる選択をすることが大切だと思います。そのためには留学も非常に有効な手段です。日本の当たり前は世界の当たり前ではない、ということに気づき、複数の視点で物事を見つめていきましょう。



学校教育部門

八田 幸恵 准教授

私の専門はカリキュラム論です。カリキュラム（教育計画）はどこかで誰かが開発し、決定事項として現場に降りてくると捉えられる傾向にありますが、そうではありません。教師が行う毎日の教育実践は、「目の前の子どもに何を願い、どんな力をつけるために、何をどう教え、教えた結果をどう評価するのか」を追究するダイナミックな営みです。ともに学び、カリキュラム開発の主体としての教師になっていきましょう！

理数情報部門

谷　敬太 教授

私は自然科学分野の中で化学を研究しています。皆さんはこれまで理科を学習し、知識を蓄えて来られたと思いますが、自然科学では「なぜ？　どうして？」と感じる気持ちが大事です。自分が不思議に感じたことを、実験を通して一歩一歩、解明していくのがとても楽しいです。実験では予想通りに進まないこともありますが、その原因を探りつつ解決策を考える過程は、教員を含む教育に携わる職業に就きたい方はもちろん、一般企業就職や公務員をめざす方にとって貴重な経験になると思います。いろんな実験をして一緒に楽しみましょう。

PROFESSOR MESSAGE

初等教育教員養成課程
幼児教育専攻
小学校教育専攻（昼間・夜間）

学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
小中教育専攻／中等教育専攻

養護教諭養成課程

実践力のある、幼・小・中・高・特別支援の教諭および養護教諭を育てる。

これからの学校現場で必要とされる教員に

●POINT

幼稚園と小学校の連携、小学校と中学校の一貫教育、中学・高校の接続に対応する中等教育など、幅広い校種に対応できる人材を育成。現在の教育課題に対応した「学校現場で必要とされる教員」を養成します。

●概要

本課程には、初等教育教員養成課程、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

初等教育教員養成課程は、「幼児教育の現場と関わりつつ学ぶ」スタイルで、創造的・体験的な側面を重視する幼児教育専攻、そして幼児教育からの接続を理解した実践力の高い教員を養成する小学校教育専攻（昼間・夜間）で構成されます。教科や領域を問わず幅広い知識とスキルを身につけるための実践重視のカリキュラムを編成し、幼稚園・小学校教員のオールラウンドプレーヤーをめざします。

学校教育教員養成課程は、小中高の免許を取得できる小中教育専攻、中学校と高等学校の免許を取得できる中等教育専攻、特別支援と小学校の両免許を取得する特別支援教育専攻で構成されます。教科や特別支援の専門的な指導力と実践力をつけ、小中一貫教育、中高一貫教育に対応できる人材育成をめざします。

近畿地区唯一の国立大学の養護教諭養成課程は、学校保健の中心的役割となれるような養護教諭を育てます。

▼天王寺キャンパス※

		定員数	
初等教育	幼児教育	15	●幼児教育と小学校教育との連携 ●昼間コース・夜間コースとの連携 ●附属学校に隣接した天王寺キャンパスでの実践的な学び
	小学校教育（昼間コース）	45	
	小学校教育（夜間5年コース）	40	
	小学校教育（夜間コース・3年次編入）	（25）	

▼柏原キャンパス

学校教育	小中教育	学校教育、国語、英語、社会科 数学、理科、家政、保健体育 音楽、美術・書道	240	●小中一貫・連携教育への対応 ●中高一貫・連携教育への対応 ●特別支援教育と各教科の連携
	中等教育	国語、英語、社会科、数学 理科、技術、家政、保健体育 音楽、美術・書道	135	
	特別支援教育		45	
養護教諭			30	●学校保健の中心的役割

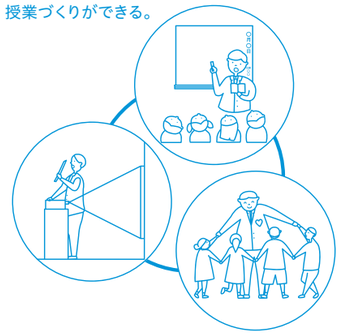
（　）は3年次編入を表す。

※ 初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻（昼間コース）は、1～2年次を柏原キャンパスで履修します。

【 教員養成課程がめざす人材育成 】

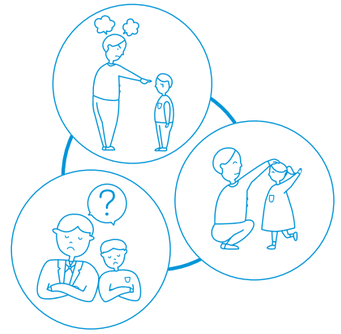
各領域の指導内容の理解と実践力

各領域を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め、指導方法の基本を修得し、学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる。



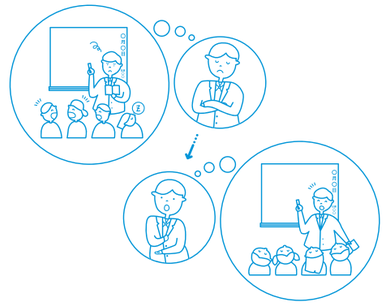
子どもへの対応の理解

特別なニーズや、いじめ、不登校などの生徒指導上の問題への対応方法や、子ども理解に基づく児童等の指導の理論と実践的な方法及び道徳の理論や特別活動の指導法について理解する。



教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し、児童等とのコミュニケーションを通して、教職の力量を高め続ける態度や、自らの学修を記録などに基づいて分析や省察し、将来への見通しや計画を通じて教職に必要となる基礎的な力量を備え、他者と協働して課題の解決に取り組む。



イラスト協力：大阪教育大学大学院 芸術文化専攻　鈴木 なるみ

◆学校教育教員養成課程　小中教育専攻（英語教育コース）カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身に付けることができるかを表しています。
以下は、学校教育教員養成課程小中教育専攻英語教育コースの事例です。各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載しています。

Diploma Policy	1回生	2回生	3回生	4回生
教職力量を自らひらく力	教職入門実習	教職インターンシップⅠ	基本教育実習 教職インターンシップⅡ	併修教育実習 教職実践演習（小・中・高） 教職インターンシップⅢ
子どもへの対応の理解		初等教科教育法科目 初等国語科教育法（書写を含む。）、初等社会科教育法、算数科教育法、初等理科教育法、生活科教育法、初等音楽科教育法、図画工作科教育法、初等家庭科教育法、体育科教育法、初等英語科教育法 中等教科教育法科目 中等英語科教育法Ⅰ・Ⅱ		卒業研究
指導内容の理解と実践力	小学校教科専門科目 国語Ⅰ（ICTの活用を含む。）、国語（書写）Ⅱ（ICTの活用を含む。）、社会（ICTの活用を含む。）、算数（ICTの活用を含む。）、理科A・B（ICTの活用を含む。）、生活（ICTの活用を含む。）、音楽（ICTの活用を含む。）、図画工作Ⅰ・Ⅱ（ICTの活用を含む。）、家庭（ICTの活用を含む。）、体育Ⅰ・Ⅱ（ICTの活用を含む。）、英語（ICTの活用を含む。） コース専門科目 ●小学校教科内容（英語） ●英語音声学Ⅰ ●英語音声学Ⅱ ●英米文学講読 ●オーラル・コミュニケーション中級Ⅰ ●オーラル・コミュニケーション中級Ⅱ ●比較文化論 ●Speech Communication in English Ⅰ ●Speech Communication in English Ⅱ	コース専門科目 ●英文法研究Ⅰ　●小学校英語科授業研究Ⅰ ●英米文学研究　●英語科評価論Ⅰ ●ライティング中級Ⅰ●ライティング中級Ⅱ ●Introduction to British and American Literature ●応用言語学　●英文法研究Ⅱ ●Introduction to English Linguistics Ⅰ ●Introduction to English Linguistics Ⅱ ●グローバル言語学入門Ⅰ ●グローバル言語学入門Ⅱ ●オーラル・コミュニケーション上級Ⅰ ●オーラル・コミュニケーション上級Ⅱ ●Introduction to UK and US Area Studies Ⅰ ●Introduction to UK and US Area Studies Ⅱ	コース専門科目 ●英語科内容構成演習（小中） ●英語学研究Ⅰ ●英語学研究Ⅱ ●学習英文法論Ⅰ ●学習英文法論Ⅱ ●ライティング上級Ⅰ ●ライティング上級Ⅱ ●中高英語科授業研究Ⅱ ●小学校英語科授業研究Ⅱ ●英語科評価論Ⅱ ●第二言語習得論	コース専門科目 ●英語学演習Ⅰ ●英語学演習Ⅱ ●アカデミック・ライティング ●英語教育学演習Ⅰ ●英語教育学演習Ⅱ
学校教育の基礎的理解	教職専門科目 ●教職入門　●教育総論 ●発達と学習の心理学 ●特別なニーズのある子どもの教育	教職専門科目 ●学校の役割と経営 ●教育課程・方法論　●学校安全 生徒指導・進路指導論	教職専門科目 ●特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。） ●道徳教育論 ●教育相談の理論と方法	
豊かな教養と広い視野	教職基礎科目 小・中一貫教育概論 インクルーシブ教育システム論	教職基礎科目 人権教育論 発達障害教育論	教職基礎科目 教職のための英語	
	教養基礎科目（分野別科目・基盤教養科目・多様性理解科目）・共通基礎科目（言語科目・体育科目・ICT科目）			

＋ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

初等教育教員養成課程

幼児教育専攻

知識と技能を深め、幼・小連携を踏まえた指導者をめざす

基本理念・目標

幼児を理解する力や豊かな表現力を身につけ、高度な実践力・専門性及び幼児教育の総合的な視点をもつ幼稚園教員を養成します。

幼児と出会う・幼児の発達を理解する・幼児教育の実践に参加する、の3つのステップを中心に、幼児とのふれあいの中から多くを学び、「幼児教育の現場と関わりつつ学ぶ」という創造的・体験的な側面を重視します。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

1～2年次は柏原キャンパスで履修し、3～4年次は天王寺キャンパスで履修します。

求める学生像

- 高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に修得した人
- 幼稚園等での教職に就くことを強く希望し、その意思を持ち続けることのできる人
- 幼児教育に深い関心を持ち、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 幼児とのふれあいなどの体験的な活動を通じて学びたいと思っている人

POINT

- 幼児期から児童期の発達と学びを見通し、制度や歴史を理解する
- 幼児の主体的な表現を支える力量を育む
- 多文化共生、しょうがい共生、子育て支援など、新しい課題に対応する態度と基礎を培う

取得可能な免許

● 幼稚園教諭一種　　○ 小学校教諭一種

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職入門」での観察実習や附属幼稚園での入門的授業で、幼児教育の全体像をふまえます。

主な授業
- 教職入門
- 幼児教育実践総論
- 幼児理解と教育相談
- ピアノ表現演習Ⅰ・Ⅱ
- ICT基礎a・b

2回生

5つの領域に関する専門的事項、指導法などから実践の基礎をかため、自身の得意領域も意識しはじめます。

主な授業
- 5つの領域に関する指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現）
- 幼児教育指導法
- 幼児教育研究調査法Ⅰ・Ⅱ
- 表現指導基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 就学前の教育学
- 幼児教育インターンシップ

3回生

教育実習や「幼小連携教育論」「保育とダイバーシティ」などにより、現場の機微を学び、多様性への対応力を養います。

主な授業
- 幼小連携教育論
- 幼児教育課程論
- 幼児臨床学
- 表現指導演習Ⅰ
- 保育とダイバーシティ
- 幼児教育分析演習
- 幼児教育プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ
- 保育内容実践演習Ⅰ～Ⅴ
- 幼児教育実践研究Ⅰ・Ⅱ

4回生

領域を深めた授業や卒業論文で、自身が生涯をかけて取り組むテーマに出会うことをめざします。また「教職実践演習」などで現場に出る最終準備を行います。

主な授業
- 教職実践演習
- 幼児教育学特講
- 表現指導演習Ⅱ
- 保育内容特講
- 家庭地域連携の政策
- 幼児教育探求演習Ⅰ・Ⅱ
- 幼児教育実践研究Ⅲ・Ⅳ

【 学びの特長 】

幼児教育専攻の学生は、幼稚園教諭一種免許と小学校教諭一種免許を取得し、さらに在学中に保育士試験を受験することによって保育士資格を取得しています。卒業後は、主に公立幼稚園に就職しますが、保育所や認定こども園等への就職もあります。また大学院へ進学し、養成校の教員となる学生もいます。近年、海外への関心も高く、留学するにとどまらず、海外の幼稚園へ就職した学生もいます。

本専攻では、臨床的な幼児教育を学ぶことを基本にしています。そのため、多くの非常勤講師の先生方の支えも得て、幼児の教育と発達に関する講義と演習を用意しています。

特に、臨床的な学びのテーマとして、実践的・臨床的カリキュラム編成理論、しょうがい・多文化共生保育（しょうがいや多文化を共に生きる保育）など幼児期の臨床的諸課題について考えます。また幼稚園等での創作音楽劇や未就学児のためのコンサートを通して実践的に学べます。

そのような学びと並行して、1回生から幼稚園等での実習に取り組み、2回生・3回生でのインターンシップ（私立幼稚園・認定こども園）、3回生での幼稚園教育実習（附属幼稚園）、そして4回生でのインターンシップやボランティア活動等を通して、学生が自ら課題を見つけられる機会を準備しています。

こうした過程でかけがえのない学びの友を見つけ、お互いに励ましあい高めあっています。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

表現指導基礎演習/ピアノ表現演習
加藤 あや子

幼児理解と教育相談
戸田 有一

幼児教育課程論
中橋 美穂

教員からのメッセージ

少人数のアットホームな専攻で、先輩後輩のつながりを大切にしています。専任教員は自治体の委員などを務めています。本学を卒業・修了し、現場で活躍している先輩や養成校の教員となった先輩が、非常勤講師・実地指導講師として、講義を担当してくださいます。修学期間中に海外の大学へ留学するだけではなく、海外の幼稚園で勤務した先輩もいます。多様な出会いを通し、自分たちの将来のキャリアを考える機会もたくさん提供します。新たな時代の幼児教育を創造してください。

初等教育教員養成課程

小学校教育専攻

昼間コース／夜間5年コース

小学校教員としてのオールラウンドプレーヤー

基本理念・目標

小学校教育専攻では、小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、幼児教育からの接続を理解した実践力の高い小学校教員を養成します。

また、児童を理解する力や基礎的な指導力を身につけ、特に幼児教育との接続を理解した現場実践力の高い教員を養成する昼間コースと、昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動などの豊富な経験をもとに、豊かな人間性と社会性を備えた教員を養成する夜間コース（修学年限5年）があります。

求める学生像

- 小学校教育について、強い関心と問題意識を持つ人
- 小学校教員をめざすために必要な基礎学力を備えている人
- 明朗で協調性に富み、人とのコミュニケーションが図れる人
- 学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通じて学びたいと思っている人

専任教員・主な担当科目（五十音順）

教育（教育方法学/授業研究） **芦田 祐佳**	心理（青年心理学/発達心理学） **白井 利明**	理科（発生生物学） **出野 卓也**	社会（経済教育/国際経済学） **裴 光雄**
英語（英語教育/小学校英語） **生馬 裕子**	教育（教育総論/教育史/教育哲学） **高松 みどり**	数学（解析学/数学教育） **富永 雅**	心理（学校臨床心理学） **牧 郁子**
情報（情報教育/ものづくり教育） **垣本 徹**	国語（国語教育/音読朗読/作文/俳句） **田中 俊弥**	特別支援教育（応用行動分析学） **野田 航**	図工（芸術教育/伝統工芸とモノづくり） **松井 祐**
英語（小学校英語科教育） **小林 翔**	理科（物理教育/教材開発/科学史） **種村 雅子**	体育（体育教育/スポーツ実技） **橋元 真央**	数学（解析学） **森岡 達史**
国語（中国近世思想/中国寓言文学） **佐藤 一好**	社会（地理学） **辻本 英和**	理科（地学教育/地質学） **廣木 義久**	音楽（音楽教育/芸術学） **吉野 秀幸**

教員からのメッセージ

天王寺キャンパスは規模は小さいですが、国語・算数・理科・社会・英語・芸術系の小学校の教科専門の教員スタッフが揃っているうえ、教育学・心理学・特別支援・ICTを専門とする様々な教員スタッフらとともに幅広い教育体制を整えています。また、同じキャンパスにいる幼児教育専攻の学生らとともに学び、幼小接続に対する理解を深めることができます。（物理教育担当：種村雅子）

夜間５年コースには、小学校教員をめざす仲間が全国から集まってきます。また、このコースには、多様なキャリアを有する第三年次からの編入学の学生も在籍しています。第二部（夜間学部）の伝統を継承するこのコースは、大阪市を中心に、これまで全国に多くの小学校教員を輩出して来ました。都市型キャンパスならではの充実した学生生活を送ってみてはいかがでしょうか。（国語教育担当：田中俊弥）

昼間コース

初等教育の昼間コースは2017年度に新設されました。
初等教育についての知識及び技能を身につけ、
小学校教育に関する最先端の知見や指導力を備えた教員を養成します。
さらには、幼小連携やICT機器の活用、発達障がいや多文化共生など、
今日的な教育課題に対応できる実践力のある教員の養成をめざします。
1・2回生は柏原キャンパス、3・4回生は天王寺キャンパスで学びます。
学校インターンシップ、教育支援サポーター、学童保育など、
天王寺キャンパスを基点に総合的な教育実践力を主体的に育んでいきます。

POINT

- 初等教育・幼小連携に関する最先端の知見を習得
- 学校現場の学びを最大限に生かすカリキュラム
- 柏原でホップ、天王寺でステップ、そして小学校教員へジャンプ！

取得可能な免許

● 小学校教諭一種　　○ 幼稚園教諭一種

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職入門」で「観察実習」、教育学や心理学の教職専門科目を通して小学校教育の全体像を学びます。

主な授業
- 日本国憲法
- ICT基礎 a・b
- スポーツ実技 a・b
- 英語（T）Ia・Ib
- 特別なニーズのある子どもの教育
- 教職入門
- 教育総論
- 発達と学習の心理学

2回生

幼児教育も視野に入れ、教科に関する専門科目を学びます。

主な授業
- 学校安全
- 学校インターンシップ体験
- 初等教科教育法（体育・生活・図画工作・家庭科）
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

教職や教科の指導法を学び、「教育実習」や「インターンシップ」を通して実践力を高めます。

主な授業
- 初等教科教育法（英語・国語・社会・算数・理科・音楽）
- 教育相談の理論と方法
- ICT教育の実践研究
- 応用行動分析学
- 教育実習
- 学校インターンシップⅠ

4回生

卒業研究や教職実践演習などを通して、幼小連携を踏まえた小学校教員としての資質・能力をレベルアップします。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 学校インターンシップⅡ

- 小学校教科専門（国語・算数・理科・社会・生活・図画工作・家庭・音楽・体育・英語）

夜間5年コース

初等教育の夜間コースは、1954年創設の第二部の伝統を継承し、
2017年度に新たなコースとして創設されました。
小学校教育についての知識及び技能を身につけ、
小学校教育に関する最先端の知見や指導力を備えた教員を養成します。
キャンパス内の多様な仲間たちとの協働の学びをとおして、
今日的な教育課題に対応できる実践力のある教員の養成をめざします。
学校インターンシップ、教育支援サポーター、学童保育など、
天王寺キャンパスを拠点に総合的な教育実践力を主体的に育んでいきます。

POINT

- 小学校教育に関する最先端の知見を習得
- 学校現場の学びを最大限に生かすカリキュラム
- 都市型キャンパスで、仲間と共に小学校教員へキャリアアップ

取得可能な免許

● 小学校教諭一種

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。

5年間の学びの流れ

1回生

「ゼミナール」や「教養基礎科目」を通して、大学での学びの基礎を築きます。「1日授業観察」で附属小学校を訪問します。

主な授業
- ゼミナール
- 日本国憲法
- ICT基礎 a・b
- スポーツ実技 Ⅰ・Ⅱ
- 英語ⅠA・ⅠB
- インクルーシブ教育システム論
- 小学校教科専門（国語・算数・理科・社会）
- 教職入門

2回生

「教育学」や「教育心理学」、「教科教育法」により、教育や授業づくりの基礎を学びます。

主な授業
- 特別なニーズのある子どもの教育
- 学校インターンシップ体験
- 初等教科教育法（生活）
- 小学校教科専門（生活・図画工作・家庭・音楽・体育）
- 英語 ⅡA・ⅡB（外国語コミュケーション）
- 教育総論

3回生

「教職に関する科目」や「各教科の専門科目」により、教育や授業づくりに関する知を深め，実践に備えます。

主な授業
- 初等教科教育法（国語・社会・理科・図画工作・英語）
- 生徒指導・進路指導論
- 教育相談の理論と方法
- 学校インターンシップⅠ
- 保育と子ども

4回生

「教育実習」や「学校インターンシップ」を通して、学校での実践力を高めます。「卒業研究」に向けて希望する専門の授業を受講します。

主な授業
- 学校安全
- 教育課程・方法論
- 道徳教育論
- 初等教科教育法（算数・体育・音楽・家庭）
- 教育実習Ⅰ（2週間）
- 学校インターンシップⅡ

5回生

「教育実習」や「学校インターンシップ」「教職実践演習」などを通して、小学校教員としての資質能力を養います。また「卒業研究」を通して、学校教育の諸課題を探求します。

主な授業
- 教育実習Ⅱ（2週間）
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 学校インターンシップⅢ

学校教育教員養成課程

特別支援教育専攻

特別支援学校や通常の学校での特別支援教育に携わる

基本理念・目標

特別支援教育専攻では、特別支援学校及び通常の学校における特別支援教育に携わる教員を養成します。特別支援教育の現場では、一人ひとりの子どもたちを包み込むような豊かな人間性と、どのような障がいにも対応できる幅広い専門性が求められています。本専攻では、子どもたちの能力や個性に応じた教育的支援の実践ができる教員の養成をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
- 特別支援教育に必要な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 障がいのある子どもの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な人とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

POINT

- 障がいのある子どもの教育に対する高度な知識と実践力を身につける
- 障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学び育つクラス運営について学ぶ
- 豊富な専門性を有するスタッフのもとで特別支援教育の実践力を高める

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
- 特別支援学校教諭一種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

- 卒業要件単位で取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

新入生を対象とした講義が用意され、4年間を過ごす仲間や教員と共に特別支援教育についての基礎を学びます。また小学校での教職入門実習で通常の学校で学ぶ子どもの教育を実際に学びます。

主な授業

- 教職入門
- 教育総論
- 特別なニーズのある子どもの教育
- インクルーシブ教育システム基礎論
- 特別支援教育総論
- 手話学習の基礎
- 点字指導法

2回生

6つの障がい種のいずれかのコースに所属し専門性を高めます。また、所属コース以外の障がい種の講義を受講することで、特別支援学校教諭一種免許状にはすべての障がい種を付記できます。学校インターンシップでは特別支援学校で障がいのある子どもの教育を実際に学びます。

主な授業

- 視覚障害教育
- 聴覚障害教育
- 知的障害教育
- 肢体不自由教育
- 病弱教育
- 発達障害教育
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

小学校と特別支援学校での教育実習をそれぞれ3週間行い、幅広く高度な実践力を培います。またゼミに所属し、自分の興味・関心のあるテーマについて小人数で議論しながら、見識・知見を深めていきます。

主な授業

- 特別支援教育実践論
- 障害児のキャリア教育
- 知的障害者の心理・生理・病理
- 肢体不自由者の心理・生理・病理
- 病弱者の心理・生理・病理
- 視覚障害心理
- 聴覚障害心理
- 教育相談の理論と方法

4回生

特別支援教育専攻独自の教員採用試験（筆記試験・面接試験）対策講座に参加し、「教採合格」をめざします。ゼミでは、各自の興味・関心に基づき、卒業論文を指導教員の個別指導を受けながらまとめていきます。

主な授業

- 視覚障害指導論
- 聴覚障害指導論
- 知的障害指導論
- 肢体不自由指導論
- 病弱指導論
- 発達障害指導論
- 教職実践演習
- 卒業研究
- ユニバーサルデザイン授業論

【 学びの特長 】

特別支援教育専攻では、特別支援学校および通常の学校（通常の学級、特別支援学級、通級指導教室）における教育に携わる教員を養成します。卒業要件単位を修得することで、小学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状の取得が可能です。4年間の主な流れとして、1回生では教職入門実習（小学校）に参加します。2回生以降は、視覚障がい教育コース、聴覚障がい教育コース、知的障がい教育コース、肢体不自由教育コース、病弱教育コース、発達障がい教育コースのいずれかに所属して、それぞれの専門領域に関する授業や学校インターンシップを受講し専門性を深めるとともに、特別支援教育全般にわたる幅広い知識・技能を身につけます。3回生では、小学校および特別支援学校における教育実習に参加します。また、3回生以降はゼミに所属し、自分の興味関心のあるテーマについて探究・議論し、4回生では卒業論文にまとめます。卒業後の進路※（令和元年度）は、小学校教員（24.5%）、特別支援学校教員（37.7%）、その他の学校教員（1.9%）大学院等への進学（5.7%）、社会福祉施設や一般企業への就職（18.9%）等となっています。
※未就職者が6名（11.3%）おりますので、上記の合計は47名（88.7%）です。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

聴覚障害教育 井坂 行男	聴覚障害心理 西山 健
知的障害教育 今枝 史雄	病弱者の心理と健康行動学 平賀 健太郎
肢体不自由者の心理・生理・病理 大内田 裕	視覚障害教育 正井 隆晶
特別支援教育実践論 須田 正信	視覚障害心理 山本 利和
特別支援教育総論 冨永 光昭	言語・発達障害教育 湯浅 哲也

教員からのメッセージ

本専攻では、関西圏で唯一、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱の5つの障がい領域の特別支援学校教諭免許を取得することが可能です。また、5障がいに加えて、発達障がいについても学ぶことができます。さらに、1回生では教職入門実習（小学校）、2回生では学校インターンシップ（特別支援学校）、3回生では教育実習（小学校・特別支援学校）と積み上げ型の教育実習を行っており、専門性の向上に向けた充実した学びが可能です。5つの障がい領域を中心に幅広く学ぶために、担当教員は教育学、心理学、医学とそれぞれの専門性を発揮して教員養成に取り組んでいます。私は、知的障がい教育を専門としており、その中でも学齢期の理科や社会科の授業での指導・支援方法を研究しています。講義では「知的障がいのある児童生徒はその人に合った支援があればできるようになる」を大切に、知的障がいのある児童生徒が「できる」ようになる指導・支援とは何かを講義しています。他にも教員経験を踏まえ、教員採用試験対策の充実にも取り組んでいます。本専攻では学生の皆さん一人一人の多様な学習ニーズに応えることが可能です。皆様の入学を心よりお待ちしております。（特別支援教育部門　今枝 史雄）

学校教育教員養成課程

小中教育専攻

学校教育コース／国語教育コース
英語教育コース／社会科教育コース
数学教育コース／理科教育コース
家政教育コース／保健体育コース
音楽教育コース／美術・書道教育コース

教科に強みを持ち、小中一貫・連携教育に対応できる教員

基本理念・目標

小中教育専攻では、豊かな教養と広い視野を持つとともに、小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などの指導力や授業実践力に優れ、小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員を主に養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、教職インターンシップと基本実習などを接続させた4年間の実践的な教育活動に参画するとともに、自らが所属するコースにおいて、専門分野の学習を深めます。コースには、学校教育、国語教育、英語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、家政教育、保健体育、音楽教育、美術・書道教育があります。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 得意分野を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験を通して、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

TOPICS

● 多様なコース設定

教科にとらわれずに教育学・心理学・道徳教育学を学ぶ学校教育コースと、取得希望の教員免許ごとに、国語・英語・社会・数学・理科・家政・保健体育・音楽・美術・書道の指導力を身に付ける各教科のコースを設置しています。

● バランスの取れたカリキュラム

小学校の授業についての実践力を身に付ける「小学校教科専門科目」と各コースの専門を学ぶ「コース専門科目」をバランスよく設定しています。

● 小・中・高の免許が取得可能

卒業要件としては小学校教諭一種免許状を取得できます。さらに、卒業要件以外に、免許状取得に必要な単位を併せて修得し、中学校での併修実習を履修すれば、中学校・高等学校の教員免許も取得できます。

小中教育専攻

学校教育コース

「教育」「子ども理解」「子ども支援」のプロになろう

学校教育コースでは、教育学、心理学、道徳教育学の学びを通して、個別教科の枠を超えた教育に関する豊かな力量を育成し、それによって今日の日本の教育界に山積する様々な課題に応えられる教育者を養成します。

POINT

- 教科の枠を超えた学校教育と子ども理解
- 教育現場の様々な課題へのアプローチ
- 教育学・心理学・道徳教育学の専任スタッフが充実

求める学生像

- 児童期から青年期までの人間形成や発達過程に関心がある人
- 教育学、心理学、道徳教育学の何れかの分野での専門的知識を身につけることで幅広い視野や、柔軟な思考力を養い、教育者として社会に深く貢献したいと考えている人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
△ 中学校教諭一種　△ 高等学校教諭一種

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
△ 卒業要件以外の単位を併せて履修することによって取得できる教員免許状
学校教育コースは社会など取得できる教科が限定されます。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育科学入門」「教育学研究法」などから、3つの分野の基礎を理解します。

主な授業
- 教職入門
- 教育科学入門
- 教育学研究法
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

教育学・心理学・道徳教育学の各分野で開講される講義・演習を通して、それぞれの分野の学びをはじめます。

主な授業
- 心理測定と評価の基礎
- 教育社会学　● 教育行政学
- 道徳的価値論　● 道徳的行為論
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論
- 教科教育法科目
- 心理学基礎実験
- 心理学統計法演習

3回生

各教員が開講する演習（ゼミ）に参加し、教育実習などを通して発見した現場の課題と結びつけながら、各分野の専門性を高めます。

主な授業
- 基本教育実習　● 教育思想
- 学校教育方法論
- 学習心理学　● 発達心理学
- 道徳授業論
- 道徳教育制度史
- 教育相談の理論と方法

4回生

指導教員の下で自らテーマを設定して卒業研究（卒業論文）に取り組みます。教育現場の課題の解決や子ども理解などを目標に、自らの経験と専門性にもとづく学びの仕上げをします。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 各領域の演習科目

【 学びの特長 】

学校教育コースでは、教育学・心理学・道徳教育学のスタッフが専門教育を担当します。

個別教科の枠にとらわれずに学校教育や子ども理解などにアプローチする教育と研究の方針、個々の学生の考え方や問題意識を理解し尊重しながらその学びを専門家としてサポートする教育体制、同期生はもとより上下の学年との交流を通して学びながら、自らの将来を考えることのできる学生同士の関係性を大切にします。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

教育相談の理論と方法
上田 裕美

教育行政学
臼井 智美

心理学研究法演習Ⅰ
大河内 浩人

道徳的行為論
金光 靖樹

道徳的価値論
小林 将太

発達と学習の心理学/発達心理学
小松 孝至

生徒指導・進路指導論
佐藤 雄一郎

教育哲学
瀬戸口 昌也

教育社会学
高橋 一郎

発達と学習の心理学
高橋 登

教育方法学
八田 幸恵

教育方法学演習
福田 敦志

特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）
森本 和寿

教育課程・方法論
吉田 茂孝

心理学基礎実験
渡邉 創太

小中教育専攻

国語教育コース

小中一貫・連携の視野を備えた国語教師の養成

小中教育専攻国語教育コースでは、
小学校・中学校を通じて取り組まれる母語教育に関する幅広い確かな知識と技能を持ち、
子どもたちの言葉の力を豊かに育てる確かな国語実践力を備えた言語教師を育成します。
そのために、国語科の基礎科学としての国語学、日本文学、児童文学、漢文学等を学び、
具体的な国語教材の精密な教材分析を学び、
国語の授業を実践するための授業づくりの実際を学びます。

POINT

- 基本から発展へ 学習者から指導者へ
- 少人数によるアクティブラーニング
- 国際的視野に立つ国語教育

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 国語を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（国語）　○ 高等学校教諭一種（国語）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

国文学概論・国語学概論・漢文学概論・解釈学概論・書道概要という各専門領域を学び始めます。専門領域への入門をします。

主な授業

- 教職入門
- 教育総論
- 国語学概論
- スポーツ実技 a・b
- ICT基礎 a・b
- 特別なニーズある子どもの教育
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

教科専門科目は、概論から特論・講義へと進みます。より専門的な内容になり、広がり深まり、ことばの力が大きく伸びます。また、「国語科教育法」で教材研究の仕方や国語科授業作りの基礎基本、指導方法などを学びます。

主な授業

- 教科教育法
- 国語学特論 Ⅰ・Ⅱ
- 国文学特論 Ⅰ・Ⅱ
- 書道概論 Ⅰ・Ⅱ
- 外国語コミュニケーション
- 学校安全
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論
- 教科教育法科目

3回生

今まで培ったことばの力を、教育実習の場で発揮します。学習者のことばの力を育てるための「ことばの授業づくり」に取り組みます。

主な授業

- 基本教育実習
- 教科教育法
- 教育相談の理論と方法

4回生

卒業論文を書くのは、小学校からの学校教育生活16年間の総まとめです。ことばをめぐるいろいろな現象を研究対象に選び、自分の力で分析し、結論を導き、他の人にそれが伝わるように文章表現として構成し、卒業論文としてまとめます。

主な授業

- 教職実践演習
- 卒業研究

専任教員・主な担当科目（五十音順）

国語学概論 井上 博文	漢文学概論 小路口 真理美	中等国語科教育法 Ⅰ・Ⅱ 土山 和久	国文学概論 堀 淳一
国語学特論 清田 朗裕	解釈学概論 住田 勝	国文学特論 成實 朋子	解釈学特論 松岡 礼子

小中教育専攻

英語教育コース

小・中学校における英語教育の主軸を担う人材

小・中学校の連携を踏まえて英語授業ができる小学校教員を主に養成していきます。
そのために、小学校での外国語活動についての基礎的な理論を学ぶとともに、
マイクロティーチングなどの演習を通して児童に適した指導方法や
指導技術などを身につけます。

POINT

- 英語力＋教師力＝英語教師力
- 海外留学をサポート
- 4年間の学びの総決算：英語で卒業論文執筆

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 英語を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（英語）　○ 高等学校教諭一種（英語）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「英語（T）Ⅰ」で読解力と「オーラルコミュニケーション」で会話力を鍛え、「英語音声学」で発音指導のための基礎知識を学びます。「教職入門」で問題解決型学習・ワークショップを実施し、学校現場を観察します。

主な授業

- 教職入門
- 英米文学講読
- 英語音声学 Ⅰ・Ⅱ
- 英語（T）Ⅰa・b
- ICT基礎 a・c
- 国際理解教育
- オーラル・コミュニケーション中級 Ⅰ・Ⅱ
- 小学校教科専門科目

2回生

「英文法研究」で文法の知識を身に付け、「応用言語学」で言語学の視点から英語教育を考えます。「外国語コミュニケーション」と「英語（T）Ⅱa」で英語運用能力を磨き、「英語科教育法」で英語授業の作り方や指導方法などを学びます。また、社会福祉施設等での介護実習に従事します。

主な授業

- 初等英語科教育法
- 英文法研究 Ⅰ・Ⅱ
- 小学校英語科授業研究
- 外国語コミュニケーション
- 英語科評価論 Ⅰ
- オーラル・コミュニケーション上級 Ⅰ・Ⅱ
- 英米文学研究
- 応用言語学
- 英語（T）Ⅱa

3回生

英語学もしくは英語教育学のゼミに入ります。英語学の専門科目も英語教育学の専門科目も、自分の興味と必要に応じて受講します。9月には基本教育実習で3週間、実習生として小学校や中学校に通います。実習校で行う研究授業は腕のみせどころです。

主な授業

- 基本教育実習
- 英語学研究 Ⅰ・Ⅱ
- 英語科内容構成演習（小中）
- 第二言語習得論
- 学習英文法論 Ⅰ・Ⅱ
- 英語科評価論Ⅱ

4回生

「英語学演習」や「英語教育学演習」で卒業論文執筆のためのゼミが始まります。夏に教員採用試験があり、大学院の試験を受ける人もいます。秋に「教職実践演習」を受けながら、卒業論文を執筆し続ける毎日が1月の終わりまで続きます。頑張った人は卒業です。

主な授業

- 教職実践演習
- 英語（教育）学演習 Ⅰ・Ⅱ
- アカデミック・ライティング

専任教員・主な担当科目（五十音順）

中等英語科教育法 加賀田 哲也	英文法研究 Ⅰ・Ⅱ 寺田 寛	応用言語学 橋本 健一	国際理解教育 Bruce James Malcolm
中等英語科教育法 篠崎 文哉	英語科評価論 Ⅰ 箱崎 雄子	ライティング中級 Justin Parker Pool	教職入門 山岡 賢三

小中教育専攻

社会科教育コース

社会科に強みを持ち、小中一貫・連携教育に対応できる教員

小中教育専攻社会科教育コースでは、広い視野と豊かな教養を持つとともに、
小・中学校の社会科教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などの指導力に優れ、
小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員を主に養成します。
そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、
学校安全や危機対応についての知識や能力も養い、さらに、社会科教育コースにおいて、
専門分野の学習を深めます。

POINT

- 幅広い分野を網羅するカリキュラム
- 専門性を身につけるためのきめ細かい指導
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校までに履修した社会科・地理歴史科・公民科の基礎学力を十分に身につけた人
- 社会科の専門分野に関心があり、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（社会）
○ 高等学校教諭一種（地理歴史・公民）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い視野と教養を身につけるとともに、社会科の各分野の基礎的な学びが始まります。

主な授業
- 教職入門
- 小学校教科内容（社会）
- 地誌概論
- 人間と社会
- 世界史概説Ⅰ・Ⅱ
- 哲学の基礎
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

教職関連の科目の比重が増します。また、社会科の指導に必要な基礎の総仕上げを行います。

主な授業
- 初等社会科教育法
- 地理学概論
- 日本史概説Ⅰ・Ⅱ
- 西洋思想概論
- 倫理学の基礎
- 法律学　● 政治学
- コミュニケーションと社会
- 社会科教育学基礎論
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

専攻内の各専門分野に所属し、各分野におけるより専門性の高い学びが始まります。

主な授業
- 基本教育実習
- 社会科内容構成演習（小中）
- 日本史特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 外国史特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 地理学野外実習
- 哲学諸問題
- 社会学調査実習
- 社会科教育学研究Ⅰ・Ⅱ
- 教育相談の理論と方法

4回生

3年間の学びを振り返り、必要な補足を行います。また、大学での学びの集大成として、卒業論文を作成し、各分野の専門性を身につけます。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 社会科発展演習Ⅰ
- 社会科発展演習Ⅱ

専任教員・主な担当科目（五十音順）

社会科教育学 飯島 敏文	社会学 串田 秀也	社会学 小林 和美	社会科教育学 手取 義宏	法学 西村 貴裕	地理学 水野 惠司	地理学 山近 博義
哲学・倫理学 岩田 文昭	哲学・倫理学 倉本 香	歴史学 櫻澤 誠	社会科教育学 西裏 慎司	哲学・倫理学 松本 啓二朗	地理学 山田 周二	

小中教育専攻

数学教育コース

数学は世界共通語。グローバル時代に対処できる教員になろう

小中教育専攻数学教育コースでは、将来教育の現場において、
特に算数・数学に関して、優れた指導力を持ち、
中心的な役割を担うことが可能な小学校・中学校教員を養成することをめざします。
論理的に正しく考え、何が大切かを理解するとともに、
その内容をどう教えたらわかりやすいかを考えることにより、
数学的な能力と数学教育の理解を深めることに重点を置きます。

POINT

- 算数・数学教育に必要な専門知識を学ぶ
- 専門知識に基づいた実践研究力を身につける
- 教育実習を通して実践指導力を育てる

求める学生像

- 高等学校で基礎学力を十分に身に着けた人で、特に、数学については、数Ⅲまで履修した人
- 明朗で協調性に富み、いろいろな人とコミュニケーションが取れる人
- 数学の専門知識と数学教育に関する実践力の習得に意欲を持つ人
- 創意工夫することができて、数学の楽しさ・面白さを児童・生徒に伝えたいと思っている人
- 専門知識を駆使して数学の諸問題に積極的に取り組める人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（数学）　○ 高等学校教諭一種（数学）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

大学数学は、高校までの数学とは異なり、積み上げではなく、掘り下げから始めます。大学数学を学ぶ上でのポイントは問題意識の変革です。1回生ではその変革を促すような「ショッキング」な講義が展開されるでしょう。こうした意識の変革により、小学校から高校までの数学をより高い立場から展望できるような数学力の獲得をめざします。

主な授業
- 線形代数学 A・B
- 微分積分学 A・B
- 小学校教科内容（算数）
- 教職入門
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

2回生では、1回生での入門を経て数学を本格的・体系的に学んでいきます。さらに算数科教育法や数学科教育法という数学教育の授業が始まり、学問としての数学の学びを深めつつ、教科としての算数・数学の指導、さらには児童・生徒の数学的な見方・考え方など、幅広く学んでいきます。

主な授業
- 代数学 A・B　● 解析学 A・B
- 幾何学 A・B
- 確率・統計
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 算数科教育法
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

1、2回生で学習したことを基礎として、代数学、幾何学、解析学、応用数学、確率論などの各分野での専門性をさらに高めていきます。数学教育学の分野では、今日的な教育課題に応じた算数・数学教育の理論と実践について学びます。さらに、得られた知識をもとにして、基本教育実習で児童・生徒を実際に教えることにより、『教育とは、教えるとは、分かるとは』等を真剣に考えます。

主な授業
- 基本教育実習
- 授業デザインから見た算数教育論
- Society5.0に対応する数学教育論
- 解析学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 幾何学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 代数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 応用数理Ⅰ・Ⅱ　● 確率論Ⅰ・Ⅱ
- 教育相談の理論と方法

4回生

4回生では，専門分野に分かれてセミナー形式で数学や数学教育学を学びます。セミナーは，学生自身が「知」に対して常に主体的・積極的であることが求められます。教育現場で生きて働く数学の考え方や算数・数学教育の方法を1年間かけて身につけていきます。それは、将来、先生になったとき、自分の核になります。

主な授業
- 卒業研究
- 教職実践演習
- 解析学演習Ⅰ・Ⅱ
- 幾何学演習Ⅰ・Ⅱ
- 代数学演習Ⅰ・Ⅱ
- 応用数学演習Ⅰ・Ⅱ
- 数学教育学演習Ⅰ・Ⅱ

専任教員・主な担当科目（五十音順）

数学科教育学 上出 吉則	数学科教育法Ⅳ 木戸 哲也	応用数理Ⅰ 瀬尾 祐貴	数学科教育法Ⅲ 松本 明美
解析学A 岡安 類	確率・統計 貞末 岳	代数学A 馬場 良始	算数科教育学 柳本 朋子

小中教育専攻

理科教育コース

「理科が大好き」で強い「理科力」を持った教員になる

小中教育専攻理科教育コースでは、
幅広い教科指導とともに、観察、実験により
裏付けられた確かな科学的知識と思考力をもった
理科教育の中核となる人材を育成します。

POINT

- 観察や実験を通して自然科学について理解を深め、それを伝える指導力を養う
- 仲間とともに「学びあい」ながら教員資質を高める
- 学内外との交流・連携により実践的理科指導力を育成する

求める学生像

- 小学校教員や中学校教員になることを強く希望し、自然科学に関する知識の修得と教員としての課題の探究に意欲を持つ人
- 理科における探究的な学習や実験・観察についての興味や経験を持っている人
- 高等学校で理科に関する幅広い基礎学力を十分に身につけた人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（理科）　○ 高等学校教諭一種（理科）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い教養と自然科学についての基礎的な学力を身に付け、理科教育学の基礎を学びます。これまで学んできた理科の内容を「教える」視点で学びなおします。

主な授業
- 小学校教科内容（理科）
- 科学の基礎
- 物理学Ⅰ　●化学Ⅰ　●生物学Ⅰ
- 地学Ⅰ　●小学校教科専門科目
- 教職入門
- 発達と学習の心理学

2回生

理科教育の目的とその内容や指導方法を学びます。また、理科の各分野の実験を通して小・中学校で必要な観察・実験スキルを身に付けます。

主な授業
- 初等理科教育法
- 中等理科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 物理学実験Ⅰ　●化学実験Ⅰ
- 生物学実験Ⅰ　●地学実験Ⅰ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

小学校や中学校の教員に必要な資質・能力の向上を図るために、教職と教科の専門性を深めます。また、これまでの学びの成果を教育実習の実践の場で活かすとともに、自らの新たな課題を見出し、今後の学びにつなげます。

主な授業
- 基本教育実習
- 理科内容構成演習（小中）
- 物理学Ⅲ　●化学Ⅲ
- 生物学Ⅲ　●地学Ⅲ
- 教育相談の理論と方法

4回生

これまでの学びを振り返り、身についた小学校や中学校の教員に必要な資質・能力を確認します。また卒業研究を通して、理科教育の課題や自然界の仕組みを探究できる教員をめざします。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 理科ゼミナール

専任教員・主な担当科目（五十音順）

動物系統分類学 生田 享介	生物学Ⅱ 岡崎 純子	物理学Ⅱ 鈴木 康文	小学校教科内容（理科） 平川 尚毅	天文学 松本 桂	気象学 吉本 直弘
教職入門 石川 聡子	化学Ⅰ 神鳥 和彦	化学Ⅱ 種田 将嗣	物理学Ⅰ 深澤 優子	中等理科教育法 向井 大喜	

小中教育専攻

家政教育コース

めざせ　暮らしのプロフェッショナル

小中教育専攻家政教育コースでは、
家庭科教育に関する最新の専門的な知識と技能を修得し、
これらを活かして今日の多様な生活の課題に対応できる
問題解決能力の高い家庭科教員を育成します。

POINT

- 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講
- 体験的学び（演習、実習、実験）を重視
- 少人数ゼミ指導による学びの深化

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 家庭科を専門とする小中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（家庭）　○ 高等学校教諭一種（家庭）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

学校教育について学びます。また、高等学校までの学習を踏まえ、家庭科の指導に必要な専門性を持つための基礎を学びます。

主な授業
- 教職入門
- 被服学Ⅰ
- 生活経営学
- 住居学
- 保育学Ⅰ
- 小学校教科内容（家庭）
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

具体的な教育課題や授業の組み立て方、教科内容について学びます。家庭科指導の中心となる実習を体験的に学びます。

主な授業
- 中等家庭科教育法（Ⅰ・Ⅱ）
- 初等家庭科教育法
- 小学校教科専門科目
- 調理学実習Ⅰ
- 保育学実習
- 食物学Ⅰ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

学校教育について体験的に学びます。教育実習に備え、また、その成果を生かす学習をします。各々の興味・関心に応じて家庭科の専門性を深めます。

主な授業
- 基本教育実習
- 家庭科内容構成演習（小中）
- 中等家庭科教育法（Ⅲ・Ⅳ）
- 被服学実験Ⅰ
- 生活演習Ⅰ
- 生活研究論
- 教育相談の理論と方法

4回生

課題の発見と課題の探究を行い、成果を客観的な立場で他者に伝える意義を学びます。4年間の振り返りを通して、教員としての自律性を育てます。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- 生活演習Ⅱ

【 学びの特長 】

家庭科の学習は、生活に直接かかわる学問分野を背景としています。生活の様々な課題に関心を持つ人に是非とも学んでいただきたい専攻です。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

調理学実習Ⅰ 井奥 加奈	保育学Ⅰ 小崎 恭弘	被服学Ⅰ 山田 由佳子
初等家庭科教育法 大本 久美子	食物学Ⅰ 中田 忍	

小中教育専攻

保健体育コース

体を動かす楽しさを児童・生徒に伝えられる教員

小中教育専攻では、広い視野と豊かな教養を持つとともに、
小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などの指導力に優れ、
小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員を主に養成します。
そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、
学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、
さらに、自らが所属するコースにおいて、専門分野の学習を深めます。

POINT

- 初等教育における体育科に関連する様々な学び
- 実技実践者としての自覚の養成
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 保健体育を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれている人
- 体育・スポーツに興味と関心を強く抱き、運動の最適学習期にある児童・生徒を、その発達段階に即して適切に指導することに喜びを見いだせる人
- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- こどもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験を通して学校や生活、教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（保健体育）
○ 高等学校教諭一種（保健体育）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

教員となるための資質を育てる第一歩として、学校教育及び体育やスポーツに関わる基礎的事項を講義や実技、実習を通して学んでいきます。

主な授業

- 運動生理学
- 衛生学及び公衆衛生学
- スポーツ教育原理
- スポーツ社会学 ●水泳
- 器械運動 ●体つくり運動
- 教職入門 ●発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

1回生で学んだことを基に、学校教育及び体育・スポーツにまつわる学びを広げていくために、幅広い学びの場があります。

主な授業

- 運動学 ●学校保健
- 保健体育科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 体育科教育法 ●スポーツ心理学
- スポーツマネジメント論
- 陸上競技 ●剣道 ●柔道
- ダンス ●教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

教員になるための学びをより実践的にしていくために、実習・演習等を通して深めていきます。また、研究室に所属し、より専門的な知識を深めていきます。

主な授業

- 基本教育実習
- サッカー
- バレーボール
- バスケットボール
- 教育相談の理論と方法

4回生

教員採用試験に向けて進むのはもちろん、実際に教壇に立つための自覚と自信を育むために、自ら考え、求め、学んでいく姿勢を大切に4年間の学びをまとめていきます。

主な授業

- 教職実践演習
- 卒業研究
- ハンドボール
- テニス
- ラグビー

専任教員・主な担当科目（五十音順）

保健体育科教育法/スポーツマネジメント論
赤松 喜久

保健体育科教育法 / 教職入門
井上 功一

学校保健 / 衛生学・公衆衛生学
小川 剛司

器械運動/運動学
古和 悟

スポーツ教育原理/小学校教科専門体育
林 洋輔

柔道/小学校教科専門体育
石川 美久

剣道/体育史
太田 順康

保健体育科教育法/教職入門
貴志 泉

運動生理学 / スポーツと栄養
鉄口 宗弘

小中教育専攻

音楽教育コース

演奏実践力と教育実践力を兼ね備えた教員

大学の先生に教えてもらったことを
子どもに教えていくというだけの教師でなく。
自ら授業を創造していける教師をめざします。
そのために音楽については、実技とともに理論的な勉強もします。
それは人間が生み出した音楽を、
文化として捉えその過程と背景と作品・演奏まで
大きく捉えた授業をするためです。

POINT

- 教師に求められる実践的指導力が身に付くカリキュラム
- 教科専門と教科教育が連携した指導体制
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 教職に就くことを強く希望し、演奏実践力、教育実践力の両方を高める意欲のある人
- 現在の教育に求められている音楽科の学習活動を展開できる能力を身につけようとする意欲のある人

取得可能な免許

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（音楽）　○ 高等学校教諭一種（音楽）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職入門」で教職についての基礎を学ぶと共に、「ソルフェージュ」「こえ」「ピアノ伴奏法」の実技科目、および、「音楽学」「創作表現（編曲法）」「ICT基礎」の理論科目で音楽教育にかかわる基礎を習得します。

主な授業

- 教職入門 ●ソルフェージュ Ⅰ・Ⅱ
- ピアノ伴奏法
- 演奏基礎（こえ）Ⅰ・Ⅱ
- 音楽学 ⅠA
- 創作表現 Ⅰ（編曲法）
- ICT基礎C
- 発達と学習の心理学
- 小学校教科専門科目

2回生

教科専門の授業では、実技面で「演奏表現（こえ）（ピアノ）」、「創作表現」「合奏 Ⅰ（打楽器）」で演奏表現力、音楽作品を作る能力を身につけると共に、理論面では「音楽学」で日本を含む世界の様々な音楽の営みについて理解を深めます。教科教育の授業では「音楽教育学」で音楽教育の概要を視野に入れ、「音楽科教育法」で授業の理論と実践について学びます。

主な授業

- 音楽学 ⅠB
- 初等音楽科教育法
- 音楽教育学 Ⅰ
- 中等音楽科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- アンサンブル指揮法
- 合唱指導法 Ⅰ・Ⅱ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

学びのメインは4週間の基本実習になります。基本実習では、皆さんが教科専門、教科教育のそれぞれの授業で身に付けた全ての能力が統合され、実際の授業の中で児童・生徒の学力の育成にどのように生きて働くかが課題となります。また、「定期演奏会」の企画運営を通して、学校行事等を行う能力を身につけます。

主な授業

- 基本教育実習
- 和楽器アンサンブル A・B
- 創作表現 Ⅲ・Ⅳ
- 演奏表現「こえ」Ⅲ・Ⅳ
- 演奏表現「ピアノ」Ⅲ・Ⅳ
- スコアリーディング Ⅰ・Ⅱ
- ミュージカル演習
- 混声合唱 Ⅰ・Ⅱ
- 教育相談の理論と方法

4回生

演習を通して学ぶ授業が多くなります。より実践的な学びを通して、基本実習などで得た課題を解決するための力をつけていきます。それらの学習が、教員採用試験や大学院の入試につながります。また、卒業に向けて、音楽教育について日頃自分が考えていることを卒業論文にすることを通して考えを一層明確にし、卒業してからの課題をもちます。

主な授業

- 教職実践演習
- 音楽教育実践演習
- 演奏表現演習 AⅠ～CⅡ
- 創作表現演習 Ⅰ・Ⅱ
- 和楽器アンサンブル C・D
- 音楽教育学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

【 学びの特長 】

学校での音楽教育は今大きく変わろうとしています。上手な演奏を作ることをめざした授業から、子どもが音楽表現をすることで育っていく授業への転換です。そこでは「音楽」という概念も広がりをもってきます。西洋の古典的な音楽や日本の唱歌だけでなく、日本の伝統音楽、世界の諸民族の音楽、ポップス、パソコンメディアを使った音楽、さらには環境にある音も音楽になっていきます。本専攻では、このような広い視野から人間と音楽とのかかわりを軸として、これからの日本の新しい音楽教育を創っていく人を育てようとしています。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

演奏基礎（こえ）Ⅰ
浦田 恵子

中等音楽科教育法 Ⅲ
田中 龍三

初等音楽科教育法
兼平 佳枝

演奏基礎（ピアノ）Ⅰ
平井 裕也

創作表現 Ⅰ
猿谷 紀郎

小中教育専攻

美術・書道教育コース

アート×人　美術・書道教育で未来を拓く

美術・書道教育コースは、美術・書道を通し、人と交流し自らの世界を広げ、
学ぶ力を育てる教育をめざします。セミナー合宿、研修旅行などを通して、
学年を越えたつながりを大切にします。実習や講義により、
美術・書道に関する様々な知識・技能を身につけ、
図画工作・美術・書道の教科内容や指導方法を学びます。
卒業研究では、専門のゼミに分かれ、4年間の成果を展覧会などで発表します。

POINT

- 美術・書道の基礎から、実践的な教育、制作、研究へ
- 子どもによりそい感性を豊かに
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 美術・書道分野に関し、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

【美術分野】

● 小学校教諭一種
○ 中学校教諭一種（美術）　○ 高等学校教諭一種（美術）

【書道分野】

● 小学校教諭一種　○ 高等学校教諭一種（書道）
□ 中学校教諭一種（国語）　□ 高等学校教諭一種（国語）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、取得のために必要な科目の単位修得が認められます。

4年間の学びの流れ

1回生

一般教養と教職入門をはじめとする教職基礎科目を主体としたカリキュラム構成です。幼稚園、小学校、中学校で幼児、児童、生徒の実態や先生の指導方法を観察する実習があります。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎・書法の基礎を学びます。

主な授業

- （共通）教職入門
- （美術）造形表現 AI～DI
- （美術）小学校教科内容（図画工作）
- （美術）美術史 A
- （書道）楷書法演習
- （書道）仮名書法演習 I
- （共通）発達と学習の心理学
- （共通）小学校教科専門科目

2回生

一般教養と教職基礎および教職専門科目を主体としたカリキュラム構成です。図画工作科教育法、美術科教育法、書道科教育法、国語科教育法（書写）などを学びます。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎、美術理論、書道理論、書道史を中心に学び、教材研究にも取り組みます。

主な授業

- （美術）造形表現 AⅡ～DⅢ
- （美術）材料研究 A・B
- （美術）美術理論 I・Ⅱ
- （美術）美術科教育法 I・Ⅱ
- （美術）図画工作科教育法
- （書道）書道概論 I・Ⅱ
- （書道）中国書道史
- （共通）教育課程・方法論
- （共通）生徒指導・進路指導論

3回生

小学校において教育実習を行い実践的指導力を身につけます。美術・書道の専攻科目では、専門分野の学びを深めます。また、卒業研究に向けた研究テーマを設定しゼミ形式での研究を始めます。

主な授業

- （美術）美術科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- （美術）自由研究 I
- （美術）デザイン・工芸史
- （美術）コミュニティとアート
- （書道）書鑑賞論
- （書道）書道科内容構成演習
- （書道）仮名作品制作論演習 I
- （共通）教育相談の理論と方法

4回生

3回生で設定したテーマにもとづき卒業研究を進めます。教職実践演習を通して、教職に対するこれまでの学びを振り返り、それぞれの課題に応じ必要な力を伸ばします。卒業研究の成果は、卒業制作展などで発表されます。

主な授業

- （共通）教職実践演習
- （共通）卒業研究
- （美術）自由研究 Ⅱ
- （書道）実用書式の研究
- （書道）自由研究 I・Ⅱ

専任教員・主な担当科目（五十音順）

美術科教育法 I・Ⅱ 新井 馨	造形表現B I 加藤 可奈衛	仮名書法演習 I・Ⅱ 瀬川 賢一	造形表現C I 谷村 さくら	図画工作科教育法 渡邉 美香
漢字作品制作論演習 Ⅱ 池田 利広	美術科教育法 I 佐藤 賢司	美術史A 髙間 由香里	書論研究 出野 文莉	

小中教育専攻 教員からのメッセージ

学校教育コース

学校教育コースの第1の特長は、驚異的なST比（学生と教員の人数比）にあります。一学年25名の学生に対して、約15名の教員が教育にあたります。親身になってきめ細やかに学生の面倒を見ます。第2の特長は、充実した専門性にあります。指導にあたる約15名の教員は、いずれも教育学、心理学、もしくは道徳教育学を専門としています。教育学、心理学、かつまたは道徳教育学を基礎から幅広く詳しく学び、研究し、しかる後に教壇に立ちたいと考えている方にとって、大阪教育大学学校教育教員養成課程小中教育専攻学校教育コースよりもふさわしい場所はわが国にはない、と断言いたします。　（学校教育部門　大河内浩人）

国語教育コース

私は「読むこと」の学習指導の研究に取り組んでいます。読むことには二つの側面があります。個人的な体験としての解釈。あなたの解釈はあなたの個人的な価値を持ちます。それは他の人に分ち伝えられて初めて社会的な意味を持ちます。その社会化の行為が分析です。個人的な解釈を社会に拓く行為としての分析。この二つの営みがどのように関わり、支え合っているのかを子どもたちの読解の様子から明らかにすることをめざしています。　（国語教育部門　住田 勝）

英語教育コース

目下、日本の英語教育は激動の瞬間を迎えようとしています。2020年度より小学校・高学年では教科型、中学年では活動型の英語教育が開始されました。一方、小学校では英語を教えることができる指導者の養成をはじめ、様々な課題が山積しています。そこで本講座では、皆さんが将来、小学校英語教育でリーダーシップをとることができるように、多くの充実した授業を提供しています。また、中学校における英語教育も変わっていかなければいけません。学習者の「英語でのコミュニケーション能力をいかに高めるか」という課題に対して、小学校での取り組みを踏まえつつ、これからの中学校英語教育の在り方、進め方についても、皆さんと一緒に考えていければうれしく思います。（英語教育部門　加賀田 哲也）

社会科教育コース

小中教育専攻社会科教育コースは、複数の分野から成り立っています。これらの分野のなかには、みなさんが高校までに習ったことのない分野も含まれています。そして、さまざまなメニューが用意されていて、授業作りに直接役立つ内容のものもあれば、各分野の最先端の内容に触れることができる内容のものもあります。これらの多彩なメニューに触れてもらうことで、暗記のみではない、社会科の奥深さや面白さを実感してほしいと願っています。　（社会科教育部門　山近 博義）

数学教育コース

小中教育専攻・数学教育コースでは、小・中・高校を見通した算数・数学教育を学べる機会を設けています。そのために、学校数学の背景となる集合論、線形代数学、微分積分学といった基礎的な内容をはじめ、代数学、幾何学、解析学、確率統計の基礎を学びます。また、各分野の最先端の数学に触れることもできます。それと同時に、社会の変化や学習者の認識の視点から、算数・数学教育の目的・内容・方法等を学び、それをもとにカリキュラムや授業の設計ができるようになることをめざします。近年注目される統計教育や急速に進展してきたICT活用、さらに学校数学ではあまり扱わない大学で学ぶ数学の教材化等も学びます。学校教育は社会の変化に応じて教育内容や方法が変化しますが、いつの時代においても数学を楽しんで探究し、その時代に応じた教育内容や方法を自分の頭で考える教師になってほしいと願っています。
（数学教育部門　柳本朋子）

理科教育コース

自然現象の不思議やその原理、生き物の多様性、科学の面白さを実験や実習を通じて理解を深め、広く実践的に学んでいきましょう。その面白さを自ら楽しみ、仲間達に、そして将来児童生徒に伝えられる力を養う、そんな経験をたくさん積んでいきませんか。（理科教育部門　岡﨑純子）

家政教育コース

家庭科の学習は、日常の生活と密接に関連しています。家庭科を学ぶことで大学生であるあなた自身の生活キャリアを磨くことができます。またそのことが家庭科を教える教員としての魅力の向上につながります。授業では、実習・実験・演習など少人数による多様な学習形態を取り入れています。衣食住や家族・保育など生活に直結した内容を“アクティブ”に学び、生活者として、また教員としての実践力を身につけてみませんか？　（家政教育部門　大本 久美子）

保健体育コース

小学生の最も好きな教科は体育です。体育の授業で取り扱われる運動のほとんどは、それぞれに固有の楽しさを有しています。それらの楽しさに触れる過程で、子供たちは、他者との関わり方や、目標に近づくための創意工夫の仕方、さらには、活動の結果としての体力をよりよく高めていくことができます。とりわけ、義務教育段階の子供たちにとっての豊かな運動経験を保障していくことは、生涯にわたる生活の質を高めるうえで、極めて大きな意味をもつものとなります。
（保健体育部門　赤松 喜久）

音楽教育コース

音楽を教育する上で理論より前にある本質的なこと、例えばそれは、小節線の役割とは何か、小節のなすフレーズとは何か、強拍弱拍の変化がいかに楽曲に影響を及ぼすか、など、音楽の本質に切り込んだもの、教育者として理解していなければならないことを教育しています。それは音楽作品を鑑賞して物語を作るというようなものとは違い、音楽の本質を、音楽で正面から考えるということです。そのために物理的な動きから音楽をいかに表現できるかということを考える指揮に関する授業、音楽経験の有無に全く依存しない、五線紙を用いない新たな作曲法など、多彩な可能性を網羅した授業を用意しています。小学生、中学生の若い心に芸術の炎をともせるような教育とは何か。ということをともに学習していきましょう。　（音楽教育部門　猿谷 紀郎）

美術・書道教育コース

美術・書道教育コースでは、図画工作・美術・書道の教科内容の基礎から指導方法までを幅広く学び、それぞれの学びや作品制作・研究などを通して、児童・生徒の想像力を高め、感性を豊かに育むと同時に、コミュニケーション力の向上をサポートできる教員の育成をめざしています。また、学内での講義や実習にとどまらず、地域のこどもたちと一緒に行う造形活動や作品展示を通した交流、地域の人たちと協働した活動、学校園や企業、美術館と連携した活動など、様々な取り組みを行っています。さらに、グローバル社会を意識し、「美術・書道」教科の特性をいかした国際交流も行っています。大学は、高等学校までの教育とは異なり、自ら必要な知識を獲得し、主体的に他者と関わり、自分自身の様々な能力を伸ばしていく場です。多くの経験を積んで自分自身の成長を実感するとともに、「これからの社会を担っていくこどもたちの教育」を美術・書道の領域から一緒に考えていきましょう。
（美術・書道教育部門　池田 利広）

学校教育教員養成課程

中等教育専攻

国語教育コース／英語教育コース
社会科教育コース／数学教育コース
理科教育コース／技術教育コース
家政教育コース／保健体育コース
音楽教育コース／美術・書道教育コース

生徒指導等への高い実践力ある中・高等学校教員

基本理念・目標

中等教育専攻では、豊かな教養と広い視野を持つとともに、専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる中学校教員・高等学校教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、さらに、自らが所属するコースにおいて、専門分野の学習を深めます。コースには、国語教育、英語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、家政教育、技術教育、保健体育、音楽教育、美術・書道教育があります。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 得意分野の専門的知見や技能を探求し、中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 生徒たちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

TOPICS

● 多様なコース設定

取得希望の教員免許ごとに、国語・英語・社会・数学・理科・技術・家政・保健体育・音楽・美術・書道のコースを設定しています。

● 専門力を磨くカリキュラム

各コースの専門を学ぶ「コース専門科目」の卒業に必要となる単位数は小中教育専攻の約2倍。高等学校の教育現場で役立つ知識や実践力を身に付けます。

● 特別支援学校教諭一種免許状も取得可能

1回生時の学業成績など、履修要件を満たせば、これからの教育現場で必要性が増すと考えられる特別支援学校教諭一種免許状の取得のために必要な科目の修得が認められます。

中等教育専攻

国語教育コース

言葉を育てる高い実践力を備えた中・高等学校教員

中等教育専攻国語教育コースでは、中学校における母語教育に関する幅広い確かな知識と技能を持ち、子どもたちの言葉の力を豊かに育てる確かな国語実践力を備えた言語教師を育成します。
そのために、国語科の基礎科学としての国語学、日本文学、児童文学、漢文学等を学び、具体的な国語教材の精密な教材分析を学び、国語の授業を実践するための授業づくりの実際を学びます。

POINT

- 基本から発展へ　学習者から指導者へ
- 少人数によるアクティブラーニング
- 国際的視野に立つ国語教育

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 国語を中心に、中学校教員や高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（国語）　○ 高等学校教諭一種（国語）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて履修することによって取得できる教員免許状
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

国文学概論・国語学概論・漢文学概論・解釈学概論・書道概要という各専門領域を学び始めます。専門領域への入門をします。

主な授業
- 教職入門　● 教育総論
- 国語学概論
- スポーツ実技 a・b
- ICT基礎 a・b
- 特別なニーズある子どもの教育

2回生

教科専門科目は、概論から特論・講義へと進みます。より専門的な内容になり、広がり深まり、ことばの力が大きく伸びます。また、「国語科教育法」で教材研究の仕方や国語科授業作りの基礎基本、指導方法などを学びます。

主な授業
- 中等国語科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 国語学特論 Ⅰ・Ⅱ
- 国文学特論 Ⅰ・Ⅱ　● 書道概論 Ⅰ・Ⅱ
- 外国語コミュニケーション
- 学校安全　● 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

今まで培ったことばの力を、教育実習の場で発揮します。学習者のことばの力を育てるための「ことばの授業づくり」に取り組みます。

主な授業
- 基本教育実習
- 中等国語科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ
- 国語学講義 Ⅰ・Ⅱ

4回生

卒業論文を書くのは、小学校からの学校教育生活16年間の総まとめです。ことばをめぐるいろいろな現象を研究対象に選び、自分の力で分析し、結論を導き、他の人にそれが伝わるように文章表現として構成し、卒業論文としてまとめます。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究

専任教員・主な担当科目（五十音順）

国語学概論 井上 博文	漢文学概論 小路口 真理美	中等国語科教育法 Ⅰ・Ⅱ 土山 和久	国文学概論 堀 淳一
国語学特論 清田 朗裕	解釈学概論 住田 勝	国文学特論 成實 朋子	解釈学特論 松岡 礼子

中等教育専攻

英語教育コース

高度な英語運用能力を身につけた英語教育のエキスパート集団

中等教育専攻英語教育コースでは、
4技能の総合的な育成のための理論・指導技術を学ぶとともに、
最近の英語教育環境を考慮した科目を提供し、
時代に呼応したニーズに対応します。

POINT

- 英語力＋教師力＝英語教師力
- 海外留学をサポート
- ４年間の学びの総決算：英語で卒業論文執筆

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 英語を中心に、中学校教員や高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（英語）　○ 高等学校教諭一種（英語）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

「英語（T）I」で読解力と「オーラルコミュニケーション」で会話力を鍛え、「英語音声学」で発音指導のための基礎知識を学びます。「教職入門」で問題解決型学習・ワークショップを実施し、学校現場を観察します。

主な授業

- 教職入門
- 英米文学講読
- 英語音声学 Ⅰ・Ⅱ
- 英語（T）Ⅰa・b
- ICT基礎 a・c
- 国際理解教育
- オーラル・コミュニケーション中級 Ⅰ・Ⅱ

2回生

「英文法研究」で文法の知識を身に付け、「応用言語学」で言語学の視点から英語教育を考えます。「外国語コミュニケーション」と「英語（T）Ⅱa」で英語運用能力を磨き、「英語科教育法」で英語授業の作り方や指導方法などを学びます。また、社会福祉施設等での介護実習に従事します。

主な授業

- 中等英語科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 英語科評価論
- 英文法研究 Ⅰ・Ⅱ
- 外国語コミュニケーション
- 英米文学研究
- 応用言語学
- 英語（T）Ⅱa
- 英語科評価論 Ⅰ
- オーラル・コミュニケーション上級 Ⅰ・Ⅱ

3回生

英語学もしくは英語教育学のゼミに入ります。英語学の専門科目も英語教育学の専門科目も、自分の興味と必要に応じて受講します。9月には基本教育実習で3週間、実習生として小学校や中学校に通います。実習校で行う研究授業は腕のみせどころです。

主な授業

- 基本教育実習
- 中等英語科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- 英語科内容構成演習（中等）
- 第二言語習得論
- 学習英文法論 Ⅰ・Ⅱ
- 英語科評価論 Ⅱ
- 教職インターンシップ

4回生

「英語学演習」や「英語教育学演習」で卒業論文執筆のためのゼミが始まります。夏に教員採用試験があり、大学院の試験を受ける人もいます。秋に「教職実践演習」を受けながら、卒業論文を執筆し続ける毎日が1月の終わりまで続きます。頑張った人は卒業です。

主な授業

- 教職実践演習
- 英語（教育）学演習
- アカデミック・ライティング

専任教員・主な担当科目（五十音順）

中等英語科教育法 加賀田 哲也	英文法研究 Ⅰ・Ⅱ 寺田 寛	応用言語学 橋本 健一	国際理解教育 Bruce James Malcolm
中等英語科教育法 篠崎 文哉	英語科評価論 Ⅰ 箱崎 雄子	ライティング中級 Justin Parker Pool	教職入門 山岡 賢三

中等教育専攻

社会科教育コース

社会科（地理歴史科・公民科）指導への高い実践力ある中・高等学校教員

中等教育専攻社会科教育コースでは、広い視野と豊かな教養を持つとともに、
社会科・地理歴史科・公民科を中心にした優れた教育指導力を持ち、
中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる中学校教員・高等学校教員を養成します。
そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、教職に関わる科目を学ぶとともに、
学校安全や危機対応についての知識や能力も養い、さらに、社会科教育コースにおいて、
専門分野の学習を深めます。

POINT

- 幅広い分野を網羅するカリキュラム
- 専門性を身につけるためのきめ細かい指導
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校までに履修した社会科・地理歴史科・公民科の基礎学力を十分に身につけた人
- 社会科・地理歴史科・公民科の専門分野に関心があり、中学校教員や高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験や社会科（地理歴史科・公民科）授業の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（社会科）
○ 高等学校教諭一種（地理歴史・公民）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い視野と教養を身につけるとともに、社会科の各分野の基礎的な学びが始まります。

主な授業

- 教職入門
- 地誌概論
- 人間と社会
- 世界史概説 Ⅰ・Ⅱ
- 哲学の基礎
- 教育総論

2回生

教職関連の科目の比重が増します。また、社会科の指導に必要な基礎の総仕上げを行います。

主な授業

- 中等社会科（地歴・公民）教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 地理学概論　● 日本史概説 Ⅰ・Ⅱ
- 西洋思想概論　● 倫理学の基礎
- 法律学　● 政治学
- コミュニケーションと社会
- 社会科教育学基礎論
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

専攻内の各専門分野に所属し、各分野におけるより専門性の高い学びが始まります。

主な授業

- 基本教育実習
- 社会科内容構成演習（中等）
- 中等社会科（地歴・公民）教育法 Ⅲ・Ⅳ
- 日本史特講 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 外国史特講 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 地理学野外実習
- 哲学諸問題
- 社会学調査実習
- 社会科教育学研究 Ⅰ・Ⅱ
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ

4回生

3年間の学びを振り返り、必要な補足を行います。また、大学での学びの集大成として、卒業論文を作成し、各分野の専門性を身につけます。

主な授業

- 教職実践演習
- 卒業研究
- 社会科発展演習 Ⅰ
- 社会科発展演習 Ⅱ

専任教員・主な担当科目（五十音順）

社会科教育学 飯島 敏文	社会学 串田 秀也	社会学 小林 和美	社会科教育学 手取 義宏	法学 西村 貴裕	地理学 水野 惠司	地理学 山近 博義
哲学・倫理学 岩田 文昭	哲学・倫理学 倉本 香	歴史学 櫻澤 誠	社会科教育学 西裏 慎司	哲学・倫理学 松本 啓二朗	地理学 山田 周二	

中等教育専攻

数学教育コース

明日のための数学教育をめざして

中等教育専攻数学教育コースでは、将来、教育の現場において、
特に数学に関して、優れた指導力を持ち、中心的な役割を担うことが可能な
中学校・高等学校教員を育成することをめざします。
そのために、数学的な能力と数学教育の理解を深めることに重点を置きます。

POINT

- 数学教育に必要な専門知識を学ぶ
- 専門知識に基づいた実践研究力を身につける
- 教育実習を通して実践指導力を育てる

求める学生像

- 高等学校で基礎学力を十分に身に着けた人で、特に、数学については、数Ⅲまで履修した人
- 明朗で協調性に富み、いろいろな人とコミュニケーションが取れる人
- 数学の専門知識と数学教育に関する実践力の習得に意欲を持つ人
- 創意工夫することができて、数学の楽しさ・面白さを生徒に伝えたいと思っている人
- 専門知識を駆使して数学の諸問題に積極的に取り組める人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（数学）　○ 高等学校教諭一種（数学）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

高校数学までは、与えられた問題を解くことを通じて数学の学習を行いましたが、大学数学では自ら論理を組み立て、それを展開してゆくことが重視されます。このような大学数学を学ぶ上でのポイントは問題意識の変革です。1回生ではその変革を促すような「ショッキング」な講義が展開されます。この意識の変革により、大学数学を学ぶ4年間の基盤を作ります。

主な授業

- 小学校教科内容（算数）
- 線形代数学 A・B
- 微分積分学 A・B
- 教職入門
- 教育総論

2回生

2回生では、1回生での入門を経て数学を代数学・幾何学・解析学という分化した形で体系的に学んでゆきます。また、1回生で学んだことを演習問題を通じて定着を図り、自力で論理を組み立てる力を養います。さらに数学科教育法も加わり、「中学校や高等学校で数学を教えるとはどういうことか」について学び始めます。

主な授業

- 代数学 A・B
- 解析学 A・B
- 幾何学 A・B
- 確率・統計
- コンピュータ
- 数学科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

1、2回生で学習したことを基礎として、代数学・幾何学・解析学・確率論・数学教育学といった各分野の専門性を高めていきます。このようにして身に着けた高い専門性を背景に、基本教育実習に臨みます。そこで生徒を実際に教えることにより、『教育とは、教えるとは、分かるとは』等を真剣に考えます。

主な授業

- 基本教育実習
- 数学科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- 解析学 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 幾何学 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 代数学 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 応用数理 Ⅰ・Ⅱ　● 確率論 Ⅰ・Ⅱ
- Society5.0に対応する数学教育論
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ

4回生

4回生では専門的な各分野（代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学）に分かれ、セミナー形式で数学・数学教育学を学びます。1年間を通して1冊の本を読み、セミナー形式で学習することにより、数学とはどのような学問か、数学の本を読むとはどういうことか、中学校・高等学校での数学教育はどうあるべきかを真剣に学びます。それは、将来教員になったとき、自分の核になります。

主な授業

- 教職実践演習
- 解析学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 幾何学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 代数学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 応用数学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 数学教育学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

専任教員・主な担当科目（五十音順）

数学科教育学 上出 吉則	数学科教育法 Ⅳ 木戸 哲也	応用数理 Ⅰ 瀬尾 祐貴	数学科教育法 Ⅲ 松本 明美
解析学A 岡安 類	確率・統計 貞末 岳	代数学A 馬場 良始	数学教育学研究 Ⅰ 柳本 朋子

中等教育専攻

理科教育コース

身近な「自然」や「科学技術」を学ぶことの喜びや感動を生徒と分かち合える教員をめざす

中等教育専攻理科教育コースでは、
現代の科学技術の発展に対応できる科学的思考力と表現力を育み、
知識と技能により裏付けられた確かな専門性をもつ
中等理科教育の中核となる人材を育成します。

POINT

- 自然科学についての幅広い教養と高い専門性を身につける
- 仲間とともに「学びあい」ながら教員資質を高める
- 学内外との交流・連携により実践的理科指導力を育成する

求める学生像

- 中学校教員や高等学校教員になることを強く希望し、自然科学に関する知識の修得と教員としての課題の探究に意欲を持つ人
- 理科における探究的な学習や実験・観察についての興味や経験を持っている人
- 高等学校で理科に関する幅広い基礎学力を十分に身につけた人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（理科）　○ 高等学校教諭一種（理科）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い教養とともに、自然科学を学んでいくために必要な理科の各分野や科学の言語としての数学についての基礎的な内容を学びます。さらに、理科教育学の基礎を学びます。

主な授業

- 科学のための数学
- 科学の基礎　● 物理学 Ⅰ
- 化学 Ⅰ　● 生物学 Ⅰ　● 地学 Ⅰ
- 教職入門　● 教育総論

2回生

理科教育の目的とその内容や指導方法を学びます。また、理科の各分野の実験を通して中学校・高等学校で必要な観察・実験スキルを身に付けます。

主な授業

- 中等理科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- 物理学実験 Ⅰ　● 化学実験 Ⅰ
- 生物学実験 Ⅰ　● 地学実験 Ⅰ
- 古典力学　● 無機化学入門
- 野外植物実習　● 地学野外実習
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

中学校や高等学校の教員に必要な資質・能力の向上を図るために、教職と教科の専門性を深めます。また、これまでの学びの成果を教育実習の実践の場で活かすとともに、自らの新たな課題を見出し、今後の学びにつなげます。

主な授業

- 基本教育実習
- 理科内容構成演習（中等）
- 量子物理学　● 反応有機化学
- 臨海実習　● 地学教育論
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ
- 中等理科教育法 Ⅲ・Ⅳ

4回生

これまでの学びを振り返り、身についた中学校や高等学校の教員に必要な資質・能力を確認します。また卒業研究を通して、理科教育の課題や自然界の仕組みを探究できる教員をめざします。

主な授業

- 教職実践演習
- 卒業研究
- 理科ゼミナール

専任教員・主な担当科目（五十音順）

動物系統分類学 生田 享介	生物学 Ⅱ 岡崎 純子	物理学 Ⅱ 鈴木 康文	理科A 平川 尚毅	天文学 松本 桂	気象学 吉本 直弘
教職入門 石川 聡子	化学 Ⅰ 神鳥 和彦	化学 Ⅱ 種田 将嗣	物理学 Ⅰ 深澤 優子	中等理科教育法 向井 大喜	

中等教育専攻

技術教育コース

めざせ ものづくり教育の達人

中等教育専攻技術教育コースは中学校（技術）および高等学校（工業）の教員をめざす人のためのコースです。中学校（技術）および高等学校（工業）の教員には、ものづくりについての幅広い教養（専門的知識）と技能を身につけ、それらの教育についての実践力と指導力を持つこと、つまり生徒たちの創造性や技術的な課題を解決する能力を育成できることが求められています。
そのため、工学・農学系の機械、電気、情報、栽培、木材加工、金属加工に関する科目と技術科教育法に関する科目を履修します。

POINT

- 体系立ったカリキュラム
- 充実した教員と少人数での指導
- 体験的学び（実験・実習）を重視

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（技術）　○ 高等学校教諭一種（工業）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

求める学生像

- 中学校（技術）もしくは高等学校（工業）の教員をめざすために必要な基礎学力があること、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、基礎物理、物理を履修した人が望ましい
- 中学校（技術）もしくは高等学校（工業）の教員になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ものづくりの好きな人、失敗することを恐れない人
- ものづくりを通して創意工夫することの楽しさを児童・生徒たちに伝えたいと思っている人
- 一つのことに興味や関心・疑問を持ち続けることのできる人

4年間の学びの流れ

1・2回生

工学に関する基礎科目を学ぶと共に、技術教育を担う教員として必要な各専門分野（機械、電気、情報、栽培、木材加工、金属加工）及び技術科教育法（教育の方法）などに関する基礎的な内容を学びます。また、専門科目での実験・実習を通して、技術教育を担う教員として必要な基礎技能を身につけます。

主な講義

- 技術科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 工業科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 機械工学Ⅰ・Ⅱ
- 電気工学Ⅰ・Ⅱ・実験
- 情報基礎Ⅰ・Ⅱ
- 木材加工学Ⅰ・実習
- 金属加工学Ⅰ・実習
- 栽培Ⅰ・Ⅱ
- 製図Ⅰ・Ⅱ
- 教職入門（1回生）
- 教育総論（1回生）
- 教育課程・方法論（2回生）
- 生徒指導・進路指導論（2回生）
- 教職インターンシップⅠ

3・4回生

技術教育を担う教員として必要な資質・能力の向上を図るために、教科の専門性を深めると同時に教科教育法ならびに教育実習で実践的指導力を身につけます。さらに、卒業論文を通して技術や技術教育に関する問題を研究し、学校教育の諸課題に対処できる教育力を身につけます。

主な講義

- 技術科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 職業指導
- 機械工学実験
- 機械設計
- 金属加工学Ⅱ
- 金属材料学
- 木材加工学Ⅱ・Ⅲ
- 情報処理
- 電子計算機
- 教職インターンシップⅡ・Ⅲ
- 基本教育実習（3回生）
- 教職実践演習（4回生）
- 卒業研究（4回生）

【 学びの特長 】

技術教育コースは入学定員が10名の小さなコースです。その小ささを生かし、毎年、新入生・在学生セミナーを開き、教員として活躍している卒業生を交えて親睦を深める機会を設けています。そのため、同学年の学生だけでなく、先輩後輩の縦のつながりができ、また学生と教員の顔が互いにわかるのが特長の一つです。

専任教員・担当講義（五十音順）

電気工学Ⅰ等 篠澤 一彦
金属加工学Ⅰ等 成田 一人
技術科教育法Ⅲ等 吉岡 利浩
木材加工学Ⅰ等 永冨 一之
情報基礎Ⅰ等 光永 法明

中等教育専攻

家政教育コース

めざせ 暮らしのプロフェッショナル

中等教育専攻家政教育コースでは、
家庭科教育に関する専門的な知識と技術を修得し、
学校教育の現場において実践的な教育活動を担える
中学校・高等学校教員の育成をめざします。
最新の専門知識を活かした家庭科教育のあり方や
家庭科の教育内容の理解を通して、今日の多様な生活課題に対応できる
問題解決能力の高い教員の育成を行います。

POINT

- 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講
- 体験的学び（演習、実習、実験）を重視
- 少人数ゼミ指導による学びの深化

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（家庭）　○ 高等学校教諭一種（家庭）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 中高等学校の家庭科教員として十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人

4年間の学びの流れ

1回生

学校教育について学びます。また、高等学校までの学習を踏まえ、家庭科の指導に必要な専門性を持つための基礎を学びます。

主な授業

- 教職入門
- 被服学Ⅰ
- 生活経営学
- 住居学
- 保育学Ⅰ
- 教育総論

2回生

具体的な教育課題や授業の組み立て方、教科内容について学びます。家庭科指導の中心となる実習を体験的に学びます。

主な授業

- 中等家庭科教育法（Ⅰ・Ⅱ）
- 調理学実習Ⅰ
- 保育学実習
- 家族関係学
- 食物学Ⅰ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

学校教育について体験的に学びます。教育実習に備え、また、その成果を生かす学習をします。各々の興味・関心に応じて家庭科の専門性を深めます。

主な授業

- 基本教育実習
- 家庭科内容構成演習（中等）
- 中等家庭科教育法（Ⅲ・Ⅳ）
- 被服学実験Ⅰ
- 生活演習Ⅰ
- 生活研究論
- 教育相談の理論と方法

4回生

課題の発見と課題の探究を行い、成果を客観的な立場で他者に伝える意義を学びます。4年間の振り返りを通して、教員としての自律性を育てます。

主な授業

- 教職実践演習
- 卒業研究
- 生活演習Ⅱ

【 学びの特長 】

家庭科の学習は、生活に直接かかわる学問分野を背景としています。生活の様々な課題に関心を持つ人に是非とも学んでいただきたい専攻です。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

調理学実習Ⅰ 井奥 加奈
保育学Ⅰ 小崎 恭弘
被服学Ⅰ 山田 由佳子
中等家庭科教育法 大本 久美子
食物学Ⅰ 中田 忍

中等教育専攻

保健体育コース

確かな指導力を持った教員

中等教育専攻では、広い視野と豊かな教養を持つとともに、
専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち、
中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる中学校教員・高等学校教員を養成します。
そのために、教養科目及び基礎的科目を修得した上で、
教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、
さらに、自らが所属するコースにおいて、専門分野の学習を深めます。

POINT

- 中等教育における保健体育の諸課題に即応する柔軟な学び
- 「スポーツの専門家」としての体育教師養成へ
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験を通して学校や生活、教育への親しみや関心を抱いている人
- 体育・スポーツに興味と関心を強く抱き、授業のみならず部活動指導に対しても積極的に携わることができる人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（保健体育）
○ 高等学校教諭一種（保健体育）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

初等教育における体育科の目標や方法との違いを踏まえつつ、体育・スポーツに関わる基礎事項を講義や実技、実習によって学んでいきます。

主な授業
- 教職入門
- 運動生理学
- 衛生学・公衆衛生学
- スポーツ教育原理
- スポーツ社会学
- 水泳
- 器械運動
- 体つくり運動
- 教育総論

2回生

1回生で学んだ基礎的な学識を基とし、学校教育及び体育・スポーツにまつわるトピックスについて様々な観点から学習を深めます。

主な授業
- 運動学
- 学校保健
- 保健体育科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- スポーツ心理学
- スポーツマネジメント論
- 陸上競技
- 剣道
- 柔道
- ダンス
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

学生各々の問題意識や関心を理論と実践の双方から見きわめることで、今後における学習の方向性を一段と明らかにしていきます。また、研究室に所属し、より専門的な知識を深めていきます。

主な授業
- 基本教育実習
- 保健体育科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- サッカー
- バレーボール
- バスケットボール
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ

4回生

教員採用試験に向けた学習ばかりではなく、履修した実習や演習の反省を踏まえつつ、自ら学ぶ態度を大切にしながら4年の学びを卒論にまとめます。

主な授業
- 教職実践演習
- 卒業研究
- ハンドボール
- テニス
- ラグビー

専任教員・主な担当科目（五十音順）

保健体育科教育法/スポーツマネジメント論
赤松 喜久

保健体育科教育法 / 教職入門
井上 功一

学校保健 / 衛生学・公衆衛生学
小川 剛司

器械運動/運動学
古和 悟

スポーツ教育原理/小学校教科専門体育
林 洋輔

柔道/小学校教科専門体育
石川 美久

剣道/体育史
太田 順康

保健体育科教育法/教職入門
貴志 泉

運動生理学 / スポーツと栄養
鉄口 宗弘

中等教育専攻

音楽教育コース

音楽の深い専門性に根差した教育を実現する教師

音楽に関する高い専門性を基に、
音楽教育に関する理論に基づいた授業実践を通して、
生徒の豊かな感性を育み、
地域の音楽科教育をリードする人材を育てて行きます。

POINT

- 教師に求められる実践的指導力が身に付くカリキュラム
- 教科専門と教科教育が連携した指導体制
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 人間愛に満ち、人々とのコミュニケーション能力を身につけようとしている人
- 音楽表現に関する強い関心をもち、中・高等学校の音楽科教員としての実践的指導力を身につけようとする意欲あふれる人

取得可能な免許

● 中学校教諭一種（音楽）　○ 高等学校教諭一種（音楽）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

「教職入門」で教職についての基礎を学ぶと共に、「ソルフェージュ Ⅰ・Ⅱ」「演奏基礎（こえ）Ⅰ・Ⅱ」「ピアノ伴奏法」で実技の基礎を、「創作表現Ⅰ（編曲法）」では音楽作品をアレンジする力を身につけると共に、理論面では「音楽学」で日本を含む世界の様々な音楽の営みについて理解を深めます。

主な授業
- 教職入門
- ソルフェージュ Ⅰ・Ⅱ
- ピアノ伴奏法
- 演奏基礎（こえ）Ⅰ・Ⅱ
- 音楽学 ⅠA
- 創作表現Ⅰ（編曲法）
- 教育総論

2回生

教科専門の授業では、実技面で「演奏基礎（ピアノ）Ⅰ・Ⅱ」「合唱指導法 Ⅰ・Ⅱ」、「創作表現Ⅱ（アナリーゼ）」で演奏表現力や楽曲分析力を身につけると共に、理論面では「音楽学 ⅠB」で日本を含む世界の様々な音楽の営みについて更なる理解を深めます。教科教育の授業では「音楽教育学Ⅰ」で音楽教育の概要を視野に入れ、「中等音楽科教育法」で授業の理論と実践について学びます。

主な授業
- 音楽学 ⅠB
- 音楽教育学Ⅰ
- 中等音楽科教育法 Ⅰ・Ⅱ
- アンサンブル指揮法
- 合唱指導法 Ⅰ・Ⅱ
- 演奏基礎（ピアノ）Ⅰ・Ⅱ
- 合奏 Ⅰ・Ⅱ
- 教育課程・方法論
- 生徒指導・進路指導論

3回生

学びのメインは4週間の基本実習になります。基本実習では、皆さんが教科専門、教科教育のそれぞれの授業で身に付けた全ての能力が統合され、実際の授業の中で生徒の学力の育成にどのように生きて働くかが課題となります。また、「定期演奏会」の企画運営を通して、学校行事等を行う能力を身につけます。

主な授業
- 基本教育実習
- 中等音楽科教育法 Ⅲ・Ⅳ
- 伝統音楽の歌唱
- 混声合唱 Ⅰ・Ⅱ
- 和楽器アンサンブルA・B
- スコアリーディング Ⅰ・Ⅱ
- 創作表現 Ⅲ
- 音楽学 Ⅱ
- 音楽教育学 Ⅱ
- 教育相談の理論と方法
- 教職インターンシップ

4回生

演習を通して学ぶ授業が多くなります。より実践的な学びを通して、基本実習などで得た課題を解決するための力をつけていきます。それらの学習が、教員採用試験や大学院の入試につながります。また、卒業に向けて、音楽教育について日頃自分が考えていることを卒業論文にすることを通して考えを一層明確にし、卒業してからも学び続ける力を付けます。

主な授業
- 教職実践演習
- 和楽器アンサンブルC・D
- 音楽教育実践演習
- 音楽教育学演習 Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

【 学びの特長 】

学校での音楽教育は今大きく変わろうとしています。上手な演奏を作ることをめざした授業から、生徒が音楽表現をすることで育っていく授業への転換です。そこでは「音楽」という概念も広がりをもってきます。西洋の古典的な音楽や日本の唱歌だけでなく、日本の伝統音楽、世界の諸民族の音楽、ポップス、パソコンメディアを使った音楽、さらには環境にある音も音楽になっていきます。本専攻では、このような広い視野から人間と音楽とのかかわりを軸として、これからの日本の新しい音楽教育を創っていく人を育てようとしています。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

演奏基礎（こえ）Ⅰ
浦田 恵子

中等音楽科教育法 Ⅲ
田中 龍三

中等音楽科教育法 Ⅱ
兼平 佳枝

演奏基礎（ピアノ）Ⅰ
平井 裕也

創作表現 Ⅰ
猿谷 紀郎

中等教育専攻

美術・書道教育コース

アート×人　美術・書道教育で未来を拓く

美術・書道教育コースは、美術・書道を通し、人と交流し自らの世界を広げ、
学ぶ力を育てる教育をめざします。
セミナー合宿、研修旅行などを通して、学年を越えたつながりを大切にします。
実習や講義により、美術・書道に関する様々な知識・技能を身につけ、
美術・書道の教科内容や指導方法を学びます。
プロジェクト型のプログラムを取り入れ、自ら考え企画実行する力を育てます。
卒業研究では、専門のゼミに分かれ、4年間の成果を展覧会などで発表します。

POINT

- 美術・書道の基礎から、実践的な教育、制作、研究へ
- 子どもによりそい感性を豊かに
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身につけた人
- 美術・書道分野に関し、中学校教員や高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる人
- 教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身につけようとしている人
- 学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人

取得可能な免許

【美術分野】

● 中学校教諭一種（美術）　○ 高等学校教諭一種（美術）
□ 小学校教諭一種
□ 特別支援学校教諭一種
（知的障害・肢体不自由・病弱の付記が可能）

【書道分野】

● 高等学校教諭一種（書道）
○ 中学校教諭一種（国語）　○ 高等学校教諭一種（国語）

● 卒業要件単位で取得できる教員免許状。
○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。
□ 履修要件を満たした者に限り、教員免許状取得のために必要な科目の履修が認められる。

4年間の学びの流れ

1回生

一般教養と教職入門をはじめとする教職基礎科目を主体としたカリキュラム構成です。学校教育における造形表現の出発点となる幼稚園での幼児観察、中学校での生徒の実態や先生の指導方法を観察する実習があります。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎・書法の基礎を学びます。

主な授業

- （共通）教職入門
- （共通）教育総論
- （美術）造形表現 AI～DI
- （美術）デッサン論
- （美術）美術史 A
- （書道）楷書法演習 I
- （書道）仮名書法演習 I

2回生

一般教養と教職基礎および教職専門科目を主体としたカリキュラム構成です。美術科教育法、書道科教育法、国語科教育法（書写）などを学びます。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎、美術理論、書道理論、書道史を中心に学び、教材研究にも取り組みます。

主な授業

- （美術）造形表現 AII～DIII
- （美術）美術理論 I・II
- （美術）美術科教育法 I・II
- （美術）材料研究 A・B
- （書道）書道概論 I・II
- （書道）中国書道史
- （共通）教育課程・方法論
- （共通）生徒指導・進路指導論

3回生

中学校において教育実習を行い実践的指導力を身につけます。美術・書道の専攻科目では、専門分野の学びを深めます。また、卒業研究に向けた研究テーマを設定しゼミ形式での研究を始めます。

主な授業

- （美術）美術科教育法 III・IV
- （美術）自由研究 I
- （美術）デザイン演習
- （美術）美術史演習 I
- （美術）コミュニティとアート
- （書道）書鑑賞論
- （書道）書道科内容構成演習
- （書道）仮名作品制作論演習 II
- （共通）教育相談の理論と方法
- （共通）教職インターンシップ

4回生

3回生で設定したテーマにもとづき卒業研究を進めます。教職実践演習を通して、教職に対するこれまでの学びを振り返り、それぞれの課題に応じ必要な力を伸ばします。卒業研究の成果は、卒業制作展などで発表されます。

主な授業

- （共通）教職実践演習
- （共通）卒業研究
- （美術）自由研究 II
- （書道）実用書式の研究
- （書道）書道自由研究 I・II

専任教員・主な担当科目（五十音順）

美術科教育法 I・II 新井 馨	造形表現B I 加藤 可奈衛	仮名書法演習 I・II 瀬川 賢一	造形表現C I 谷村 さくら	造形表現A I 渡邉 美香
漢字作品制作論演習 II 池田 利広	美術科教育法 I 佐藤 賢司	美術史A 髙間 由香里	書論研究 出野 文莉	

中等教育専攻 教員からのメッセージ

国語教育コース

言葉は、私たち一人ひとりが出会う新しい世界への「窓」を開く契機となります。同時にそういった世界を覗き込もうとしている私自身を改めて見つめる機会を提供します。言うなれば言葉は自分自身を映す「鏡」のように機能します。そして、もう一つ大切な役割がありますね。そうです、私たちは、言葉によって、仲間と関わり続ける存在です。言葉は、仲間との様々な分かち合いを媒介する「広場」として機能します。言葉は「窓」を開き「鏡」を覗き込み、「広場」でそれを分かち合う人間の営みの根幹を支える、人間存在の本質です。この言葉の本質に関心を持ち続ける人だけが、言葉を教える教師、国語教師となることができるのです。みなさん一緒に学びましょう。（国語教育部門　住田 勝）

英語教育コース

英語を身に付けるには暗記・練習と運用の地道な繰り返しが大切です。学習者の苦労を和らげて、それを楽しみに変え、さらに学習意欲を持続させることが英語教師の使命といっても過言ではないでしょう。そのためには、英語の4技能の向上以外に、教授法、動機づけ、教材研究、言語習得理論、指導案作成法、異文化理解など、多くのことを学びます。いくら教え方がうまくても、間違ったことを教えるわけにはいけません。今まで教えられてきた知識は正しいのか、何を教えるべきなのか、を考えねばならないのです。そのために、英語学と英語教育学の両方の講義を当コースは用意して、未来の英語教師をお待ちしています。（英語教育部門　寺田 寛）

社会科教育コース

中等教育専攻社会科教育コースでは、多様な専門領域を学ぶことができる、充実した授業が用意されています。中学や高校の教員としてふさわしい力を身につけることができるだけでなく、専門的研究への入り口も開かれています。学校現場に接する機会も多く、学生の皆さんは互いに刺激しあいながら、人間的に成長していきます。社会科教育コースで、さまざまな可能性に触れ、人生の奥深さを実感していただきたいと願っています。（社会科教育部門　岩田 文昭）

数学教育コース

中等教育専攻・数学教育コースには、卒業後に中学校・高等学校の教員となるための、充実したカリキュラムが用意されています。1回生で小学校教科内容（算数）（数学のどの専門分野にも必要な集合論を学びます。集合論は、1970年代には小学校で教えられていました）、線形代数学、微分積分学といった基礎的な教科を勉強し、2回生では代数学、幾何学、解析学、確率統計の基礎を、3回生では、さらに代数学、幾何学、解析学、応用数学、確率統計の学びを続け、同時に、2回生と3回生で数学科教育法や数学科教育学を学びます。そして、4回生では自分が興味をもった分野で卒業研究を行います。授業に真剣に取り組むことにより、数学的なものの見方・考え方・能力が自然とに身に付くように工夫されています。ぜひ本コースに入学し、授業に積極的に取り組み、数学的センスをもった中学生・高校生を育成するのに必要な数学的基盤を自分の中に確立してください。そして4年後には、自分でも気付かない間に自然と身についた自らの数学力を生涯にわたる武器として、現場に巣立っていってもらいたいと思います。（数学教育部門　馬場 良始）

理科教育コース

「空の色はなぜ青いのか？」「湖の色はなぜ青く見えるのか？」「宇宙はどうやって出来たのか？」「生物はどうやって出来たの？」「LEDランプはどうして光るのか？」……これまでいろんな不思議な現象や事象に疑問が湧くことは有りませんでしたか？身近に見られる不思議な現象や事象は、全て科学的に説明できます。君たちも理科教育講座で学んでこれらの疑問を解明してみませんか？（理科教育部門　神鳥 和彦）

技術教育コース

離陸した機内から地上を見下ろすと、自然の力の偉大さと、人のモノづくり技術の高さに感嘆させられます。マッチ箱のように見える建物一つ一つが、木材・金属・石などを巧みに用いて造られており、人々はその中でテレビ、冷蔵庫などの電化製品を使い、スマートフォンなどの携帯機器を持ち歩いています。技術・工業の先生になる皆さんには、これら身の回りにあるモノづくり技術について、卒業までに基礎からしっかりと学んでもらいます。「モノの仕組みを知りたい」「閃いたアイデアを形にしたい」「壊れたモノを修理したい」そんな思いに駆られたことのある人にうってつけの専攻です。モノづくりの技を極め、生徒たちから「先生」と呼ばれる仕事はとてもやりがいがあります。技術教育専攻にてモノづくり技術を学び、技術・工業の先生をめざしてみませんか。（技術教育部門　成田 一人）

家政教育コース

家庭科の学習は、生活に直接かかわる学問分野を背景としています。生活の様々な課題に関心を持つ人に学んでほしい講義科目がたくさんあります。具体的には、家庭科教育学、食物学、被服学、住居学、生活経営学、家族関係学、保育学などです。日常の生活との関係が深くあり、学んだことをすぐに教育実践につなげることができる実践的な学びができることが大きな特徴です。また様々な知識・技能を習得するだけにとどまらず、それらを自分自身の生活に取り入れ、より豊かな生活を行うことができるようにもなります。（家政教育部門　小﨑 恭弘）

保健体育コース

中学、高等学校における保健体育の授業は教科の専門家としての保健体育の教員が指導にあたることになります。また、運動部の指導等についても保健体育の教員に対する役割期待は今後益々大きくなってきます。これからの社会にあっては、地域に開かれた学校づくりという方向性に、保健体育授業や部活動指導を如何に連動させるかが重要な課題となってきます。本コースでは、運動の指導技術の向上にとどまらず、これからの社会に求められる有為な保健体育の専門的、実践的な力を身に付けた教員の養成をめざしています。（保健体育部門　赤松 喜久）

音楽教育コース

音楽を教育する上で理論より前にある本質的なこと、例えばそれは、小節線の役割とは何か、小節のなすフレーズとは何か、強拍弱拍の変化がいかに楽曲に影響を及ぼすか、など、音楽の本質に切り込んだもの、教育者として理解していなければならないことを教育しています。それは音楽作品を鑑賞して物語を作るというようなものとは違い、音楽の本質を、音楽で正面から考えるということです。そのために物理的な動きから音楽をいかに表現できるかということを考える指揮に関する授業、音楽経験の有無に全く依存しない、五線紙を用いない新たな作曲法など、多彩な可能性を網羅した授業を用意しています。大人へのステップである若き頭脳に、芸術の本質を響かせるような教育とは何か。ということをともに学習していきましょう。（音楽教育部門　猿谷 紀郎）

美術・書道教育コース

美術・書道教育コースでは、美術・書道の教科内容の基礎から指導方法までを幅広く学び、それぞれの学びや作品制作・研究などを通して、生徒の想像力を高め、感性を豊かに育むと同時に、コミュニケーション力の向上をサポートできる教員の育成をめざしています。また、「地域とともにある学校」を担うことのできる教員育成の観点から、学外での様々な取り組みを積極的に行っています。実践経験としては、作品展示を通した交流、地域の人たちと協働した活動、学校園や企業、美術館などと連携した活動、また、グローバル社会を意識し、「美術・書道」教科の特性をい活かした国際交流にも力を入れています。大学は、高等学校までの教育とは異なり、自ら必要な知識を獲得し、主体的に他者と関わり、自分自身のさまざまな能力を伸ばしていく場です。多くの経験を積んで自分自身の成長を実感するとともに、「これからの社会を担っていくこどもたちの教育」を美術・書道の領域から一緒に考えていきましょう。（美術・書道教育部門　池田 利広）

養護教諭養成課程

学校保健の中心的役割を担う養護教諭

基本理念・目標

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように、様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学習を深めるとともに、臨床(病院)実習、養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

求める学生像

- 養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれた人
- 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

※生物、化学を入学までに学習していることを前提として講義を行う

POINT

- 養護教諭として、幅広い教養と高い専門性を身につける
- 養護教諭として、子どもの心身の健康を支援する実践力を高める
- 養護教諭として、様々な教育課題に対応する実践力を身につける

取得可能な免許

- 養護教諭一種

- 卒業要件単位で取得できる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

教養基礎科目と教職入門をはじめとする教職専門科目を通して、教職の意義、教職への動機づけ、さらに、学校教育における今日的課題について関心を深める。また、障がいのある子どもの理解と支援について理解する。養護専門科目を通して、養護教諭として、からだの構造・機能、子どもの発育・発達に関する基礎的知識を修得するとともに、子どもの健康の保持増進を考えていく上で必要不可欠な基本的理念・知識を体系的に理解する。

主な授業

- 教職入門
- 教育総論
- 発達と学習の心理学
- 特別なニーズのある子どもの教育
- 学校保健
- 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ
- 小児保健

2回生

教職基礎・専門科目を通して、人権侵害や差別の現状、子どもの生活背景について理解し、学校の役割と経営についての基礎知識を修得するとともに、今日における生徒指導上の諸問題に関する理論的・実践的な認識を身につける。また、学校安全や危機管理についての基本的事項を理解する。養護専門科目を通して、保健指導や保健室経営等における養護教諭として必要な指導力の基礎を養う。子どもの援助と指導に関して、看護学・精神保健学の基本的理論と技法・技能を修得する。

主な授業

- 人権教育論
- 学校安全
- 学校の役割と経営
- 生徒指導論
- 養護概説
- 養護学Ⅰ
- 看護学Ⅰ
- 看護学実習
- 精神保健学

3回生

教職専門科目を通して、わが国における道徳教育の歴史及び主要な道徳教育理論・方法について理解し、基礎的知識を修得する。心理学の基礎的な理論や教育相談などの技法を理解する。養護専門科目を通して、専門的資質・能力を高める。健康相談活動(カウンセリング論)の知識・技能を修得する。救急処置実習・臨床実習を通して、実践的な更なる技能の向上を図り、養護実習の履修前に知識・技能を深める。養護実習を行い学校現場における経験を踏まえ、学修成果と今後の課題を再認識する。

主な授業

- 道徳教育論
- 教育相談の理論と方法
- 養護学Ⅱ
- 健康相談活動(カウンセリング論)
- 看護学Ⅱ
- 救急処置実習
- 臨床実習
- 養護実習

4回生

養護教諭になるために必要とされる養護専門科目の履修と卒業研究を通して、更なる深い専門的知識と技能を修得する。4年間の集大成として、養護教諭として必要な知識・技能全体について、到達点と課題を確認し、課題克服に努め、養護教諭としての資質・能力を確実なものとする。

主な授業

- 教職実践演習(養護教諭)
- 養護教育演習
- 卒業研究

【 学びの特長 】

養護教諭養成課程では、専門科目は1回生から開始する。基礎から応用分野へと段階的に習得する。養護教諭として、基本的理念・知識、専門的知識・技能、実践力を養い、資質・能力を確かなものにすることをめざしている。養護教諭養成課程では、卒業後、「卒後研修会」を開催し、学び続ける養護教諭として力量形成をめざしている。

専任教員・主な担当科目(五十音順)

学校保健(学校安全を含む)
大道 乃里江

養護学
出水 典子

臨床医科学
平田 久美子

解剖生理学
小山 健藏

看護学
橋弥 あかね

教員からのメッセージ

本課程は、児童・生徒等の養護をつかさどる養護教諭を養成しています。近畿地区に唯一設けられている国立大学の養成課程です。養護教諭は、学校での傷害や疾病への応急処置、児童・生徒等への健康相談をはじめ、学校での保健活動全般にわたる職務に従事します。さらに、養護教諭は、関係教職員や専門家と連携した組織的な保健管理・保健指導の推進者となることが期待されています。そのため、専門科目は1回生から開始し、基礎から応用へと段階的に習得してもらいます。実習は、教職入門実習(1回生)に始まり、3回生の8月に臨床実習(病院実習)、9月に養護実習(保健室での実習)を実施します。実習を通して、実践能力を身に付けてもらいます。卒業後は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等と幅広い校種に就職することになります。就職等については、ここ数年、公立・私立学校の養護教諭(常勤・非常勤講師を含む)80%、企業・公務員10%、進学(大学院等)10%です。養護教諭になろうと思うなら、是非、本学の養護教諭養成課程をめざしてください。(養護教育部門　小山 健藏)

教育協働学科

教育心理科学専攻／健康安全科学専攻／理数情報専攻
グローバル教育専攻／芸術表現専攻／スポーツ科学専攻

地域と協働し、多様な教育課題を解決する人材へ

●POINT

総合的な教養に加え、教育マインドと専門性の高い能力を身につけ、学校を取り巻く地域や社会を含む「チーム学校」の中心メンバーとなる人材を育成。教育的な視点から学校・家庭・地域・社会と連携協働し、多様な教育課題の解決を図れるような人材の育成をめざします。

●学科内容

教育や福祉、心理、健康生活、学校安全、自然科学、数理科学、情報、人文社会、国際文化、芸術、スポーツなど、多分野の専門的な知識と技能を身につけます。

教育心理科学専攻では、チーム学校の活動の基礎となる教育学や心理学など、専門知識を身につけた教育、心理、福祉のコーディネーターを養成します。健康安全科学専攻は、科学的な手法で社会の安全を守る健康、生活、安全のスペシャリストを養成します。理数情報専攻は、数理情報コースと自然科学コースに分かれ、データに基づき科学的に評価・分析する能力などを養い、統合的な教育理系人材を養成します。グローバル教育専攻は、英語コミュニケーションコースと多文化リテラシーコースに分かれ、高度な言語スキルと広い視野を身につけ、グローバル時代の教育を支える国際人を養成します。芸術表現専攻は音楽表現コースと美術表現コースに分かれ、芸術創造についての理解を深め、学校や地域社会と協働して新たな教育領域と社会文化活動の創生に参画できる芸術表現者の育成をめざします。スポーツ科学専攻は、専門性の高いスポーツ技術と指導力を身につけ、子どもたちの育成・指導といった課題を中心として、現代教育を理解した指導者の養成をめざします。

▼柏原キャンパス

			定員数
教育協働学科	教育心理科学		40
	健康安全科学		35
	理数情報	数理情報	40
		自然科学	60
	グローバル教育	英語コミュニケーション	30
		多文化リテラシー	45
	芸術表現	音楽表現	40
		美術表現	10
	スポーツ科学		50

●チーム学校として社会を支える
●教育への理解力
●社会に求められる専門知識・スキル
●地域や学校、グローバル化などの広い視野
●留学体験
●協働力・コーディネート力

教育的な視点から、学校や地域社会と連携し、社会に貢献する人を育てる。

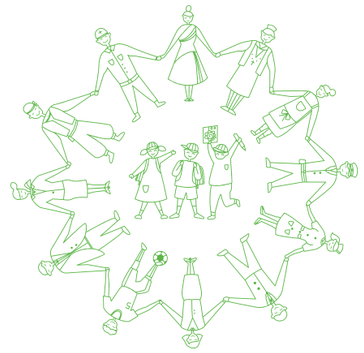
【 教育協働学科がめざす人材育成 】

多様性理解

社会における人種・宗教・歴史・文化・ジェンダー・年齢・価値観等の多様性を理解・尊重し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身につける。グローバル時代における多様な課題を解決するために能動的に行動ができる。

協働力

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる。他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や、課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を持つ。



専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力を有し、主体的に物事を考え、専門的知識・技能を活用した行動ができる。

イラスト協力：大阪教育大学大学院 芸術文化専攻　鈴木 なるみ

◆教育協働学科　教育心理科学専攻　カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身につけることができるかを表しています。
以下は、教育協働学科教育心理科学専攻の事例です。各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載しています。

Diploma Policy	1回生	2回生	3回生	4回生
教育協働実践力	専攻共通科目 ●心理学概論 ●社会福祉学概論 ●生涯学習概論	専攻共通科目 ●チーム学校と教育支援 ●スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論	プロジェクト演習科目 ●教育心理科学プロジェクト演習A ●教育心理科学プロジェクト演習B	
専門的知識・技能	専攻分野科目 ●人体の構造と機能及び疾病	専攻分野科目 ●心理学研究法 ●生涯教育学研究法 ●生涯教育実践研究Ⅰ ●心理学実験 ●心理学統計法 ●社会教育経営論Ⅰ ●生涯教育基礎論Ⅰ ●生涯教育基礎論Ⅱ ●高齢化と社会教育 ●図書館情報技術論 ●図書館サービス概論 ●国際化と成人教育 ●メディア文化論 ●生涯教育と高等教育 ●図書館情報資源概論 ●図書館情報資源特講 ●図書館情報学概論 ●学校図書館サービス概論 ●精神疾患とその治療 ●発達心理学 ●教育・学校心理学 ●神経・生理心理学 ●学習・言語心理学 ●知覚・認知心理学 ●感情・人格心理学 ●臨床心理学概論 ●子ども家庭福祉	専攻分野科目 ●生涯教育実践研究Ⅱ ●社会教育経営論Ⅱ ●学校・青少年問題と社会教育 ●社会教育課題研究 ●生涯学習支援論Ⅰ ●生涯学習支援論Ⅱ ●図書館情報学特講 ●図書館制度・経営論 ●情報サービス概論 ●情報サービス演習Ⅰ ●情報サービス演習Ⅱ ●情報資源組織概論 ●情報資源組織演習Ⅰ ●情報資源組織演習Ⅱ ●図書館史 ●児童サービスと資料 ●心理学的支援法 ●心理的アセスメント ●健康・医療心理学 ●社会・集団・家族心理学 ●福祉心理学 ●司法・犯罪心理学 ●産業・組織心理学 ●関係行政論 ●障害者・障害児心理学 ●公認心理師の職責	専攻分野科目 ●教育心理科学演習Ⅰ ●教育心理科学演習Ⅱ ●心理演習 ●心理実習 ●社会教育実習
協働力				卒業研究
教育の基礎的理解	協働共通科目 ●教育協働概論Ⅰ ●教育協働概論Ⅱ 教育基礎科目 ●教育基礎セミナー ●発達と学習の心理学　●教育総論	協働共通科目 ●地域社会と協働 ●教育協働デザイン演習 教育基礎科目 ●学校の役割と経営　●学校安全 ●現代社会と教育　●生涯学習の現在と未来	●教育コラボレーション演習 ●外国語実践演習（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語）	
豊かな教養と広い視野	教養基礎科目 分野別科目（思索と芸術、国際と地域、歴史と社会、人間と生活、生命と環境、数理情報と自然、教育とキャリア） 基盤教養科目（資料・情報利用法、データサイエンス入門など） 多様性理解科目（ジェンダーとセクシュアリティ、多文化共生の社会をめざしてなど） 共通基礎科目（言語科目・体育科目・ICT科目）			

＋ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

教育協働学科

教育心理科学専攻

生涯教育学、心理学や社会福祉学、幅広い知識と専門力

基本理念・目標

教育心理科学専攻は、生涯教育学、心理学、社会福祉学といった専門諸科学を基盤とし、人間と社会のかかえるさまざまな課題を科学的に理解し、実践的にかかわることを通して、すべての人々が豊かで充実した社会生活を実現することをめざした共生社会の発展に貢献しようとする人材の養成を目的とします。そのため、「チーム学校」の中で教育活動を直接的に支援する専門性を有した「教育支援人材」を養成するとともに、家庭や企業など社会のあらゆる領域や場面でおこなわれる教育・学習活動を広く支援・主導し、教育活動の創生ができる「教育協働人材」を養成します。

求める学生像

- 生涯教育学や心理学、社会福祉学に関心をもつ人
- 高等教育レベルの生涯教育学、心理学、社会福祉学の学習に必要な基礎学力をもつ人
- 論理的に思考し、考えたことを他者にわかるよう明確に表現することができる人
- 将来、学校、家庭、地域社会における教育・学習活動を支援する仕事に就きたいと考えている人
- 図書館司書資格、社会教育士や社会教育主事任用資格を取得したい人

POINT

- 生涯教育、心理学、社会福祉学を関連づけて学ぶ
- 教育問題を多面的・重層的にとらえる視点を学修し、教師や他の専門職・地域住民とも協働し新しい時代の教育活動を担う「チームとしての学校」の実現に寄与する教育協働人材を育成する
- 専門的な資格取得をめざす

取得可能な資格等

○ 社会教育士(養成課程)、社会教育主事任用資格
○ 図書館司書　　○ 公認心理師(受験資格)※

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することが可能。
また臨床心理士や社会福祉士など、より高いレベルでの資格の取得を支援します。
※受験資格を取得するためには、卒業後に実務経験又は大学院への進学が必要です。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」で大学での学びの基礎となるスキルを修得し、「生涯学習概論」「心理学概論」「社会福祉学概論」で各領域の基礎を体系的に身につけます。

主な授業
- 教育基礎セミナー
- 生涯学習概論
- 心理学概論
- 社会福祉学概論

2回生

多くの専門科目が開講されます。現在の関心や将来の進路を見据えて必要な科目を選択して履修します。また「チーム学校と教育支援」「スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論」では現在学校で行なわれている協働の実際を理解します。

主な授業
- チーム学校と教育支援
- 生涯教育実践研究Ⅰ
- スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論
- 生涯教育学研究法
- 心理学研究法
- 図書館情報学概論
- 心理学実験
- 学校安全

3回生

引き続き多彩な専門科目を履修します。また「教育心理科学プロジェクト演習 A・B」では、これまでに身につけた知識を用いてプロジェクトテーマをみずから考え、研究と実践をおこないます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 教育心理科学プロジェクト演習 A・B
- 生涯教育実践研究Ⅱ
- 情報サービス概論
- 学習社会論
- 心理学的支援法
- 心理的アセスメント

4回生

「教育心理科学演習Ⅰ・Ⅱ」は本専攻の特徴である少人数でのゼミ形式で進められ、そのなかでみずから考えたテーマに沿って研究計画を作成し、4年間の学びの集大成として卒業研究を完成させます。

主な授業
- 教育心理科学演習Ⅰ・Ⅱ
- 心理演習
- 心理実習
- 卒業研究

【 学びの特長 】

新しく生まれ変わった「教育心理科学専攻」は、生涯教育学、心理学、社会福祉学の連携・統合を示すために個性ある人間の心理を理解し、それに合った望ましい方向に発達するための支援や指導について基礎から専門まで修得できます。

卒業後の進路については、大学院への進学、教育・心理・人材育成系の企業・公務員・団体職員、社会福祉系企業・施設、企業の人事管理・人材育成部門、教育サービス企業など幅広い選択が可能です。

専任教員・主な担当科目(五十音順)

教育・学校心理学
安達 智子

対人コミュニケーションの心理学/家族心理学
下村 陽一

生涯学習の現在と未来/学習支援特論
松山 鮎子

教育協働概論Ⅰ/社会福祉概論
新崎 国広

図書館情報学概論/情報サービス演習Ⅱ
高鍬 裕樹

発達心理学/障害者・障害児心理学
山口 正寛

心理学的支援法/心理的アセスメント
石橋 正浩

教育協働概論Ⅱ/生涯教育と高等教育
出相 泰裕

人体の構造と機能及び疾病/健康・医療心理学
岩切 昌宏

臨床心理学概論/スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論
寺坂 明子

教員からのメッセージ

生涯教育学と心理学を柱において、学校、企業、地域社会との連携や協働ができる力を養いましょう。(安達 智子)

学校と家庭・地域が協働することで子ども・教師・地域住民や専門職などすべての人びとが幸せを実感できる共生社会の創造に寄与できる学生を育成していきたいです。(新崎 国広)

社会教育関係の資格等が取得できるので、公務員や民間教育産業を志望している人にはお勧めです。(出相 泰裕)

教育協働学科

健康安全科学専攻

科学的な手法により社会の安全を支える

基本理念・目標

子どもたちを健康で安全に育む教育環境は、様々な教育活動の基盤となる要素であり、今日の複雑な社会の中で、安全・安心、健康な教育環境づくりへの要望が高まっています。一方、健康と安全に関わる諸課題は社会の発展に伴い、ますます複雑化・多様化していることから、健康で安全な教育環境を幅広い視野で構築できる創意工夫に富んだ人材の育成が必要です。

本プログラムでは、学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等、教育環境を巡る安全・安心、健康の諸課題を科学的に捉える力と諸課題に対応できる応用力を持ち、学校、地域住民組織、企業、自治体、NPO などの多様な場において、健康で安全な教育環境の構築に貢献できる人材を育成します。

求める学生像

- 健康で安全な教育環境の諸課題に対し、強い関心と問題意識を持つ人
- 学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等について、専門分野を横断して幅広い視野で学ぶ姿勢を持っている人
- 学校の安全、心身の健康と安全、食の安全と衛生、地域の安全等、教育環境を巡る安全・安心、健康の諸課題を科学的に捉える力と専門的知識を身につけたい人
- 学校および地域の多様な組織と協働し、健康で安全な教育環境の推進に貢献したい人

POINT

- 大阪教育大学ならではの安全教育をしっかりと学ぶことができます
- 安全、健康、生活の幅広い分野の学びから、最も適性のある進路を選べます
- 安全、健康、生活の実践力を身につけるために、きめ細かい指導を行います

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（家庭）　○ 養護教諭一種
○ 高等学校教諭一種（家庭）

○ 卒業要件以外の単位を併せて履修することによって取得できる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

安全と健康および生活に関わって、どのような課題があるのかを幅広く学ぶとともに、「ICT基礎a・b」や「教育基礎セミナー」などを通して大学生としての基礎的な学力を身に付けていきます。

主な授業
- 教育のための健康と安全
- 自然災害教育論
- 安全教育学
- 健康な生活を考える
- 解剖生理学
- 住環境学
- 健康食生活論
- 安全デザイン論
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー

2回生

学校の安全、心身の安全、健康、生活に関わる諸課題を科学的に捉える力を身に付けます。また、実習や演習を含む科目もはじまり、諸課題に対応できる応用力を広げていきます。

主な授業
- 安全管理基礎論
- 救急処置法
- 衛生学・公衆衛生学
- 健康管理学
- 疫学・保健統計学
- 健康運動学
- 住環境と安全
- 健康調理実習
- 安全行動学
- 安全教育実践演習

3回生

「健康安全協働プロジェクト演習A」や「健康安全科学実習」を通じて、安全、健康、生活に関わる諸課題を自ら発見し、対応する力を身に付けます。同時に専門的な知識を深め、卒業研究につなげていきます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 健康安全協働プロジェクト演習 A
- 健康安全科学実習
- ヘルスプロモーション論
- 安全情報学
- 環境保健学
- 免疫学
- 薬理学
- 住環境デザイン演習

4回生

「健康安全協働プロジェクト演習B」によって、安全、健康、生活に関する研究の視点や研究手法を探求し、卒業研究に取り組みます。

主な授業
- 健康安全協働プロジェクト演習B
- 健康生化学
- 産業保健と法律 A・B
- 卒業研究

【 学びの特長 】

健康安全科学専攻では、「教育のための健康と安全」「安全教育学」「救急処置法」などを選択必修科目として履修し、学年進行とともに『安全』、『健康』、『生活』の3領域の専攻分野科目を積み重ねて行きます。専攻分野科目には実習や演習の授業科目が豊富に開講されており、体験的で主体的な学びができます。3年次には卒業研究に向けて、安全、健康、生活の8研究室に別れた少人数のゼミもはじまります。

安全、健康、生活に関わる横断的な専門知識を活かし、自治体職員として健康で安全な教育環境づくりでの活躍、民間企業のCSRや安全衛生教育部門での活躍などが期待されます。

各専門分野の研究を深めるために大学院へ進学するほか、安全、健康、生活の知識をもった教育者として活躍する進路もあります。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

住環境と安全/住環境学
碓田 智子

解剖生理学/健康運動学
榎木 泰介

自然災害教育論/安全情報学
後藤 健介

安全行動学/安全デザイン論
豊沢 純子

環境保健学/衛生学・公衆衛生学
永井 由美子

健康食生活論/健康調理実習
西川 章江

安全教育学/安全管理基礎論
藤田 大輔

健康管理学/救急処置法
松本 鉄也

教員からのメッセージ

「健康」と「安全」、ともに紡ぎ合わせることで、私たちは豊かな生活を送ることができます。この専攻では、健康と安全の両分野での経験豊富な教員の下、健康科学、生活科学、安全科学の3つのサイエンスにおいて、幅広い視野からの学習、研究をすることが可能です。学際性豊かな知識と技術、経験を身に着けて、人間性豊かな、そして社会から必要とされる人材を育てます。家庭科教諭または養護教諭の何れかの免許も取得可能です。高校までとはまた違う“教育・研究”の環境の中で、共に歩んでいきましょう。（後藤健介）

教育協働学科

理数情報専攻

数理情報コース／自然科学コース

統合的な教育理系人材を養成

基本理念・目標

移り変わる現代社会を生き抜くために、様々な事象・現象に対する科学的な考え方が重要となっています。従って、それを指導・支援できる理系人材育成が、これからの教育・社会活動に不可欠です。本専攻では自然科学・数理科学・情報科学の専門知識に加えて、理解力・思考力・データ分析技能・コミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成します。

さらに、その技術・能力・方法論を学校現場を含む社会における教育・指導活動にフィードバックすることで、チーム学校を含む社会の中で学び続けることができる人材の育成をめざします。

求める学生像

- 教育現場、企業で必要な理数情報的な能力を身につけたい人
- 未知の現象を探求し、その社会的意義を説明する意欲を持つ人
- 学校をとりまく理系の教育支援活動に興味がある人
- 自然科学・数理科学・情報科学の有効な活用にアイディアを持つ人
- 科学技術・データサイエンスの知識を活かして社会に貢献したい人

専任教員・主な担当科目（五十音順）

【数理情報コース】

微分積分学A 芦野 隆一	論理と数理パズル 町頭 義朗
代数学基礎 平木 彰	プログラム言語 望月 久稔
情報解析Ⅰ 藤井 淳一	システム科学 守本 晃
計算機科学 藤田 修	解析学基礎 湯浅 久利
解析学Ⅰ 藤田 真依	

【自然科学コース】

生物統計学 乾 陽子	無機化学 久保埜 公二	基礎有機化学 堀 一繁
生命科学概説 鵜澤 武俊	大気科学 小西 啓之	固体地球科学 堀 真子
初等量子論 川越 毅	植物生理学 鈴木 剛	
熱力学 喜綿 洋人	有機物質化学 谷 敬太	
物理科学実験Ⅰ 串田 一雅	物理科学概説 辻岡 強	

教員からのメッセージ

これまでの「数理科学専攻」「情報科学専攻」が一体化して、数理情報コースとなりました。どちらの学問にも大事な論理力とりわけ定義力・推論力を身につけることを目標としています。数学が大好きな人、コンピュータが大好きな人、論理パズルが大好きな人、ぜひ、本コースに来て下さい。あなたの興味のある専門分野について、深く研究できます。（町頭 義朗）

これからの科学技術の発展を担う人材、そしてその人材を育てるための教育指導には、専門知識はもちろん、その知識を活かした発想力、そして、他人にわかりやすく伝える能力が求められています。自然科学コースでは、科学各領域の基礎知識と同時に、上記の能力を身につけてもらい、教育界はもちろん、社会を支える人を育てていきます。ぜひ、本学に入学して頂き、次の時代を担う人材となってください。（堀 一繁）

数理情報コース

数学の基礎から応用を学びながら、論理的・抽象的思考を深める。

移り変わる現代社会を生き抜くために、様々な事象・現象に対する数理科学・情報科学的な考え方が重要です。特に数学で得られる真理は不変なものであり、生き抜くための拠り所となっています。本コースでは、数理科学・情報科学の専門知識に加えて、定義力・推論力を中心とする論理力を兼ね備えた人材を育成します。

POINT

- 数学・情報科学の専門的な知識を身につける
- 数学・情報科学の応用実践力を身につける
- 数学・情報科学の教育マインドを身につける

求める学生像

- 教育現場、企業で必要な論理力を身につけたい人
- 未知の現象を数理科学的に考察するとともに、コンピュータを使って解析し、社会に貢献したい人
- 学校をとりまく理系の教育支援活動に興味がある人
- 数理科学・情報科学の有効な活用にアイディアを持つ人
- 数学やデータサイエンスの知識を活かして人類の未来に役立てたい人

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（数学）　○ 高等学校教諭一種（数学）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」等により論理的な思考力を養います。また、「解析学基礎」「代数学基礎」「情報処理演習」などを通じて、数理科学および情報科学の初歩を学びます。

主な授業
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 数理科学教育と社会
- 情報科学教育と社会
- 教育総論

2回生

数学の各分野（代数学・幾何学・解析学・確率論・応用数学）の基礎を学び、「プログラミング演習」によりコンピュータを自由自在に活用する実践力を修得します。

主な授業
- メディア・リテラシー演習
- アクティブ・ラーニング入門
- 教育協働デザイン演習
- 科学教育と情報
- プログラミングとグループワークⅠ・Ⅱ
- 学校安全

3回生

数学の各分野を深く学び、演習を通して、様々な問題を論理的に解決できる力を身につけます。また、各種の情報システムについて、基礎から実践応用まで幅広く学びます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 科学教育プロジェクト演習 A
- 情報システム演習
- 数理探求Ⅰ・Ⅱ

4回生

「プロジェクト演習」により、情報化社会の問題解決と革新に取り組みます。卒業研究においては、少人数のセミナー形式で洋書を読むなどして、様々な教育の場で活躍できるよう、個々の力を伸ばします。

主な授業
- 数理情報プロジェクト演習 AB
- 卒業研究

自然科学コース

自然科学の幅広い知識を学ぶ

自然科学コースでは、自然科学全般にわたって能動的に学ぶことができる演習や実験が数多く開講されています。

POINT

- 自然科学の専門的な知識を身につける
- 自然科学の知識・手法を用いた課題解決能力を身につける
- 自然科学の教育マインドを身につける

求める学生像

- 自然の未知の現象を実験により探究し、その科学的および社会的意義を見出す意欲のある人
- 自然科学の実験が好きで、幅広い科学知識を身につけて広く社会で活躍したい人
- 教育現場や企業で必要な科学的能力を伸ばしたい人
- 学校をとりまく教育支援活動のうち、自然科学や環境に関することに興味がある人

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（理科）　○ 高等学校教諭一種（理科）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「物理科学基礎」や「物質化学基礎」、「生命科学実験Ⅰ」、「自然システム実験Ⅰ」などの講義と実験により、自然科学の基礎・基本を修得します。

主な授業
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー
- 科学リテラシーと社会
- 物理科学基礎
- 物質化学基礎
- 生命科学実験Ⅰ
- 自然システム実験Ⅰ

2回生

さらに、自然科学各分野の概説等により自然科学の基礎を学び、各分野の「サイエンス実験教材開発」により、自然科学実験の考え方を修得します。また「固体地球科学」などにより各領域の専門を修得し始めます。

主な授業
- 教育協働デザイン演習
- サイエンス活動指導論
- サイエンス実験教材開発
- 初等量子論
- 基礎物理化学
- 分子遺伝学
- 固体地球科学

3回生

「量子物理学」や「有機物質化学」、「集団生物学」などにより各専門領域を修得するとともに、「教育コラボレーション演習」や各領域の「実験デザインプロジェクト」で、その活用力も養います。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 科学教育プロジェクト演習 A
- 統計物理学
- 有機物質化学
- 集団生物学
- 自然システム野外実習

4回生

少人数での研究室分属による「卒業研究」や「科学教育実践演習」で研究手法や実践力をしっかりと養います。

主な授業
- 科学教育プロジェクト演習 B
- 科学教育実践演習
- 卒業研究

教育協働学科

グローバル教育専攻

英語コミュニケーションコース
多文化リテラシーコース

グローバル時代の教育を支える国際人

基本理念・目標

グローバル教育専攻では、英語、その他の言語によるコミュニケーション能力、人文社会学系学問に基盤を置く文化的リテラシー、教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材の育成をめざします。

専任教員・主な担当科目（五十音順）

【英語コミュニケーションコース】

Language Communication Seminar Ⅱ
Jason Robert Ginsburg

History of American Literature
橋本 賢二

Speech Communication in English Ⅰ
Robert Sanborn Brown

American Area Studies Ⅰ
馬 暁華

Professional English
松本 マスミ

【多文化リテラシーコース】

国際比較教育プロジェクトA・B
赤木 登代

グローバル芸術文化論
卜田 隆嗣

日本文学演習
石橋 紀俊

経済研究プロジェクト
高山 新

Basic european Language
井上 直子

美学
滝 一郎

日本文学研究 IA
小野 恭靖

中国文学入門B
中野 知洋

知識科学研究プロジェクト演習
亀井 一

歴史研究プロジェクト
渡邊 昭子

日本語教育概論
櫛引 祐希子

教員からのメッセージ

The English Communication program aims to foster globally-minded graduates who will be prepared to function both locally and on the world stage. The core courses focus on communication, writing, linguistics, US area studies - some taught in English - and the literature of the English-speaking world.
In an increasingly interconnected world, students in the English Communication program have the opportunity to meet and interact and learn with a wide variety of people.
(Robert Sanborn Brown)

情報を媒介するという点で文学作品も一つのメディアだと言えますが、古典的な傑作とされる文学作品が伝達する情報は、百年、千年単位の時間のなかで意味を生成し続けます。瞬時に消えゆくのではなく、長い時間に耐えうる情報を高度に組織化し得るのが文学作品というメディアだと言えるでしょう。だからその仕組みを解き明かす文学研究は、狭い学問領域を越えて、今必要とされる高度な情報リテラシーを養う方法論でもあります。（石橋 紀俊）

英語コミュニケーションコース

英語、コミュニケーション能力、人文社会学系学問に基盤を置く文化的リテラシー、
教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、
多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、
学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材の育成、
特に、グローバルに通用する英語コミュニケーション能力と英米的な自由な発想による
創造性・論理性・積極性の育成を行います。

POINT

- 高度な英語コミュニケーション能力を身につける
- 自由な発想にもとづき世界に通じる問題解決能力を身につける
- 学校、グローバル社会、地域と連携して教育・学習を支援する力を身につけます。

求める学生像

- 高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む人
- 英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む人

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（英語）　○ 高等学校教諭一種（英語）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「Speech Communication in English」など10の専門科目で高度な英語４技能を身につけ、グローバル社会を視点に入れた英語学習法を習得し、TOEFL®などの英語能力測定試験にもチャレンジし、交換留学の基盤を作ります。「英語Ia、Ib」や「English World」で、さらに英語力をみがきます。

主な授業
- ダイバーシティと人権
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- グローバル教育概論
- Professional English
- 教育総論

2回生

英語学、英米地域研究、英米文学の基礎について英語文献を使って学びます。英語ネイティブスピーカー教員が担当する「外国語コミュニケーション」でSpeaking力をみがきます。TOEFL®に再チャレンジし、交換留学の準備をします。

主な授業
- メディア・リテラシー演習
- アクティブ・ラーニング入門
- 教育協働デザイン演習
- グローバル言語学入門 Ⅰ・Ⅱ
- Introduction to UK and US Area Studies Ⅰ・Ⅱ
- Introduction to English Linguistics Ⅰ・Ⅱ
- 学校安全

3回生

英語ネイティブスピーカーの専任教員が担当する授業で、英語での学術論文の書き方を習得します。「外国語実践演習」で、英語の４技能をさらに向上させます。「教育コラボレーション演習」では、これまで身につけた英語力や留学での体験を学校や地域との協働に役立てる実際の経験をします。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- Seminar on English Linguistics Ⅱ
- Global Communication Ⅰ・Ⅱ
- American Area Studies Ⅰ・Ⅱ
- American Literature Study Ⅰ・Ⅱ

4回生

「English and Education Project Seminar」で、少人数のゼミにより、課題発見能力と問題解決能力を身につけます。英語で卒業論文を執筆することにより、高度なWriting能力を習得します。

主な授業
- English and Education Project Seminar A・B
- 卒業研究

多文化リテラシーコース

優れたコミュニケーション能力を基礎に、人文社会学系学問を中心とした文化的リテラシー、
教育に関わる学際的な関心に立脚する教育マインド、および、
多様な他者と豊かに共生できる素養を身につけ、グローバル化が進展する社会において、
学校や地域と協働して新たな教育領域と教育活動の創生ができる人材を育成します。

POINT

- 地域から教育を考えます。
- 多様なコミュニケーションの方法を学びます。
- 日常的に多文化と交流します。

求める学生像

- 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む人
- グローバル化する社会が抱える課題に対して、多文化理解力とコミュニケーション能力を活用して、企業、地域、自治体などと連携・協働をすすめながら課題解決に取り組むことを望む人
- 多様な言語と文化について理解を深め、優れたコミュニケーション能力を基礎にしながら特色ある国語教育に関わろうとする人

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（国語）　○ 高等学校教諭一種（国語）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」などにより、人文学的な考え方の基礎を学び、教育につなげます。経済、歴史、文学・言語、芸術という4つの分野のグローバル文化論により、様々な学問分野から学際的に文化を考える基礎を得ます。また、「Basic European Language」、「中国文学入門」などで、ドイツ語、フランス語、中国文学の基礎を固めます。

主な授業
- ダイバーシティと人権
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- グローバル教育概論
- 多文化リテラシー入門
- 教育総論

2回生

日本語、日本文学、中国の言語文化、経済、歴史、ヨーロッパの言語文化などに関する人文学諸分野の「研究」科目や「プロジェクト演習」科目での学びや議論を通して、文化理解、教育理解のための知識や研究手法を修得します。

主な授業
- アクティブ・ラーニング入門
- 教育協働デザイン演習
- 多文化フィールドワーク
- グローバル社会入門
- 日本語教育概論 A・B
- 学校安全

3回生

日本語、日本文学、中国の言語文化、経済、歴史、ヨーロッパの言語文化などに関する「研究」科目や「プロジェクト演習」科目を通して、二回生までに得た学識をさらに深め、文化研究の技法を身に付けるとともに、様々な教育的課題や社会的課題に応用可能な汎用的実践力を修得します。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 日本語学演習
- 国際教育比較プロジェクト

4回生

「多文化リテラシープロジェクト演習」などにより、質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力を修得します。3回生までに積み上げてきた各自の学知と関心をさらに追求して卒業論文を執筆します。

主な授業
- 多文化リテラシープロジェクト演習 A・B
- 多文化教育プロジェクト演習 A・B
- 卒業研究

教育協働学科

芸術表現専攻

音楽表現コース／美術表現コース

芸術創造の指導力をもつ表現者

基本理念・目標

芸術表現専攻では、音楽表現コース、美術表現コース各分野で芸術創造についての深い理解と高い専門能力を身につけるとともに、学校や地域社会と協働して新たな教育領域と社会文化活動の創生に意欲的に参画できる「教育マインド」を有した芸術表現者の育成をめざします。

求める学生像

- 芸術に興味・関心を持ち、教育及び芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 専門領域の高度な表現能力を活かして、地域社会や学校教育現場で指導力を発揮したいと志す人
- 優れたコミュニケーション能力を有し、他の人々と協働し、多様な教育課題を解決したいと志す人
- 教育や社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探求できる人
- 複雑化した現代社会において、人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

専任教員・主な担当科目（五十音順）

【音楽表現コース】

音楽専門実技（ヴァイオリン）
稲垣 琢磨

音楽専門実技（ピアノ）
岡本 麻子

音楽専門実技（作曲）
北川 文雄

音楽専門実技（トランペット）
神代 修

音楽専門実技（声楽）
玉井 裕子

音楽専門実技（フルート）
中務 晴之

音楽専門実技（ピアノ）
山畑 誠

Orchestra、指揮法
Paget Yannick

【美術表現コース】

ヴィジュアルデザイン/写真
江藤 亮

立体造形
五明 真

絵画
寺島 みどり

教員からのメッセージ

音楽表現コースでは、個人指導を通じて専門実技の向上を図り、学内外での演奏会を通じて貴重な演奏・創作体験を重ねます。また専門分野以外の他分野にわたる授業により、卒業後の進路では可能性を狭めることなく、社会で幅広く活躍できる人材を育成します。

猛威を振るい続けるコロナ禍において、「心の栄養としての音楽」が再評価された今、私たち音楽表現コースの存在意義は高まったと言えるでしょう。（神代 修）

美術表現コースでは、学生が自主性を持ち、お互いを尊重しあいながら学びを深めています。芸術表現という大きな世界に飛び込むことは勇気がいるかもしれませんが、共に成長しあえる仲間がいる環境で、思い切り自分の翼を広げて下さい。（寺島 みどり）

音楽表現コース

音楽表現コースでは、音楽に関する専門的知識、技法及び技能を身につけます。
そして児童・生徒の音楽活動を通じた情操教育の醸成や、
音楽による地域の文化意識向上のためのイベントの企画・運営、さらに
音楽教材の開発などを通して、学校、家庭、地域、社会と連携・協働し、
音楽教育に関わる課題解決に取り組む人材の育成をめざします。

POINT

- 養おう 音楽の力 みっちりと
- 高めよう 教える力 人間力
- 繋げよう 学校・地域 音楽の輪

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（音楽）　○ 高等学校教諭一種（音楽）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

「音楽専門実技」を中心に「ピアノ」「歌唱表現の基礎」「管弦打楽器」といった基礎的な実技科目や「作曲理論」「音楽学」「芸術表現文化論」等の理論科目を通して音楽の基礎能力を身に付けます。

主な授業
- ダイバーシティと人権
- ICT基礎 a・b　● 教育基礎セミナー
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- 芸術表現文化論
- 音楽専門実技 ⅠA・ⅠB　● 教育総論

2回生

芸術表現能力をさらに高めるとともに「社会芸術教育協働活動基礎演習」や「課外活動指導法（音楽）」等で、芸術がどのように学校や社会での教育協働活動に関われるかを学び、実践していきます。

主な授業
- メディア・リテラシー演習
- アクティブ・ラーニング入門
- 社会芸術教育協働活動基礎演習
- 課外活動指導法（音楽）
- 音楽専門実技 ⅡA・ⅡB
- 学校安全

3回生

専門能力を学校や社会で発揮するために、「社会芸術教育協働活動・音楽」で様々な企画や運営を自ら考えアプローチします。「ピアノ指導法プロジェクト演習」でも問題解決型授業により指導力と人間力を高めていきます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 社会芸術教育協働活動・音楽
- ピアノ指導法プロジェクト演習
- 音楽専門実技 ⅢA・ⅢB
- 室内楽 ⅢA・ⅢB　● 指揮法

4回生

今日的課題の解決に関わる教育プロジェクト演習を通して教材の開発や多様性理解について学び、学校や社会との協働力を高めます。また4年間で修得した高度な専門能力を公開演奏会で披露します。

主な授業
- 音楽教材創作プロジェクト演習
- 音楽専門実技 ⅣA・ⅣB
- 障害を越える音楽
- デジタルミュージック教材開発プロジェクト演習
- Orchestra ⅣA・ⅣB　● 卒業研究

美術表現コース

現代美術では「何を」「どのように」表現するのかを、
作者自身が考え実行することが求められます。
美術表現コースでは「何を」表現するのかを見つける為に、知識と教養を広め、
自分を深く見つめる視線を養います。
また「どのように」表現するのかは技術の習得と離れて考える事はできません。
まずは基本技法を習い、更に専門分野で研鑽を積み、自分の表現法を探ります。
全てにおいて自主性を重んじると共に、少人数制ならではの手厚い指導を行います。

POINT

- 「わくぐみ」にとらわれない美術表現の世界へ
- やりたいことに集中できる環境
- 社会とのつながりを感じ、考え、作品を活かす

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（美術）　○ 高等学校教諭一種（美術）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

絵画・立体造形・デザイン各分野の基礎とともに、充実した一般教養を学ぶことを通して、基礎技術と幅広い知識を養います。それらの実践の中で自分のやりたいことを固めていきます。

主な授業
- ダイバーシティと人権
- ICT基礎 a・b　● 教育基礎セミナー
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- 地域交流とデザイン
- 美術表現の基礎　● 教育総論
- 絵画基礎演習

2回生

絵画・立体造形・デザイン各分野の実技演習の他に、版画やウェブデザイン、アニメーション等の様々な表現手法を学びます。また「課外活動指導法（美術）」では、表現活動を通した学校現場や地域社会との交流を体験します。

主な授業
- メディア・リテラシー演習
- アクティブ・ラーニング入門
- 社会芸術教育協働活動基礎演習
- グラフィックデザイン演習 A・B
- 課外活動指導法（美術）
- 総合造形演習 A・B

3回生

絵画・立体造形・デザインから1分野を選択し、高度な専門性の獲得をめざします。また「社会芸術教育協働活動・美術」では、学外でワークショップ等を開催し、美術表現による地域連携の可能性について実践的に学びます。

主な授業
- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- 社会芸術教育協働活動・美術
- デジタルメディア教材開発
- 立体造形演習 ⅡA・ⅡB

4回生

卒業研究では、専門性の深化だけでなく、より多様な価値観の理解と広範な視野の獲得をめざし、成果を発表します。また、これまでの学びをどうやって活かしていくのかを主体的に考え、社会に貢献する力を高めます。

主な授業
- 総合制作マネジメントプロジェクト
- 絵画演習 Ⅲ　● 立体造形演習 Ⅲ
- デザイン演習 Ⅱ　● 卒業研究

教育協働学科

スポーツ科学専攻

スポーツ指導力をもつアスリート

基本理念・目標

スポーツ科学専攻では、本学科の特色である教育マインドを基盤にし、様々なスタイルの指導力を高めるための理論的・実践的課題に取り組むことで、優れたスポーツ実践力に基づいた指導者の養成をめざす。現代のスポーツ指導者は、学校教育を中心とした多様なスポーツ場面及び公共スポーツ、スポーツ関連産業など、生涯学習社会をめざすさまざまな社会的背景や年代の人々のスポーツのニーズに応えることが求められている。そのため、求められる指導の基盤となる力を、教育マインドとし、中でもスポーツ指導者にとって最も重要である子どもたちの育成・指導という課題を中心として、現代教育の理解、そして汎用基礎力及び協働力を学び、同時に優れた運動技能や幅広い運動経験に基づく理論的な基盤と指導力（コーチング）を持った人材育成を目的とする。

求める学生像

- スポーツ教育について強い関心と意欲を持つ人
- 子どもの育成に取り組むスポーツ指導者をめざす人
- 学校や地域スポーツの指導者をめざす人

POINT

- スポーツに関して実践的・多角的に学ぶ
- 実技力に基づく指導力を身につける

取得可能な免許

○ 中学校教諭一種（保健体育）　○ 高等学校教諭一種（保健体育）

○ 卒業要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教員免許状。

4年間の学びの流れ

1回生

スポーツ指導者及びチーム学校の一員となる資質を育てる第一歩として、スポーツに関わる基礎的事項を講義や実技を通して広く深く学んでいきます。

主な授業

- ダイバーシティと人権
- ICT基礎 a・b
- 教育基礎セミナー
- 教育協働概論 Ⅰ・Ⅱ
- スポーツ教育原理
- 生涯スポーツ論
- 教育総論

2回生

1回生で学んだことを基に、スポーツに関わる学びを広げ、スポーツ指導者としての第1歩の学びも始まります。

主な授業

- メディア・リテラシー演習
- アクティブ・ラーニング入門
- 教育協働デザイン演習
- スポーツコーチング論
- 課外活動指導法（スポーツ）
- 学校安全

3回生

スポーツ指導者及びチーム学校の一員になるため様々な指導現場に対応する力をつけていくため、より実践的に実習・演習等を通して深めていきます。また、スポーツ科学をより深めていくために研究室に所属し、専門的な知識を習得していきます。

主な授業

- 教育コラボレーション演習
- 外国語実践演習
- スポーツ教育プロジェクト演習 A
- 学校と地域スポーツ
- デジタルスポーツ教材開発 A・B

4回生

実際にスポーツ場面に実践者、指導者として立つための自覚と自信を育み、自ら考え、求め、学んでいく姿勢など習得したことを4年間のまとめとして実践場面に活かしていきます。

主な授業

- スポーツ教育プロジェクト演習 B
- スポーツマッサージ
- 卒業研究

【 学びの特長 】

スポーツ科学専攻の基本理念・目標は、教育マインドを基盤にし、様々なスタイルの指導力を高めるための理論的・実践的課題に取り組み、優れたスポーツ実践力に基づいた指導者の養成をめざしています。そのために、4年間を通して開講される実技科目14科目を開講し、自身の専門種目以外のスポーツ実践力も高めます。また2回生までに開講されている指導力の基礎理論であるスポーツ教育原理、スポーツ社会学、運動生理学、スポーツコーチング論、スポーツ心理学、スポーツマネジメント論、スポーツ医学、スポーツトレーニングと適応などを学び、教育基礎科目、協働共通科目で学んだ教育マインドを専門的な立場から理解をすることになります。

回生が進むにつれ、より実践的な立場から専門性を磨くために、スポーツ指導者育成論、学校と地域スポーツ、障害者とスポーツ、Global Sports Communicationなどの授業を通して、多様な人々（年齢、国籍など）のスポーツのニーズに応え、学校教育を中心とした多様なスポーツ場面、さらに公共スポーツ、スポーツ関連産業などで貢献する人材の養成につながっていくことになります。

主な就職：一般企業、教員、公務員、スポーツチーム、進学など

専任教員・主な担当科目（五十音順）

スポーツコーチング論
生田 泰志

スポーツ指導者育成論
松原 英輝

身体表現論
千住 真智子

課外活動指導法
吉田 雅行

アスレティックリハビリテーション
橋本 恒

教員からのメッセージ

平成29年度の学部改組により定員が50名となり、様々な種目、多様な考え方の学生が在籍することになりました。スポーツ科学専攻での4年間は、自分の専門種目や専門分野に止まらず、多くの同級生や先輩後輩との出会いとふれあいにより、あなたの想像を超える成長につながっていくことになるでしょう。

連合教職大学院
大学院［教育学研究科（修士課程）］
特別支援教育特別専攻科

大阪教育大学には、2つの大学院と1つの専攻科があります。
それぞれの目的や内容などを紹介します。

さらに詳しい情報は、本学ウェブページや大学院案内などのパンフレットをご参照ください。

連合教職大学院［連合教職実践研究科（専門職学位課程）］
高度教職開発専攻

連合教職大学院の目的

●教職生活全体における高度かつ実践的な教員養成のための専門職大学院

近年、教員の養成ー採用－研修等を通じて、教員が教職生活全体を通じて職能成長を実現する環境づくりが進められており、
教職大学院は高度専門職業人材養成に特化した大学院として、全国に設置されています。

●学部段階の資質能力を基盤に深い教職性と実践的指導力を兼ね備える新人教員を養成

教員養成系大学あるいは一般大学の学部新卒者に、それぞれの特色を生かした資質能力にさらなる教職専門性と
学校現場に即応できる実践的指導力を培い、学校の有力な一員となる新人教員を養成します。

●学校の組織的課題・子どもの教育課題に応じた教育実践力や指導的役割を発揮する現職教員を養成

多様で複雑化する学校の組織的課題や子どもの教育課題を適切にとらえ、
それらの課題解決をめざす確かな教育実践の展開に指導的役割を果たすことができる、学校の中核となる教員を養成します。

3つの特色

❶大阪の教育力を結集しました。

大阪教育大学と、これまで教員養成の重要な役割を果たしてきた大阪の有力私立大学である関西大学、近畿大学の3大学の連携による大学院です。
また、大阪府の各教育委員会とも連携し、大阪の教育力を結集した“オール大阪”の体制で教育研究を推進しています。

❷理論と実践の融合を図るカリキュラムを提供します。

教師に必要とされる力量を獲得し、さらに発展させることができるカリキュラムを提供します。

❸すぐれた教員が確かな指導を行います。

150名を超える大学教員が全学的な協力体制のもと、大学院生の指導・支援を行います。

コース	内　容
スクールリーダーシップコース	教職員集団をリードしたり、保護者、地域住民等と協働したりして、学校及び地域の教育課題を解決するために求められる優れたリーダーシップを発揮できる教員を養成します。
援助ニーズ教育実践コース	子どもを取り巻く多様な援助ニーズに対応するための高度な教育的手法を探究させ、「チーム学校」の考えに基づく学校内・外の関係者と協働して展開できる教員（養護や就学前教育を担う教員も含む）を養成します。
教育実践力コース	児童・生徒に即した、実践的で高度な学習指導、学習評価の能力を持ち、教員としてのカリキュラム・マネジメントや、教科横断的な視野を持った教科領域の指導、今日的な教育課題に対応した授業開発に、先端的かつ継続的に取り組むことのできる教員を養成します。
特別支援教育コース	特別支援教育の対象となる子ども一人ひとりのニーズに対応した適切な教育支援を行える高度な能力を身につけ、また特別支援コーディネーターとしての役割を担うことのできる教員を養成します。

大学院［教育学研究科（修士課程）］
高度教育支援開発専攻

教育学研究科は、全ての院生が教育・学習支援の実践力と課題分析力を身に付けられるよう教育課程を編成し、
教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成します。

4つの特色

❶教育・学習支援の実践力」と「課題分析力」の基盤的な力を身に付けます。

スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や
教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。

❷特定の領域での高度な専門性を身に付けます。

特定の領域における高度な専門的知識・技能を身に付けることに加え、
これを活用して教育・学習支援を深く探究するための実践力・研究力を修得するための学びを展開します。

❸実践的な教育研究手法を身に付けます。

大学院修了後も様々な課題に直面した際に、主体的に分析、考察、解決ができるよう、
調査・分析手法、論文作成手法など、汎用的な研究能力を身に付けます。

❹多職種協働による課題探究型研究・教育を展開します。

教育ファシリテーションコースにおいては、教育現場、企業、行政、地域から、
多様なバックグラウンドを有する社会人が一堂に集まり、多職種協働による教育現場の課題解決に資する研究・教育を展開するため、「プロジェクトベース科目」を開講します。

専　攻	内　容
心理・教育支援コース	教育領域で従事する心理職や子どもに関する心理の専門家、さらに教育や子どもの発達に関する心理学研究を行いたい学生を対象に、「チーム学校」や教育協働についての理論と実践を学ぶための高度な心理学の教育を行います。また、所定の要件を満たして単位を修得した方は、公認心理師の受験資格を取得できます。
国際協働教育コース	主として留学生を受け入れ、国境や異文化間を越えてグローバルなフィールドで他者と協働しながら活躍できる教育・学習支援人材を養成します。また、本コースでは、「日本型教育システム開発領域」と「日本語教育支援高度化領域」の2領域を設けます。
教育ファシリテーションコース	主として社会人を受け入れ、自らの知識・技能、経験を他者の知見と組み合わせて、教育現場の最適化に資する実践知を生み出す能力を養成します。また、本コースでは、「教育イノベーション開発領域」、「地域教育・芸術支援人材高度化領域」及び「健康・安全教育高度化領域」の3領域を設けます。

特別支援教育特別専攻科

特別なニーズのある子どもを理解し支援する高い実践力を備えた人材を育成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために
発達障がいや聴覚障がいをはじめ様々な障がい領域に関する専門教育を行い、
実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。
特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。
また、通常の学校（通常の学級）においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。
本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、
子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

●免許取得

免許状の種類
特別支援学校教諭一種免許状※

※領域：発達障がい分野修了の場合「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」教育に関する分野
聴覚障がい分野修了の場合「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」教育に関する分野

大阪教育大学に通う学生の本音トーク

OKU TALK

私たちの本音をぶっちゃけます！

木村 哲士【さとし】
学校教育教員養成課程
小中教育専攻
社会科教育コース

高井 美里【みのり】
教育協働学科
グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース

米野 倫花【りんか】
初等教育教員養成課程
小学校教育専攻
昼間コース

大阪教育大学を選んだ理由は？

【さとし】　教師になるうえで最短距離を行こうとしたときに、大阪教育大学がすごくいいなと思って選びました。「教師に向いている」と、自分が小学生の頃から周りの友達や親によく言われていたから、教師という仕事には自然と魅力を感じていて。高校生のとき、大阪教育大学の「人にまっすぐ。」というスローガンがとても心に響いたのも覚えています。

【みのり】　「人にまっすぐ。」。

【さとし】　うん。あと、教師になるという同じ夢をみんなで抱いて切磋琢磨できるという環境にもすごい魅力を感じたので、大阪教育大学を選びました。みのりは?

【みのり】　教育のことを勉強するなら大阪教育大学かなって。私は、教師になりたくて、英語も大好きで、教育のことも英語のことも専門的に勉強したかったから、両方学べる英語コミュニケーションコースがあるこの大学を選びました。

【さとし】　いいとこ取り。りんかは何で大阪教育大学を選んだん?

【りんか】　私は、教育関係へ進もうと思ったときに、教育に強い大学がいいと考えたから。でも、大阪教育大学には教育の道に進まない人もいて、教育に携わる人以外の考え方にも触れられるのもいいと思った。あと、家から近いのも大事だったから、大阪教育大学を選びました。

【さとし】　すごいいい。みんなしっかり考えてる。

大学生活で頑張っていることは?

【みのり】　私は、1回生のときに1か月間、アメリカのノースカロライナ州ウィルミントンというところに語学研修に行ったことです。
ハリケーンが来て大変やったこともあったけど、その分、ホストファミリーとすごく仲よくなって。楽しかったから、その次の年にもう1回ホストファミリーに会いにいこうと思って、一人でアメリカに行ったんだけど、それもすごく楽しかった。

【りんか】　すごい行動力。

【みのり】　あとは、フィリピンでボランティアをするサークルに入っていて、そのときに日本から企画を持っていって、現地の子どもと一緒に日本の文化とかを伝えたりする活動をしました。いろんな形の幸せがあるんやなってすごく感じた。

【さとし】　すごい。世界で活躍するんや。

【りんか】　グローバルという感じ。違う文化に触れたからこそやね。

【みのり】　うん、そう。さとしはどうなん?

【さとし】　僕は、大学の3年間を通してYOSAKOIソーランサークルの活動と、生の学校現場に触れることを頑張りました。実は3人とも同じサークルに入っていて、みんなで、一緒の大きなステージに立って賞を獲れるようめざしています。学校現場で演舞を披露させていただいたりも。個人的には、社会人もいるYOSAKOIチームの交流会にも参加して、北は北海道、南は沖縄まで全国の学生や社会人と積極的に友達になりました。

【みのり】　うんうん。

【さとし】　あと、生の学校現場に触れるという意味でも、地元の大阪府吹田市の学校にインターンシップと教育実習に行ったんだけど、他にも遠隔地実習があって長野県にも行ったり。兵庫県の自然学校のリーダーや、大阪市のいきいきの学童指導員にも挑戦して、いろんな学校現場に行くように頑張りました。

【りんか】　私も、人と関わることを頑張ったな。1回生のときは、塾講師で小中学生の前で授業をして、「勉強をもっと頑張っていこう」という感じで子どもといっぱい関わったし、2回生のときは、インターンシップをきっかけに、1年間、その学校にボランティアへ行きました。

【さとし】　え、継続して?すごい。

【りんか】　3回生の教育実習はその学校に行ったけど、違う学校も見てみたいと思って、別の小学校でもボランティアして、学校ごとの特徴を体感しながら比べることができました。そこで子どもとも関われるから、すごくいい経験だった。

【さとし】　やっぱり長期で継続して関わるって大事やな。

【りんか】　うんうん。めっちゃみんなのこと知れるから。

大阪教育大学の好きなところは?

【りんか】　私は、1、2回生は柏原キャンパス、3、4回生は天王寺キャンパスに通う学科にいるから、それぞれに好きなところがあって…。まず、柏原キャンパスは自然がのどかで学生数が多いから、伸び伸び過ごしやすい。学生数が多いと、自然と知り合いも多くなるし、キャンパスのどこを歩いていても知り合いと擦れ違って、気軽に「やあ」みたいな挨拶をできるのもすごくいい。

【さとし】　うん、分かる分かる。

【りんか】　天王寺キャンパスは、JRの天王寺駅からだと徒歩10分でアクセスがすごいいい。天王寺ってどこからでも行きやすくて、柏原と天王寺、全然場所は違うけど、私としてはめっちゃ通いやすい。

【さとし】　いいな、天王寺。

【りんか】　あとは、中高が併設されているから、子供の声とか部活の声とかが聞こえてくるのもすごくいい。みのりはどう?

【みのり】　四季と景色がすっごくきれいなところが一番好き。あと、教師になる人へのサポートが手厚いところかな。

【さとし】　ああー、確かに。

【みのり】　教師になるための教員採用試験に向けて講座の動画がアップロードされていたり、面接の講座もあったりして、本当にサポートが手厚い。さとしは?

【さとし】　教師をめざす人が多いということもあって、みんなすごい話しやすいし、笑顔が素敵なところかな。

【りんか】　ああー、いい人多いから。

【さとし】　先輩も後輩も関係なく幅広く友達をつくることができるところもいい。授業とかで初めましての人と会ってもお互い話がしっかりできる。

【りんか】　そうやんな。分かる分かる。

【さとし】　大教キューピットという活動もあって、自分の母校に赴いたりして、教師をめざしている高校生とか、大教に入りたい人、教師をめざしている人と、一緒に生で話せる場があって毎回刺激をもらえるのもいい。あと、僕も、四季とか季節の変化を楽しんでて、本当に広いキャンパスなので、魅力とか好きなところがあり過ぎて全然語り尽くせない。

【りんか】　分かる分かる。

【さとし】　やっぱり1回オープンキャンパスとかでみんなに来てほしいなって。

【りんか】　めっちゃ思う。大事大事。来てほしい。

授業以外の過ごし方は?

【さとし】　僕は、主に大学受験の予備校のチューターと、学童のいきいきの指導員のアルバイト。チューターをしていると直接高校生と話せるし、学童の指導員をしていると、小学校1年生から3年生の低学年の子供たちと関わることができる。教師になる目標があるから、子供たちや高校生と関わる機会をすごく大切にしています。

【みのり】　すごい。

【みのり】　私は、いろんな経験をしたいと思うから、長期休みにはフィリピンとか、さっき言ったようにアメリカとかに行ってた。今はちょっとコロナ禍で行けないから、海外にも早く行きたいなと思う。あとは、さとしと同じく、サークルでみんなで一生懸命練習して大きなステージで踊ったり。学生指導員のアルバイトもしていて、不登校支援に携わったりもしています。りんかはどう?

【りんか】　私は、人と一緒に過ごすのが好きやから、いろんな予定をいっぱい詰めがち。みんなと同じく長期休暇はサークル活動に力が入る。あとは、いろんな人と遊びとか旅行の予定も立てられるのが長期休暇のいいところやから、たくさん予定を入れて過ごしています。普通の休みの日やったら、同じように遊ぶことも多いけど、学校に行くボランティアを始め

てからは、今しかできない接客業とか飲食とかのバイトをしていて、それはそれでいい経験してるなと…。

【さとし】 いろいろ経験できるのも大学生だし。

おすすめスポット、好きな場所は?

【りんか】 私は、自然豊かなキャンパス全体がいいと思ってる。春には桜がいっぱい咲くし、夏は緑で青々とした景色が広がるし、秋になったら紅葉があって。落ち葉とか枝とかを拾ったのを素材にして、図画工作の授業をしたのがめっちゃ記憶に残ってる。

【みのり】 ええー、楽しそう。

【りんか】 自然が豊かやからできることやなって。冬になったら雪が降るときもあるし、やっぱりそうやって四季折々いろんな景色が見られるのはいいところだなと思います。

【さとし】 いろんな生き物にも会えるしね。

【みのり】 私も結構ドングリ拾ったりしてる。

【りんか】 ああー、めっちゃいい。自然楽しんでる。じゃあ、みのりのおすすめは?

【みのり】 私は、留学生と交流ができるGLCというところがすごくおすすめ。昼休みには留学生と一緒にご飯を食べながら、その国の文化とか母国について紹介してもらったりして、すごく仲よくなれる。そこに集まる大教生ともいろんな話ができるし。そこで英語の本だけじゃなく、TOEFLとかTOEICとかの資格のための参考書も置いてあって、借りたりもできるの。実際に私はTOEFLの参考書、過去問とか借りたりもした。

【さとし】 勉強熱心。

【みのり】 留学とかも行きたかったから、留学の相談もそこで乗ってもらったし、すごくいいところ。さとしは?

【さとし】 僕は、広い図書館がおすすめで、地下にもいっぱい資料があって、いろいろ置いてあるんだけど、特に「東京書籍 Edu Studio」が好き。学科の友達とかサークルの仲間と一緒に勉強したりとか、話しながらミーティングをしたりできるのがすごく気に入っていて、よく使ってる。

【さとし】 あとは、学食の前の池のテラスがあって、景色を楽しみながら友達と一緒におしゃべりしたり勉強したりご飯も食べることができるので、そこもよく行っています。

将来の夢は?

【さとし】 僕の将来の夢は、みんなが憧れる小学校の教員になること。子供たちが、人生が楽しい、最高、すばらしいと思えるような学校づくり、学級づくりをしていきたいから、まずは自分自身が誰よりも人生を楽しもうと思ってる。勉強はもちろん、授業も遊びも全部楽しみながら学んで、成長していきたい。それで、周りの子どもも大人も巻き込んで、みんなで成長し合える、そんな風にできたらいいなと。

【みのり】【りんか】 いいね。

【さとし】 苦手なこととか嫌なこともみんなで楽しみながら克服して、レベルアップしていきたい。人生を楽しむ、そして、周りもみんな楽しむというのが僕の将来の夢ですね。

【みのり】 いいね。私は、中学校の英語の教員になることが将来の夢。自

分の経験を生かして、英語の楽しさはもちろん、世界にもチャレンジしようって思えるように、生徒の興味を引き出せるようになりたい。あとは、ビル・ゲイツとかも出演した自分の経験とかを語るTEDトークというのがあって、そこで語るという夢を密かに考えてる。ちょっとビッグやけど。

【りんか】 大きい夢、格好いい。私もやっぱり小学校の先生になりたいなと思っています。担任だった先生から進級するときに贈られた、すごく心に残ってる言葉があって、自分が受け持った子どもにも、記憶に残ることをしてあげられる教師になりたい。今でも、ふとしたときとか元気がなくなったときにその言葉を思い出すと頑張れるから。みのりみたいに大きい夢を語るとしたら、そういう先生になって、自分の経験をまとめて出版して、世の中に広められたらいいな。

【さとし】 すごい。ビッグな夢、いいね。

【りんか】 うん、それぞれ頑張ろな。夢はビッグにね。

受験生へのメッセージ

【りんか】 実は、私は前期で合格することができなくて、後期で合格しました。うまくいかなかったときに、一度は止められたこともあったんですけど、諦めなかったからこそ今の自分がいると思っています。諦めずに努力するのは大事だし、そうやって努力したことは、今につながって、今の自分の力になってくれる。なので、皆さんにも最後まで諦めずに、自分の思うことや夢に真っすぐに頑張ってほしいなと思います。

【みのり】 私が受験期に心がけていたことは、とにかく受験を楽しむということです。受験期は、将来のことをしっかりと自分で考えたり、家族と将来について話し合ういい機会でした。ぜひ一度大阪教育大学に足を運んでみて、このキャンパスで大学生活を送る自分を想像してみて、しっかりと受験に向けて頑張ってください。応援しています。

【さとし】 僕は、高校生時代に、受験勉強だけでなくて、部活動や人間関係、将来の夢についてたくさん悩みました。皆さんもきっとたくさん悩むと思うんですが、そのときは本当に悩んで悩んで悩みまくってほしい。悩んで、しっかり考えることは将来にすごく活きるから。そして、やったらやった分だけ成長するので、やり過ぎなくらいにやるという気持ちでやってほしいなと思っています。受験勉強でしんどいときにおすすめなのは、大学生になったら何をしたいか、真っさらな紙や手帳に書き出すこと。大学生活でやりたいことを決めて、大学生になったら一気にやる、そんな風に楽しい目標や夢をたくさん描いていてほしいな。大阪教育大学ではすごく楽しいキャンパスライフが皆さんを待っているし、僕たちも皆さんを待っているので、勉強頑張ってください。

【みのり】 大阪教育大学で…。

【全員】 待ってまーす。

私たちのおすすめポイント!

東京書籍 Edu Studio

質問です。図書館でのマナーは?
静かにすること、ですね。そうなんですが、附属図書館には会話してもいい場所があります。それがラーニングコモンズ(東京書籍 Edu Studio)です。しゃべってもいいので、ここでは同じ夢を持つ友達とのグループ学習や、クラブやサークルのメンバーによる打ち合わせができます。また、室内には東京書籍のデジタル教科書体験コーナーと教科書ライブラリーがあり、最新教科書の内容確認や教材研究等が行えます。

柏原キャンパスの四季

金剛生駒紀泉国定公園内に配置された自然豊かな柏原キャンパスでは、春の桜、夏の深い緑、秋の紅葉、冬の雪など、季節に応じて様々な景色を楽しめます。広大なキャンパスで、それぞれの季節の良さを感じながら勉強や部活に打ち込めます。

外国語学習支援ルーム

GLC(外国語学習支援ルーム)ではネイティブ教員や留学生によるランチタイムチャットが行われるほか、語学学習の本を借りることができます。それぞれの語学レベルにあった本を読み、少しずつステップアップしていくことで語学力の上達は間違いなし!

OKUトークの動画をご覧になりたい方はOKU Channelをチェック!

YouTube OKU Channel

OKUトークの全編やメイキングを公開中!
その他、楽しい動画やインタビューなど、
学生の日常を紹介しています。
是非チャンネル登録してください!

天遊 TenYou 大阪教育大学広報誌

大阪教育大学広報誌「天遊-TenYou」

年3回広報誌「天遊」を発行しています。大学案内には載っていない内容盛り沢山! OKU Channel内のTenYou【天遊】ムービーには見逃せない動画がいっぱい! 是非ご覧ください!

Campus Calendar 年間行事

キャンパスの1年は、周囲に広がる美しい自然が四季それぞれの魅力を示す中で進行します。
キャンパスでは日々の講義・実習に加えて、季節ごとのイベントがあります。※一例であり、状況により実施しない場合もあります。

大阪教育大学の公式キャラクター
「やまお」と「たまごどり」は、
一年中様々なシーンで現れて大活躍！

YouTube
OKU Channel

イベントの様子や
インタビューなど
動画を随時更新中！
チャンネル登録してね！

4 APR

入学式 4月

音楽教育コースと芸術表現専攻音楽表現コースの学生たちの合唱により幕が開く入学式。学長によるありがたいお話の後は、本学が誇る音楽コースオーケストラの記念演奏が花を添え、新たな一歩を踏み出した後輩たちを、盛大に祝福します。

サークルフェスティバル 4月

春、新入生の訪れとともに、柏原キャンパスの大通りを、100を超えるクラブ・サークルがお出迎え。新入生勧誘のため、あの手この手を使い、趣向を凝らしてしのぎを削ります！

5 MAY

五月祭 5月

大学にも少し慣れた5月、春の学園祭である「五月祭」が開催されます。五月祭は、新入生が中心となって創作するお祭り。仲間たちと交流を深め、友情を育み、青春を分かち合います。

6 JUN

フィールドワーク 6月

キャンパスから外に出て、広い目で社会を学ぶ「フィールドワーク」。教員養成課程では、柏原市をはじめとした公立学校での観察実習プログラムが用意されており、1回生から学校現場を体験できます。専攻によっては、博物館や研究所を見学することも。

7 JUL

8 AUG

オープンキャンパス 8月 ※今年度はWebで開催

例年5000人以上が訪れるオープンキャンパスには、大学の魅力を紹介するため、学生たちもスタッフとして参加しています。

夏休み

待ちに待った夏休み。合宿が開かれるクラブ・サークルもあり、より仲間との親睦が深まります。

語学・文化研修 8月

長い夏休みは、異国の地で未知の世界にふれるチャンス。欧米やアジアの協定校で、プチ留学に挑戦してみましょう！

9 SEP

10 OCT

神霜祭 10月

神無月（10月）と霜月（11月）の期間にかけて開催される、本学最大の学園祭。ステージでは、ダンスや音楽ライブ、漫才などのパフォーマンスが繰り広げられ、周辺に連なる模擬店には、地元住民の皆さんが紅葉を眺めながら列をつくります。

11 NOV

芸術表現専攻音楽表現コース 定期演奏会 11月

プロオーケストラも多数公演するザ・シンフォニーホールで、教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースオーケストラによるコンサートが開かれます。同じ学生と思えない本格的な演奏と合唱に、感動すること必至！

12 DEC

冬休み

嬉しい楽しい冬休み。遊びもいいけど試験勉強もね。

人権教育全学シンポジウム 12月

人権尊重への意識を高めることを目的に、1979年から続く、本学の理念を表すシンポジウムです。講演やパネルディスカッションを通して、人権とは何かを考えます。

1 JAN

試験開始 2月

冬休みの後には1年生最大の難所、後期試験が待ち構え。ここを乗り越えれば晴れて2回生！

2 FEB

合同業界研究セミナー 2月

さまざまな業種・職種の企業・官公庁数十社が柏原キャンパスに結集し、PR合戦を展開します。あなたの憧れの企業もやってくるかも！？

春休み

試験を無事突破し、大学1年間が終了。英気を養って新たなシーズンへ。

3 MAR

卒業式 3月

先輩たちの旅立ちの日。やまおとたまごどりも舞台に立ち、卒業生の門出に花を添えます。

天王寺キャンパス 学生主体行事

- 4月：新入生・編入生歓迎行事
- 6月：学生大会
- 7月：夏祭り
- 11月：大学祭
- 3月：天王寺キャンパス卒業式

Club & Circles クラブ&サークル

キャンパスでは各ジャンルのサークルが結成されています。
クラブやサークルの仲間とともに過ごす4年間には、一生の素晴らしい思い出を作るチャンスが豊富にあります。

水上競技部
2020年度日本学生選手権、多数出場。全国国公立大学選手権シード権奪還を目標に頑張っています。

男子サッカー部
「チーム和ーク」と「文武両道」をスローガンに国公立大学で唯一関西学生サッカー1部リーグに所属し、インカレ出場をめざして奮闘中。

モダンダンス部
全日本高校・大学ダンスフェスティバルなどの全国大会に出場する他、学園祭やイベント出演、自主公演の開催をしています。

女子バレーボール部
現在関西リーグ3部所属
全勝優勝、2部昇格に向けて練習に励んでいます。

柔道部
全国大会に向けて日々鍛錬しています。
昨年は試合がなかった分今年頑張ります!!

男子ラクロス部
関西学生ラクロスリーグ1部所属。
「FINAL4（関西上位4チーム）」めざし奮闘中です。

剣道部
2019年度 全日本大会 男女団体個人 全てに出場。
「戮力協心」のスローガンのもと活動中。

琉球鼓舞いちゃりばちょーでーエイサー隊
沖縄の伝統芸能「エイサー」を踊る、関西唯一のサークルで、学園祭はもちろん、さまざまなお祭りや小中学校、福祉施設などで幅広く活動しています。

混声合唱団「CHOR」
定期演奏会（12月）やJointコンサート（7月）、学園祭など様々なステージで合唱しています。

硬式庭球部
2020年度全日本学生テニス選手権大会出場。
ジュニアテニス教室を開催するなど指導者としての能力を培うことができます。

陸上競技部
初心者から日本一を争う選手まで、幅広い経歴の選手が活躍中。
関西インカレでの男子1部残留、女子5位以内を目標に、日々練習しています。

硬式野球部
近畿学生野球リーグで奮闘中。2009年度には全日本大学野球選手権大会に出場しました。

アメリカンフットボール部
関西学生アメリカンフットボールリーグ所属。
スローガン「OUT TO WIN～何がなんでも勝つ～」を胸にDivⅡで奮闘中。

フォーク集団ぺんぺん草
弾き語りもできる軽音サークルです。楽器は固定ではなく、色々な楽器を演奏することができます。

邦楽研究会
箏・三味線・尺八を用いて、学園祭や定期演奏会など様々な場面で合奏を行います。古典曲から現代曲まで幅広く挑戦しています。

体育会（32団体）

- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バドミントン部
- 剣道部
- 柔道部
- 合氣道部
- 山岳部
- 空手道部
- 体操競技部
- 陸上競技部
- 水上競技部
- スキー部
- フォークダンスMNV（民族舞踊部）
- フィギュアスケート部
- モダンダンス部
- 弓道部
- L.S.B

文化系クラブ・サークル（19団体）

- 映像制作サークル「ライパチフィルム」
- 茶道部
- 写真部
- One In Christ
- 点訳サークルまんてん
- どんぐり
- 在日朝鮮人教育研究会
- 部落解放教育研究会
- 漫画研究会
- 放送研究会
- パソコンPaPa
- 教育研究会
- Let's Play
- 文芸部
- かるた会
- 聴覚障害学生と共に手話を学ぶ会
- 演劇集団FREEDOM INFINITY
- 琉球鼓舞 いちゃりばちょーでー エイサー隊
- YOSAKOI ソーランサークル 凛憧

体育系クラブ・サークル（9団体）

- ローンテニス部
- テニス愛好会
- 男女ソフトボール同好会
- 軟式野球部
- 男女バスケットボール同好会
- C.I.O. サークル池田組
- バレーボール同好会
- さわやかSUNSUN
- Soft Tennis Circle

音楽系サークル連合会（5団体）

- 軽音楽部
- 混声合唱団
- 吹奏楽部
- 邦楽研究会
- フォーク集団ぺんぺん草

天王寺キャンパス学生団体（22団体）

- 学生局
- 企画局
- サークル連絡協議会
- バドミントンサークル
- 水泳サークル
- 軟式野球サークル
- フットサルサークル
- ソフトボールサークル
- 合気道サークル
- みんなで走ろう会
- 男女バレーボールサークル
- 男女バスケットボール部
- ダンスサークル
- 剣道サークル
- 手話サークル
- 演劇部
- お笑いサークル
- 音研究会
- 軽音楽堂 LEDGIGS
- 混声合唱団
- 総合芸術サークル
- 天文サークル

大学行事クラブ・サークル

- 大学祭準備会

※公認団体の一覧です。
非公認団体は表記しておりません。

Residence 学生宿舎・下宿

大阪教育大学の学生の居住形態は、**68%**が自宅、学生宿舎が**5%**、下宿が**27%**です。（令和元年度 学生生活実態調査より）

Student dormitory 学生宿舎

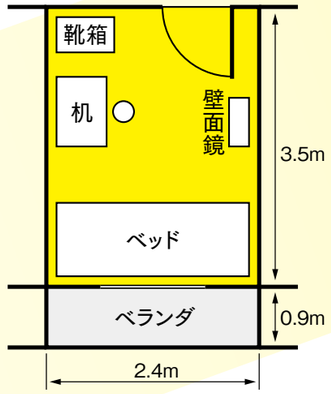
柏原キャンパス内には、本学学生の勉学に資する居住の場を提供し、修学を容易にすることを目的として設置された、男子学生宿舎と女子学生宿舎が各1棟あります。入居者の募集は入学時および途中退去者が出たときに行い、入居資格を満たした申請者の中から大学の定める選考基準に基づき選考委員会において選考されます。

居室

補食室

浴室

洗濯室



居室面積 8㎡（約4.5畳）

居室設備 ベッド、机、椅子、靴箱、カーテンレール 窓（幅137cm×高さ178cm）

- 各居室の設備や配置は、多少異なります。
- PCはLANで接続すれば、無料で使用できます。
- エアコンは各自で取付をお願いします。

※令和2年4月現在

宿舎名	収容定員	居室形態	宿舎料（月額）	共益費（月額）
男子学生宿舎	60人	全室個室	5,000円	700円
女子学生宿舎	80人	全室個室	5,000円	700円

宿舎料・共益費のほか、居室内および共有部分の光熱水料費として、月額およそ5～6,000円が必要です。上記の金額は令和2年度の金額で、在学中に改定が行なわれた場合には、改定時から適用されます。

宿舎に住んでいる学生のコメント

- 宿舎費が安い！
- キャンパス内にあるので通学がしやすい！
- 宿舎から出て買い物に行くのは大変だから生協食堂をよく利用します。
- 談話室に集まって、ご飯を作って食べることもしています。
- 友達がいるからさびしくないです。
- お風呂が広くて良いです。

入居に際して
- 学生宿舎は数に限りがあるため、希望されても入ることができない場合があります。
- 入居者は、必ず決められたルールを守っていただきます。（以下、入居者のルールの一部）

※建物内禁煙　※入居者以外立入禁止
※入居者同士のプライバシーの保護

Rooming house 下宿

▲カーテンや置物も自分の好みにコーディネート

芸術表現専攻音楽表現コース
杉本 愛里沙さん（出身校：北海道北広島高等学校）

私は大学進学と同時に下宿を始めました。地元が遠方なので、受験前から物件探しを始め、ゆとりをもって引っ越しして来ました。場所は学校から近い駅で、交通の便が良く、スーパーも隣接する、河内国分駅周辺に決めました。

下宿を始めてからは、防犯と安全にいっそう心を引き締めて生活しながら、掃除・洗濯・料理にと、新鮮な毎日を送っています。休日には学校に自主練習に行くので、通学しやすく、時間短縮になる近くに下宿して本当に良かったと思っています。余った時間は、天王寺や難波などに出かけたり、趣味や遊びに使うことができ、とても楽しい日々を過ごしています。一人暮らしのメリットとして、自分だけの自由な空間があるというのは、なんとも言えない解放感があります。部屋を自分好みにコーディネートできるのも楽しみの一つです。また、近くには先輩や友人が住んでおり、何か困ったことがあれば頼ることができるので、安心して一人暮らしをすることができます。

不安もある中で始めた下宿生活ですが、今ではこの選択をして良かったと思っています。

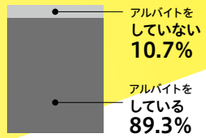
一人暮らしと言えば自炊！得意料理はカレーライス▶

Part Time Job アルバイト

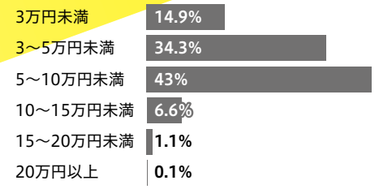
大阪教育大学の学生の**89%**がアルバイトをしています。（令和元年度 学生生活実態調査より）

平成30年12月末をもって大学窓口でのアルバイト・家庭教師紹介業務を終了しましたが、「学生アルバイト情報ネットワーク（バイトネット）」に紹介業務を移行し、引き続き紹介業務を行っています。無理な仕事を持った結果、修学に支障を来したり、健康を害して休学・退学を余儀なくされるという事例もあります。アルバイトをしようとするときはこうしたことが起こらないよう十分な配慮が必要です。

アルバイトしている割合



1ヶ月のアルバイト収入



アルバイト体験記

教育協働学科 グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース
南川 芽さん（出身校：大阪府立和泉高等学校）

私は、公文式教室で大学生スタッフとして働いています。小中学生の頃は公文式教室で学んでいたので、スタッフという立場でアルバイトをできるのが今でも新鮮でワクワクします。公文式教室では、私が授業などをして生徒に教えるのではなく、生徒は自分で問題を解いて学習します。そのため、自身の教える技術の向上のためというよりは、子どもと接することを大切にしながらアルバイトをしています。このアルバイトをしていなければ、日常生活でたくさんの子どもと接することはできなかったので、良い経験になっています。

また、他にも家庭教師やパン屋でもアルバイトをしていました。色々なアルバイトに挑戦できるのは大学生のうちだけかもしれないので、たくさん経験を積めてとても満足しています。

教育協働学科
理数情報専攻 自然科学コース
中西 優輝さん（出身校：大阪国際大和田高等学校）

私は学習塾の講師をしています。塾でのアルバイトを始めたきっかけは、大学生の間に生徒に授業をする機会、経験を積んでおきたかったからです。また、より学校に近い形で授業を行うために個別指導ではなく集団の学習塾を選びました。塾には小学生から中学生までが在籍しており、私は主に中学生の英語、数学、理科を担当しています。毎回の授業では、ただ教科書の内容を教えるだけではなく、“なぜ学ばなければならないのか”を伝えるようにしています。生徒によって習熟度は様々ですが、私たちの想定を遥かに超えるペースで成長してきます。成績が上がったと聞くと、自分のことのようにうれしくなります。さらに、勉強だけでなく、人としても大きく成長する時期に携われるという点にも大きなやりがいを感じています。当初は自分のスキルアップのために始めたアルバイトでしたが、アルバイトを通じて誰かのために働くことの素晴らしさを知ることができました。

Volunteer ボランティア

大阪教育大学では、学生に各種ボランティア活動を推奨しています。その1例を紹介します。
大阪教育大学の学生の約**40%**がボランティア活動を経験しています。（令和元年度 学生生活実態調査より）

学校サポート活動 今しかできない体験！現場がわかる！子どもがわかる！

自らの問題意識に応じて主体的に学校の教育に参画していくサポート活動を通して、児童・生徒や教職に対する理解を深め、指導力の向上を図ります。

SAS（Study After School） 大阪教育大学と柏原市が連携して行う放課後学習支援事業

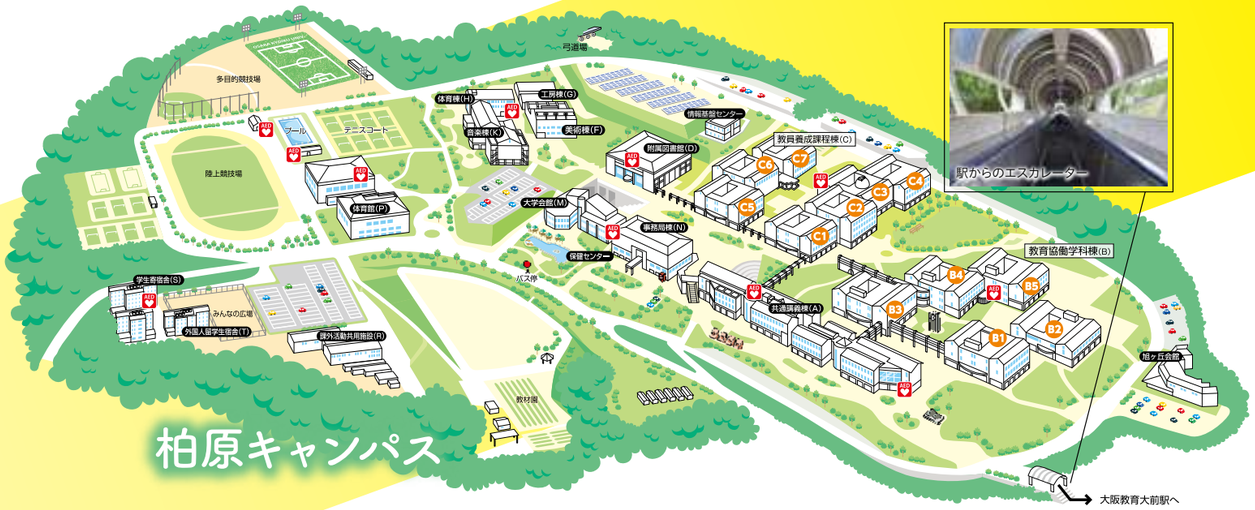
放課後に小学校の空き教室を利用し、学生が子どもたちの学習補助をしながら、実践的な経験ができる取組です。

森林体験学習 子どもとふれあい自然に対する理解を深める

本学・柏原市・柏原市教育委員会・大阪府が連携して支援しています。学生リーダーとして柏原市小学校での森林体験学習の実施（森のビンゴゲーム、植物のなかま分け、リース作りなどのアクティビティ）をサポートします。

Campus Map キャンパスマップ

大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒国定公園内に約67万㎡の広さを誇るメインキャンパスを配置。
豊かな自然の中に優れた教育・研究を実現するための様々な施設が整備されています。エスカレータ上からは、美しい夜景を眺めることも出来ます。



A棟（共通講義棟）

大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。

共通講義棟

ICT教育支援ルーム

外国語学習支援ルーム

大講義室

図工室

講義室

スポーツ施設

メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルーム等があります。また体育館の隣には、テニスコート、プール、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、野球場などスポーツ施設が充実しています。

体育館

剣道場

柔道場

ダンスルーム

トレーニングルーム

メインアリーナ

人工芝グラウンド

AED

Automated External Defibrillator
自動体外式除細動器

私たちの心臓は、規則的に正しく動き、全身へ血液を送るポンプの役目を負っています。AED（自動体外式除細動器）とは、心臓が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す機器です。2004年7月から一般市民による使用が認められました。本学では保健センター、体育館及び附属図書館等各所に設置しています。

B棟（教育協働学科棟）

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。

教育協働学科棟

ガリレオボード

レモンルーム

C棟（教員養成課程棟）

主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。

教員養成課程棟

メロンルーム

天文台

障がい学生修学支援ルーム

Campus Map

柏原キャンパスには、授業の登録など修学上の諸手続きを行う事務局棟、ホールや実習室の他に練習室が約60室設置された音楽棟、美術や工芸の力を磨く美術棟・工房棟、体育・スポーツの理論を学ぶ体育・スポーツ棟など、様々な建物があります。また、サークル活動が行われる課外活動共用施設、さらに学生宿舎も配置されています。

事務局棟

課外活動共用施設

音楽棟

体育・スポーツ棟

工房棟

留学生宿舎

学生宿舎

美術棟

D棟 附属図書館（本館）

地上３階、地下２階、５階建ての附属図書館です。９０万冊以上の蔵書には、教育系の専門書や教科書を揃え、教職をめざす学生の“学び”をサポートしています。また、館内には、グループ学習やアクティブラーニングを目的とした施設も備えており、様々な学習の形に対応しています。

附属図書館

■ 東京書籍 Edu Studio

学習のために人が集まり、「まなび」を共有する場所です。黒板や電子黒板も設置され、会話ＯＫで、友達とディスカッションしながらの学習や、模擬授業、ゼミ・グループでの討論に利用できます。
※東京書籍株式会社とネーミングライツパートナー契約を結んでいます。

■ 閲覧室

館内中央には吹き抜けがあり、光を取り込んだ明るい閲覧室です。小中高で使用されている教科書も利用でき、実習や教員採用試験に役立てることができます。また、15台のパソコンが設置されており自由に利用できます。貸出用にも20台のノートパソコンを用意しており、レポート作成等に利用されています。

■ サイレントルーム

会話やパソコンの使用が禁止されている部屋で、閲覧室より静かな環境です。座席も一席ずつに区切られているため、個人学習に最適です。

■ グループ学習室

８～１６人用の個室が５室あり、グループでの学習や研究活動に利用できます。教育実習や教員採用試験に向けて、模擬授業の練習もできます。

■ たまごギャラリー

本学の学生の作品の展覧会が行われるスペースです。毎年、美術系の学生や写真部など30回近くの展覧会が開催されています。

教育研究施設

■ 保健センター

学生・教職員の心身の健康保持・増進を目的としています。健康診断をはじめ、保健管理に関する専門的業務を行っています。
センター長　宮前 雅見
飛谷 渉

■ 情報基盤センター

教育研究のサポートとして、全学情報基盤システムの維持管理や情報実習室の管理を行っています。学生の皆さんの相談窓口としてA棟にICT教育支援ルームを設置しています。
センター長　佐藤 隆士
尾崎 拓郎、森 兼隆

■ ICT教育支援ルーム（情報基盤センター）

学内のICT教育全般について、技術的なサポートを行っています。
場所：共通講義棟（A棟）３１２室

■ 地域連携・教育推進センター

グローバルな問題意識のもと、ボーダーを超えて大学と地域を結びます。今日の学校教育や地域の生涯学習の課題を研究し、教員養成および現職教育の充実・発展に貢献します。人権や社会正義、共同活動や多様性尊重といった原理は本センターの活動の中核に据えられています。
センター長　高橋 登
池嶋 伸晃、和田 良彦、岡田 耕治、
吉川 年幸、佐久間 敦史

■ グローバルセンター

学生交流及び学術交流の企画・立案、留学生の受入れ・派遣の推進及び教育研究面での国際活動の充実を図ることを目的としています。
センター長　箱崎 雄子

■ 外国語学習支援ルーム

外国語のコミュニケーション能力の向上をめざす学生の、自律的な学習を支援しています。また、ラーニングアドバイザーによる個別相談も行っています。

■ 教育イノベーションデザインセンター

学校教育から大学教育に関して、学内外と連携し、Society5.0の社会に向けて、ICTや科学技術に基づいたこれまでにない未来志向の新たな教育を研究・開発し、実践することを目的としています。
センター長　鈴木 剛
仲矢 史雄、安積 典子

■ キャリア支援センター

キャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と進路、職業選択を支援することを目的としています。指導教員と連携しながら、学生一人一人の適性・進路に合わせたきめ細かい支援を行っています。
センター長　手取 義宏
キャリアアドバイザー
森 繁樹、杉田 絹子、吉田 文一、
小磯 久美子、近藤 一江、田中 豊

■ 学校安全推進センター

平成13年6月8日、本学の教育学部附属池田小学校において23名の児童および教員が殺傷される事件が発生し、精神的に大きな傷を受けた児童・保護者・教員に対し長期にわたるケアが必要とされています。本センターは、このような学校危機の発生に対して、専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する研究・教育機関として設置され、その後、学校安全の推進に関する研究領域を充実し、国立大学の教員その他でこの分野の研究に従事する者の利用に供することを目的としています。
センター長　藤田 大輔

■ 修学支援センター

大学における学生相談、障がいのある学生の修学支援その他の学生の支援を行っています。カウンセリングルームと障がい学生修学支援ルームがあります。
センター長　山本 利和

・カウンセリングルーム

学生生活上のさまざまな悩みについて、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）が心理的なサポートをしています。
専任カウンセラー　奥田 紗史美

・障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が自らの能力を最大限に発揮し自己実現できるよう、修学支援に取り組んでいます。
【問合せ先】
072-978-3479（平日9:00～17:00）
sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
障がい学生修学支援ルームはC6棟2階北西角にあります。

■ 教育実践支援ルーム

教育実践支援ルームでは、教育現場や子どもたちの教育や生活を直接的・間接的に支えている現場で活動する学生の支援に取り組んでいます。元校長や教育委員会関係者など学校教育等に精通したスタッフが活動を支援します。
教育実践アドバイザー
今川 惠美子、水本 哲也
教育協働コーディネーター　吉原 孝

保健センター

キャリア支援センター

学校安全推進センター

情報基盤センター

M棟 大学会館

Dining TERRA、第2食堂、レストランFORET、喫茶（SUN CAFE）、Shopアイリス（書籍・購買・旅行・サービス）などがあり、学生の憩いの場となっています。なお、第2食堂は「1g 1.6円」のバイキング食堂で日替わりのお惣菜が自慢です。クラブ生のために夜8時30分まで営業しています。

大学会館

SUN CAFE

場所 大学会館3階
営業時間 平日8:00〜15:30／土日祝休業

朝8時から営業していますので、
授業前にここで朝食を摂る学生さんもいます。
軽食・デザートが充実しているカフェレストランです。

人気メニュー

日替わり定食
（チーズミンチカツ）

朝定食

和風パフェ

いちごパフェ

ベルギーチョコケーキ

白桃のタルト

ほっと一息SUN CAFEで

教育協働学科 芸術表現専攻
音楽表現コース

河合 春果さん

授業の合間や練習の前にSUN CAFEで友達とCaféタイムを楽しみます。ケーキと紅茶、お昼を過ぎるとサンデーなど限定のスイーツも楽しめます。夏の暑い日にはアイスを食べ、冬の寒い日は暖かいコーヒーであったまります。お昼にはサンドのセットがあり、朝にはボリュームたっぷりな朝定食があります。SUN CAFEがあればなにもいらない！ほっと一息いかがですか？

Restaurant FORET

大学会館2階
営業時間：平日11:45〜14:00／土日祝休業
（12:00〜13:00は教職員優先）
スタッフが席まで料理を運んでくれるフルサービス形式。落ち着いた雰囲気で食事ができます。

テイクアウトショップ

大学会館3階
営業時間：平日11:45〜13:00／土日祝 休業
あったかいお弁当のテイクアウト専門店です。

Shop IRIS

大学会館2階
営業時間：月火木金 8:30〜19:00
水 8:30〜17:00
土 9:00〜15:00／日祝 休業
お弁当やお菓子などの食料品から、書籍、文具、生活用品、国内海外旅行、教習所紹介、各種レンタル物品など幅広く取り扱っています。

※記載の営業時間は大学の授業、課外活動等が通常通り行われる場合の営業時間です。

Dining TERRA

場所 大学会館1階
営業時間 平日11:00〜13:30／土日祝休業

ごはん・おかず・惣菜・麺類・カレー・丼など、
お好みのメニューを自由に組み合わせることができる
カフェテリア形式。学内で1番広い食堂です。

人気メニュー

麻婆豆腐

ササミチーズ
タルタルソース

今日のお昼は これで決まり!

教育協働学科 芸術表現専攻
音楽表現コース

後藤 空我さん

お昼時にはいつも賑わうDining TERRA。広い店内にはテーブル席やおしゃれなラウンジ、立って利用できる立ち席があります。ササミチーズカツや麻婆豆腐、カレーや丼ものなどのたくさんのメニューから自分の好みのメニューを組み合わせられるのが魅力です。ご飯とおかず、栄養バランスを考えて野菜をもう一品・・・皆さんも自分だけの組み合わせを考えてみてはいかがでしょうか？

定食例
●豆腐と野菜のすき焼き風、
●さっぱり揚げ出し茄子、
●みそ汁●ライス

定食例
●ねぎ塩ハンバーグ、
●みそ汁●ライス●ショコラ

第2食堂

場所 大学会館2階
営業時間 ■月火木金 10:30〜20:30 ■水 10:30〜19:30
■日・祝 11:00〜14:30 ■土 11:00〜19:30

食べたいメニューをほしい量だけ食べられる、
グラムバイキング形式です。

人気メニュー

担々麺

チキン南蛮丼

ジューシー唐揚げ

練習の前に好きなだけ

教育協働学科 芸術表現専攻
音楽表現コース

阿井 咲奈さん

第2食堂の利点は遅くまで営業しているところです。私は全ての講義が終わった後に楽器の練習をするのですが、第2食堂は一番遅くまで営業しているので、よくここで夕食を済ませてから練習に行っています。土日も営業しているので、寮生や部活動をしている人がよく利用しています。種類が豊富でグラムバイキングもあるので、ガッツリ食べたい！！という方にオススメです！

天王寺キャンパス

交通アクセスのよい大阪市天王寺区にある都市型キャンパス。
附属学校に隣接する環境で実践性の高い人材を育てます。
国立大学で唯一の夜間（5年制）コースだけでなく、
昼間（4年制）コースでも活用。

※附属学校と共用

食堂
学園ホール1Fにある食堂は、おいしいと評判のうどん、カレー、どんぶりその他豊富なメニューで学生のお腹をサポートします。

附属図書館（分館）
図書約7万冊・雑誌・電子資料が利用でき、2015年リニューアルにより、グループ学習室等を新設しています。

西館ホール
170席（最大200席）の多目的ホールです。観覧席は電動式で、収納すれば広々としたフロアになります。

ミレニアムホール
中央館1Fにある多目的ホールです。講演会やコンサートなど、様々なイベントに対応できます。

マロンルーム
自習に利用できる落ち着いた雰囲気のオープンスペースです。

アクセス抜群！都市型キャンパス

日本一の高層ビル「あべのハルカス」をはじめ、
観光やショッピングスポットとして注目を集める大阪市の阿倍野・天王寺エリア。
このエリアに、1901年以来の歴史をはぐくむ「天王寺キャンパス」は、
今も昔も大阪の教育を支えています。
JR寺田町から徒歩5分、JR天王寺駅から徒歩10分という抜群の交通アクセスに加えて、
これまでの夜間（5年制）に加えて、2017年4月には、昼間（4年制）コースを新設するなど
新たな魅力が追加。附属学校が隣接する環境で教育実践力の高い人材を育てています。
大阪府初設置となる関西大学・近畿大学との連合による、
現職教員やストレートマスターを対象とした
「連合教職実践研究科（連合教職大学院）」を2015年4月に開設。
現場の実態に基づく「理論」と「実践」を往還する学びを展開するとともに、
現職教員等を対象とした「教員免許更新講習」を開講するなど、
教育実践力向上の拠点的機能を有したキャンパスです。

附属学校統括機構：附属学校園

本学は、令和2年度に、大学と附属学校園をつなぐ組織として、附属学校統括機構を設け、その機構のもとに高等学校3校舎を含む11の附属学校園（小学校：3校、中学校：3校、高等学校：1校3校舎、特別支援学校：1校、幼稚園：1園）を設置する体制へと改革しました。附属学校統括機構は、円滑な学校園の運営、指導、教育、研究及び学校安全等の充実を図るとともに、さらに大学部局との連携強化に取り組んでいます。また、附属学校園にあっては、大学の教育研究・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとにテーマを持って研究に取り組み、連絡進学をはじめとする相互連携も行っています。

附属学校統括機構

- 附属 天王寺小学校
- 附属 天王寺中学校
- 附属高等学校 天王寺校舎
- 附属 池田小学校
- 附属 池田中学校
- 附属高等学校 池田校舎
- 附属幼稚園
- 附属 平野小学校
- 附属 平野中学校
- 附属高等学校 平野校舎
- 附属 特別支援学校

天王寺地区

研究テーマ

人間と科学の調和を拓く リテラシー教育（平成22年度～）

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。

特色ある取組

小中高連携による生徒の資質育成

天王寺地区では小中高の生徒の協働活動を通じて、将来につながる資質の育成に努めています。教員志望の高校生が小学校に出向いて行う支援活動や、小中高連携の宿泊型避難訓練など、実際的な活動の場を作っています。

附属天王寺小学校

本校は、長年教科研究を深めるべく、校内研修・校内研究を推進し、その成果を毎年授業研究会で、全国の先生方・教員をめざす学生たちに広く公開しています。また、平成29年度には、文部科学省の事業委託を受け、働きやすい環境づくりをめざして、業務改善を進めました。さらに令和2年度は、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として「教科横断的な学習としてのSTEAM教育」の実現をめざし、令和元年度から設置している「ぼうさい科」も含めた汎用性の高いカリキュラムの開発に力を注いでいます。

附属天王寺中学校

「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

附属高等学校天王寺校舎

生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協同的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。平成27年度よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）第2期の指定を受け、科学を支える人材の育成を進めるとともに、米国、タイの理数科高校との交流も進めています。

池田地区

研究テーマ

社会とつながり、明日を切り拓く資質・能力の育成（令和元年度～）

学びの中で生まれた問いを大切にし、多面的な見地に立って論理的、批判的に考え、学び続けることを通して、情報化・グローバル化する社会の中で、よりよい構成者となり、自主・自律の精神をもって生きてゆくことのできる人間の育成をめざしています。

特色ある取組

安全を核とした国際共創教育

情報化・グローバル化する社会における、個々人の安全、地域社会の安全、国際社会の安全に関する学びを蓄積し、寛容性や主体性、共同性を育み、多様な安全課題の創造的な解決に貢献できる人間の育成をめざしています。

附属池田小学校

本校は平成27年3月に日本初のセーフティプロモーションスクール認証校となりました。学校安全の取り組みを進め研究成果を発信しており、国内外の学校と人的・学術的交流を行っています。また、教育研修会を開催し、全国の教員の方々と交流して、よりよい授業づくりを研究するとともに、地域の教育委員会と連携して初任者研修や中堅教員研修の充実に努めています。

附属池田中学校

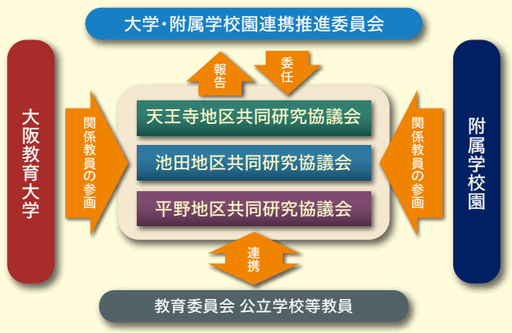
本校は、「自主・自律」の精神のもと、海外においても求められる確かな学力の育成をめざしています。また、西日本初の国際バカロレア（以下、IB）のMYP単独の認定校として、国際標準に基づいた授業を行っています。そして、IBワールドスクールとして、世界各国のIB校と連携を取っています。さらには、セーフティプロモーションスクールとして生徒主体の学校安全も国内外に対して発信を続けています。

附属高等学校池田校舎

自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にする教育を行っています。令和2年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、今までのユネスコ・スクールとしてのESDの実績やIB教育研究、ICT活用研究の成果を生かして、「データサイエンスに基づくイノベーティブなグローバル人材育成」に取り組んでいます。また、セーフティプロモーションスクール認証をめざしています。

●大学・附属学校園との共同研究

大学・附属学校園連携推進委員会の下に設置した各地区（天王寺、池田、平野）共同研究協議会において、地区ごとに共同研究テーマを設定し、学校教育の充実と発展に寄与する共同研究を行い、国の拠点校、地域のモデル校となるよう、附属学校園を活用した教育研究の推進をめざしています。中期計画・年度計画にも共同研究の推進が謳われており、地区ごとに設定した共同研究テーマを３～４年計画で推進するための取組が進められています。



平野地区

研究テーマ

生涯発達的視点に基づいた校種間連携型一貫教育（平成28年度～）

すべての校種が近接する地区の特色を生かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に邁進しています。

特色ある取組

地域との連携・地域への発信
―平野の学びを子どもたち・教員へ―

国内外の様々な人たちと創る新しい学びを積極的に組み入れ、多様性の理解に基づく多文化共生社会の実現をリードするイノベーティブなグローバル人材の育成をめざしています。「ステップアップ研修」や「オープンカフェ」「課題研究研修会」等の教員研修会や、地域及び支援学校等に向けた特別支援に関する相談・支援事業をとおし、各校園の研究成果を積極的に発信しています。

附属幼稚園

「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境（実のなる木、様々な動物等）、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

附属平野小学校

教育目標「ひとりで考え　ひとと考え　最後までやりぬく子」を基盤とし、平成28年度から文部科学省研究開発学校に指定され、新教科「未来そうぞう科」を設立した後、現在も教育課程特例校として「未来をそうぞうする子ども」を育成する研究を進めています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかなる成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

附属平野中学校

本校では、学び続けるための基礎基本として、「自ら気づく力」「深める力」「創造する力」を育むことをめざしています。学校・家庭・地域が一体となり、さらに平野地区の五つの校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」と言われるように、授業だけでなく、特色のある学校行事も活かしながら、自律への意志や協働への意欲を高めています。

附属高等学校平野校舎

スーパーグローバルハイスクール（SGH）に続き、令和2年度よりワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業（WWL）・拠点校に指定され、国内・海外の大学・高校・協働機関、平野五校園等と連携し、多文化・多様性を理解し主体的に探究するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。また、独自に開発した「探究的な学習の指導法（平野メソッド）」の普及にも力を注いでいます。

附属特別支援学校

本校は、知的障害のある児童生徒が在籍している学校です。「明るく健康で意欲的な子ども」をめざす子ども像とし、一人ひとりの個性を尊重した教育実践を日々積み重ねています。小学部からキャリア教育の視点を取り入れ、自分で考え行動でき、また仲間と共に活動し、主体的に社会に関われるように、魅力ある授業づくりに取り組んでいます。

就職 DATA

就職実績　令和2年度 卒業・修了生就職状況

本学は、全ての学校種別と教科を網羅する西日本最大の教員養成大学として、毎年約1,000人の卒業生を輩出しています。
近年は、正規教員採用試験合格者数全国トップクラスの実績を誇る教員のみならず、公務員や一般企業の就職においても高い評価を得ています。

教育学部【第一部】

（令和3年5月1日現在）

課程・専攻コース ＼ 進路先				就職者 教員 公立学校 小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼保連携こども園	公立学校以外の教員	小計	自営業	保育所等	農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉（保育所等を除く）	サービス業	小計	公務員（教員・保育士を除く）	進学	未就職 教員志望	教員以外志望	大学・短大等	その他	不明者	合計
教員養成課程 平成28年度以前入学生	教育科学			3 (1)						3 (1)					1									1			2	1							6 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	国語教育	小学校コース	1 (1)		1 (0)				2 (1)																	0	1							3 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	国語教育	中学校コース						1 (1)	1 (1)																	0								1 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	英語教育	小学校コース	1 (1)	1 (1)	1 (0)			1 (0)	4 (2)																	0		1						5 (2)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	英語教育	中学校コース							0 (0)																	0	1	1						2 (0)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	社会科教育	小学校コース	1 (1)						1 (1)								2									2	1							4 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	社会科教育	中学校コース						1 (1)	1 (1)																	0		1						2 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	数学教育	小学校コース	1 (1)						1 (1)											1			1			2								3 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	数学教育	中学校コース		1 (1)					1 (1)	1																0								2 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	理科教育	小学校コース	1 (1)		1 (1)			1 (1)	3 (3)																	0								3 (3)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	理科教育	中学校コース		1 (0)					1 (0)																	0								1 (0)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	学校教育教員養成課程	美術・書道教育	小学校コース	2 (1)						2 (1)												1					1	1							4 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	特別支援教育教員養成課程						1 (1)			1 (1)																	0				1				2 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	養護教諭養成課程					1 (1)				1 (1)																1	1								2 (1)
教員養成課程 平成28年度以前入学生	小計			10 (7)	3 (2)	4 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (3)	22 (15)	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	1	1	1	8	5	3	0	1	0	0	0	40 (15)
教員養成課程 平成29年度入学生	教育課程	幼児教育						8 (0)	3 (0)	11 (0)		1					1										2		2						15 (0)
教員養成課程 平成29年度入学生	教育課程	小学校教育	昼間コース	32 (5)					1 (1)	33 (6)						1		2			1				1	1	6								39 (6)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	特別支援教育		10 (2)			18 (4)			28 (6)								1						6	1	8	1	10				1		48 (6)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	学校教育	16 (2)	2 (2)	1 (0)			1 (0)	20 (4)										1				1	1		3	2							25 (4)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	国語教育	15 (7)	4 (0)	4 (1)			2 (2)	25 (10)					1			1						1		1	4	3	4	1					37 (10)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	英語教育	10 (1)		1 (1)				11 (2)			1														1								12 (2)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	社会科教育	12 (4)	1 (1)	1 (1)			5 (3)	19 (9)						1								1		2	4	6	3		1				33 (9)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	数学教育	7 (5)	2 (0)	1 (0)			2 (1)	12 (6)						1			1					1			3	1	4						20 (6)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	理科教育	9 (3)	5 (3)	2 (1)			1 (1)	17 (8)	1				2	1		1	1					1			6		5						29 (8)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	家政教育	10 (0)						10 (0)							1		1								2								12 (0)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	保健体育	7 (3)	2 (1)	2 (2)			2 (2)	13 (8)					1		1	4		1				1			8	1	5				1		28 (8)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	音楽教育	3 (0)	1 (1)					4 (1)									1							1	2		3						9 (1)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	小中教育	美術・書道教育	7 (1)	1 (0)				2 (1)	10 (2)						1		1									2	1	1						14 (2)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	国語教育	1 (0)	3 (0)				3 (3)	7 (3)						1		1								1	3	1							11 (3)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	英語教育		2 (1)	1 (0)			2 (2)	5 (3)														2			2	1	1				1		10 (3)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	社会科教育		2 (1)	2 (1)	1 (1)		1 (1)	6 (4)				1		1				1				1	1		5		1						12 (4)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	数学教育		7 (2)	2 (1)			4 (2)	13 (5)						2		1	1			1					5	1	2	1	1				23 (5)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	理科教育	1 (1)	7 (1)	3 (1)				11 (3)					1			2									3	1	4						19 (3)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	技術教育		5 (0)	2 (1)				7 (1)																	0								7 (1)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	家政教育		2 (1)				1 (0)	3 (1)				1	1	1								1	1		5								8 (1)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	保健体育		4 (2)				1 (1)	5 (3)								3									3		2						10 (3)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	音楽教育	1 (0)	5 (2)					6 (2)						1										1	2	1	1						10 (2)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	中等教育	美術・書道教育		4 (0)	2 (1)			1 (1)	7 (2)								1						1			2	1	1						11 (2)
教員養成課程 平成29年度入学生	学校教育教員養成課程	養護教諭養成課程		11 (4)	3 (2)		2 (1)	1 (1)	3 (1)	20 (9)					1			1						1	1		4	1	1						26 (9)
教員養成課程 平成29年度入学生	小計			152 (38)	62 (20)	24 (11)	21 (6)	9 (1)	35 (22)	303 (98)	1	1	1	2	7	11	3	19	5	3	1	1	0	11	11	9	85	22	50	2	2	0	3	0	468 (98)

教育学部【第一部】

（令和3年5月1日現在）

課程・専攻コース ＼ 進路先			就職者 教員 公立学校 小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼保連携こども園	公立学校以外の教員	小計	自営業	保育所等	農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉（保育所等を除く）	サービス業	小計	公務員（教員・保育士を除く）	進学	未就職 教員志望	教員以外志望	大学・短大等	その他	不明者	合計
教養学科 平成28年度以前入学生	人間科学								0 (0)						1											1	1								2 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	文化研究	日本・アジア言語文化							0 (0)						1											1		1		1				3 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	文化研究	欧米言語文化		1 (1)					1 (1)				1	1				1					2	1	1	7	3	2						13 (1)
教養学科 平成28年度以前入学生	文化研究	社会文化							0 (0)								1									1		1				1		3 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	数理科学								0 (0)																	0				1				1 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	自然研究								0 (0)						2											2		1		1	1			5 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	情報科学								0 (0)					1	1		1			1		1			1	6		1					1	8 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	健康生活科学								0 (0)								1									1								1 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	スポーツ				1 (1)				1 (1)								1									1								2 (1)
教養学科 平成28年度以前入学生	芸術	音楽							0 (0)																1	1								1 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	芸術	美術							0 (0)																1	1								1 (0)
教養学科 平成28年度以前入学生	小計		0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0	0	0	1	2	5	0	4	1	0	0	1	0	3	1	4	22	4	6	0	3	1	1	1	40 (2)
教育協働学科 平成29年度入学生	教育心理科学								0 (0)	1				2		1	2	1	3					4	3	16	11	8					1	37 (0)
教育協働学科 平成29年度入学生	健康安全科学		3 (0)				1 (1)	1 (0)	5 (1)				2	3	1		5	3					1	2		17	4	2		1				29 (1)
教育協働学科 平成29年度入学生	理数情報	数理情報		2 (0)	4 (2)			2 (1)	8 (3)				2	1	8		6								3	20	4	5						37 (3)
教育協働学科 平成29年度入学生	理数情報	自然科学		7 (2)	1 (1)			2 (1)	10 (4)			1		6	3	1	1	1			1				3	17	6	12	1	2				48 (4)
教育協働学科 平成29年度入学生	グローバル教育	英語コミュニケーション		2 (0)	1 (1)			3 (2)	6 (3)				1	1			1	2			2		3		4	14		3						23 (3)
教育協働学科 平成29年度入学生	グローバル教育	多文化リテラシー			3 (1)			1 (1)	4 (2)				2	4	5		10	3					1		1	26	2	5		2				39 (2)
教育協働学科 平成29年度入学生	芸術表現	音楽表現		5 (2)	1 (0)			1 (1)	7 (3)	3							2	2	2				2	1	5	14	1	11		1	1			38 (3)
教育協働学科 平成29年度入学生	芸術表現	美術表現		1 (1)				1 (1)						4			2						1	2		9		4						14 (1)
教育協働学科 平成29年度入学生	スポーツ科学			5 (5)	2 (2)	1 (1)		7 (7)	15 (15)	2				2	2		2	2	1				1	2	8	20	5	5						47 (15)
教育協働学科 平成29年度入学生	小計		3 (0)	22 (10)	12 (7)	1 (1)	1 (1)	17 (13)	56 (32)	6	0	1	7	23	19	2	31	14	6	0	3	0	9	11	27	153	33	55	1	6	1	0	1	312 (32)
合計			165 (45)	88 (33)	41 (21)	23 (8)	10 (2)	56 (38)	383 (147)	8	1	2	10	33	35	5	56	20	10	1	5	1	24	24	41	268	64	114	3	12	2	4	2	860 (147)

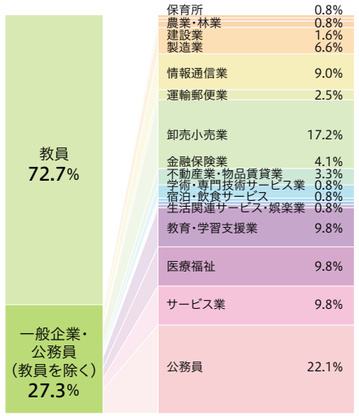
教育学部【第二部】

（令和3年5月1日現在）

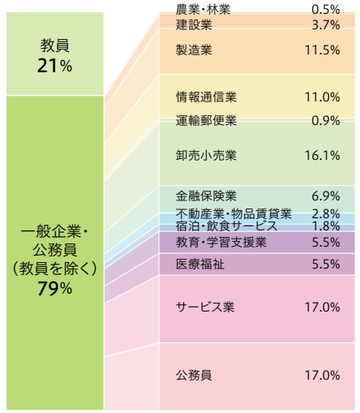
課程・専攻コース ＼ 進路先		就職者 教員 公立学校 小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼保連携こども園	公立学校以外の教員	小計	自営業	保育所等	農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉（保育所等を除く）	サービス業	小計	公務員（教員・保育士を除く）	進学	未就職 教員志望	教員以外志望	大学・短大等	その他	不明者	合計
小学校教員養成5年課程	一年次入学	23 (13)	2 (1)	1 (0)			1 (0)	27 (14)								1							2	2	2	7	2	3	2	2		1		44 (14)
小学校教員養成5年課程	三年次編入学	18 (10)	3 (0)		1 (1)			22 (11)					1	1		2							2			6		2		2				32 (11)
合計		41 (23)	5 (1)	1 (0)	1 (1)		1 (0)	49 (25)	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	4	2	2	13	2	5	2	4	0	1	0	76 (25)

注）1（　）内は、期限付講師等で内数　　注）2 教員志望及び教員以外志望は就職希望であり、未内定者　　注）3 その他は、アルバイト・就職不志望等

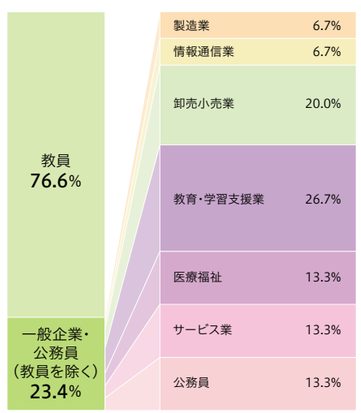
教員養成課程



教育協働学科



小学校教員養成課程（第二部）



就職DATA「4つのPOINT」

POINT 01

教員志望者における教員就職率98.9%（講師含む。令和2年度学部卒業者）

教員に就職するには、都道府県等もしくは私立学校が実施する教員採用試験を受ける方法が一般的です。
教員採用試験の内容は各自治体の教育委員会によって異なりますが、一般的には次のような試験が実施されています。

第1次選考	面　接	個人面接、集団面接、集団討論など
	筆答試験（択一式）	教職教養（教育心理、教育法規など） 思考力・判断力 ※大阪府4地区のみ 一般教養 ※大阪府以外
第2次選考	面　接	個人面接、模擬授業、場面指導など
	筆答試験（記述式）	専門科目
	実　技	水泳、器械運動、音楽など

POINT 02

第二部（夜間）1年次入学における、新卒者の教員志望者の教員就職率は5年連続90%以上（講師含む）

昼間は学校現場でボランティアやアルバイト活動をし、夜に授業を受ける
本学第二部（現在の初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース）も、高い教員就職率を誇っています。

POINT 03

大学院進学者もそのほとんどが国公立の大学院に

もっと知識・技能を身に付けてから、社会に貢献したいと考えて大学院に進学する学生も多くいます。
学部卒の大学院進学者103人のうち99人が国公立の大学院（専攻科含む）に進学しています。
令和2年度の主な進学実績は以下のとおりです。

大学院名	人　数
大阪教育大学大学院、連合教職大学院、特別専攻科	60人
大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院	各7人
京都大学大学院、兵庫教育大学大学院	各3人
京都教育大学大学院、鳴門教育大学大学院、京都工芸繊維大学大学院	各2人

POINT 04

就職支援行事は年間172回開催（令和2年度実績）

教員・企業・公務員就職希望者それぞれを対象とした多種多様な就職支援行事を、年間を通じ計画的に実施しています。
各就職相談室のアドバイザーによる面接指導や個別相談は、進路に応じたきめ細やかなサポートを行い、
学生の皆さんの夢の実現を力強くバックアップします。

区　分	主な行事	回　数
教員就職支援	教採対策講座、教育委員会・私学学校の採用担当者を招いた説明会 など	104回
企業・公務員就職支援	面接講座、職種・業界研究セミナー、企業等の採用担当者を招いた合同企業セミナー など	64回
共通・留学生	1、2回生（夜間2、3回生）のためのガイダンス、留学生対象ガイダンス、保護者対象就職説明会	4回

学生 DATA

学生数（令和3年5月1日現在）

教育学部　第一部

注　（　）内は外国人留学生で内数

課程・学科			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計
教員養成課程	平成28年度以前入学生	幼稚園教員養成課程	——	——	——	——	——	——	——	——
		学校教育教員養成課程	——	——	——	22	——	19	3	22
		特別支援教育教員養成課程	——	——	——	2	——	2	0	2
		養護教諭養成課程	——	——	——	1	——	0	1	1
	平成29年度以降入学生	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 幼児教育専攻	17	18（1）	18	16	——	1	68（1）	69（1）
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 （昼間コース）	47	44	44	48	——	49	134	183
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 （夜間コース）	43	42	39	40	41	102	103	205
		初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 （夜間コース 3年次編入学）	——	——	25	23	25	38	35	73
		学校教育教員養成課程	446（2）	430（3）	425（2）	480（3）	——	898（4）	883（6）	1,781（10）
		養護教諭養成課程	31	29	31	31	——	0	122	122
		小　計	584（2）	563（4）	582（2）	663（3）	66	1,109（4）	1,349（7）	2,458（11）
教養学科	平成28年度以前入学生	人間科学専攻	——	——	——	6（1）	——	5（1）	1	6（1）
		文化研究専攻	——	——	——	4	——	3	1	4
		数理科学専攻	——	——	——	7（1）	——	7（1）	0	7（1）
		自然研究専攻	——	——	——	5（1）	——	3（1）	2	5（1）
		情報科学専攻	——	——	——	7	——	7	0	7
		健康生活科学専攻	——	——	——	1	——	1	0	1
		スポーツ専攻	——	——	——	1	——	0	1	1
		芸術専攻	——	——	——	4	——	2	2	4
		小　計	0	0	0	35（3）	0	28（3）	7	35（3）
教育協働学科	平成29年度以降入学生	教育心理科学	44（10）	37（6）	41（7）	40（9）	——	56（21）	106（11）	162（32）
		健康安全科学	36（2）	35（4）	36（3）	38（3）	——	18（5）	127（7）	145（12）
		理数情報	100（13）	97（8）	96（7）	106（6）	——	271（23）	128（11）	399（34）
		グローバル教育	77（17）	75（18）	73（14）	89（12）	——	104（36）	210（25）	314（61）
		芸術表現	55	55（1）	55	60（1）	——	44	181（2）	225（2）
		スポーツ科学	54	55	49（1）	50（3）	——	133（3）	75（1）	208（4）
		小　計	366（42）	354（37）	350（32）	383（34）	0	626（88）	827（57）	1,453（145）
合　計			950（44）	917（41）	932（34）	1,081（40）	66	1,763（95）	2,183（64）	3,946（159）

教育学部　第二部（小学校教員養成5年課程）

区　分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計
1年次入学	——	——	——	——	2	1	1	2
3年次編入学	——	——	——	——	7	4	3	7
合　計	0	0	0	0	9	5	4	9

大学院教育学研究科

注　（　）内は外国人留学生で内数

専　攻		1年次	2年次	男	女	計
平成30年度以前入学生	学校教育専攻	——				
	国語教育専攻	——				
	社会科教育専攻	——	1	0	1	1
	数学教育専攻	——				
	理科教育専攻	——	1	1	0	1
	英語教育専攻	——				
	家政教育専攻	——				
	音楽教育専攻	——				
	美術教育専攻	——	1	0	1	1
	保健体育専攻	——				
	特別支援教育専攻	——	1	0	1	1
	技術教育専攻	——				
	養護教育専攻	——				
	実践学校教育専攻（夜間）	——				
令和2年度以前入学生	健康科学専攻（夜間）	——	35	14	21	35
	総合基礎科学専攻	——	9	8	1	9
	国際文化専攻	——	19（11）	3（1）	16（10）	19（11）
	芸術文化専攻	——	14（5）	6（3）	8（2）	14（5）
令和3年度以降入学生	高度教育支援開発専攻	53（19）		24（7）	29（12）	53（19）
合　計		53（19）	81（16）	56（11）	78（24）	134（35）

連合教職実践研究科

専　攻	1年次	2年次	男	女	計
高度教職開発専攻	116	117	149	84	233

特別支援教育特別専攻科

専　攻	男	女	計
特別支援教育専攻	9	19	28

令和4年度 入学者選抜方法 及び 令和3年度 学部入試結果（志願者数等）

令和４年度大阪教育大学入学者選抜における大学入学共通テストの利用及び個別学力検査等を左表のとおり実施する予定です。詳細については、令和３年７月下旬発行予定の入学者選抜要項にてご確認ください。なお、新型コロナウイルス等の影響により、本内容が変更となる場合があります。その場合は、本学ウェブページにてお知らせします。

令和4年度 学部学生募集人員・選抜方法								令和3年度 学部入試結果											
課程・学科	専　攻	コース	共通テストの利用教科・科目パターン	日　程	個別学力検査等	募集人員	募集人員（●）	志願者数	受験者数（■）	合格者数	受験倍率（■÷●）	配点 共通テスト	配点 個別	配点合計	合格者の共通テスト平均	合格者の総合平均	合格者の総合最高	合格者の総合最低
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		A〈文理〉	課す推薦（※）	音楽実技、面接、活動報告書等	3	3	14	14	5	4.7	900	560	1460	※	※	※	※
				前　期	面接、活動報告書等	12	12	33	28	12	2.3	900	360	1260	633.1	893.4	949	855
	小学校教育専攻	昼間コース	A〈文理〉	課す推薦	面接、活動報告書等	10	10	43	43	10	4.3	900	390	1290	※	※	※	※
				課す推薦（特別枠）（※）	面接、活動報告書等	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前　期	小論文、活動報告書等	20	20	47	38	22	1.9	900	360	1260	623.9	874.1	950	769
				後　期	面接、活動報告書等	10	15	99	43	18	2.9	900	510	1410	618.8	1020.7	1163	945
		夜間５年コース	A〈文理〉	課す推薦	面接、活動報告書等	5	5	1	1	0	0.2	900	390	1290	※	※	※	※
				前　期	小論文、活動報告書等	20	20	65	58	27	2.9	900	360	1260	526.8	774.7	835	740
				後　期	面接、活動報告書等	15	15	106	37	20	2.5	900	510	1410	514.4	886.9	1081	828
	初等教育教員養成課程　小　計					100	100	408	262	114	2.6							
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		B〈文系〉	課す推薦	面　接	7	7	10	10	7	1.4	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	小論文	30	30	73	65	33	2.2	900	300	1200	575.4	795.0	871	761
				後　期	小論文、面接	8	8	72	27	9	3.4	900	350	1250	581.1	832.3	881	786
	小中教育専攻	学校教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面　接	8	8	21	21	9	2.6	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	小論文	17	17	32	22	18	1.3	900	300	1200	615.6	794.6	913	619
		国語教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面　接	7	7	13	13	7	1.9	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	国語、面接	23	23	48	40	25	1.7	900	600	1500	625.3	984.6	1086	908
				後　期	小論文、面接	10	10	81	28	12	2.8	900	600	1500	652.8	1097.6	1213	1013
		英語教育コース	A〈文理〉（注8）	課す推薦	面　接	4	4	15	15	4	3.8	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	英　語	11	11	51	46	12	4.2	1000	400	1400	699.0	1016.6	1059	990
		社会科教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面　接	7	7	27	27	8	3.9	1100	350	1450	※	※	※	※
				前　期	小論文	28	28	54	46	30	1.6	900	300	1200	648.9	833.3	894	783
		数学教育コース	C〈理系〉	前　期	数学、理科	15	15	24	24	15	1.6	900	600	1500	631.5	999.7	1186	887
				後　期	数　学	10	10	44	25	11	2.5	900	600	1500	562.3	901.4	1057	732
		理科教育コース	C〈理系〉	課す推薦	面　接	5	5	15	15	5	3.0	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	理　科	25	25	78	73	28	2.9	1100	600	1700	754.7	1218.6	1354	1143
				後　期	面　接	5	5	46	23	6	4.6	1300	600	1900	※	※	※	※
		家政教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面　接	2	2	2	2	2	1.0	900	600	1500	※	※	※	※
				前　期	小論文	8	8	23	22	9	2.8	900	300	1200	587.4	780.2	891	749
		保健体育コース	D〈文理〉	前　期	体育実技	20	20	64	60	23	3.0	700	560	1260	469.8	929.0	1016	884
				後　期	体育実技	10	10	81	35	10	3.5	700	400	1100	465.4	793.4	875	745
		音楽教育コース	D〈文理〉	課す推薦	音楽実技	3	3	10	10	3	3.3	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	音楽実技	7	7	19	15	7	2.1	700	560	1260	433.9	892.4	1006	829
		美術・書道教育コース	D〈文理〉	前　期	美術実技、面接又は書道実技、面接	10	10	22	22	12	2.2	700	550	1250	426.6	862.6	949	757
				後　期	美術実技又は書道実技	5	5	22	10	6	2.0	700	550	1250	※	※	※	※
	中等教育専攻	国語教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面　接	3	3	13	13	3	4.3	900	300	1200	※	※	※	※
				前　期	国語、面接	7	7	24	19	7	2.7	900	600	1500	640.4	1064.6	1102	1014
		英語教育コース	A〈文理〉（注8）	課す推薦	面　接	4	4	12	12	4	3.0	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	英　語	11	11	22	18	11	1.6	1000	400	1400	739.0	1049.2	1232	948
		社会科教育コース	B〈文系〉	課す推薦	面　接	4	4	30	30	6	7.5	1100	350	1450	※	※	※	※
				前　期	小論文	6	6	11	9	6	1.5	900	300	1200	※	※	※	※
		数学教育コース	C〈理系〉	前　期	数学、理科	10	10	25	25	11	2.5	900	600	1500	681.6	1112.5	1157	1073
				後　期	数　学	15	15	82	43	21	2.9	900	600	1500	656.0	1092.4	1286	957
		理科教育コース	C〈理系〉	課す推薦	面　接	3	3	17	17	3	5.7	1100	400	1500	※	※	※	※
				前　期	理　科	18	18	41	37	20	2.1	1100	600	1700	808.9	1301.5	1429	1218
				後　期	面　接	4	4	22	11	4	2.8	1300	600	1900	※	※	※	※
		技術教育コース	—	課さない推薦（※）	小論文、面接	4	4	7	7	5	1.8	—	500	500	※	※	※	※
			C〈理系〉	前　期	小論文、面接、調査書及び志望理由書	6	6	6	6	5	1.0	900	510	1410	※	※	※	※
		家政教育コース	A〈文理〉	課す推薦	面　接	3	3	2	2	1	0.7	900	600	1500	※	※	※	※
				前　期	小論文	5	5	12	12	8	2.4	900	300	1200	587.0	777.3	836	742
				後　期	面　接	2	2	23	12	2	6.0	900	600	1500	※	※	※	※
		保健体育コース	D〈文理〉	課す推薦	体育実技、面接、証明書	5	5	7	7	5	1.4	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	体育実技	5	5	10	9	6	1.8	700	560	1260	※	※	※	※
		音楽教育コース	D〈文理〉	課す推薦	音楽実技	3	3	8	8	3	2.7	700	560	1260	※	※	※	※
				前　期	音楽実技	7	7	10	8	7	1.1	700	560	1260	422.0	885.1	1024	812
		美術・書道教育コース	—	課さない推薦【美術分野のみ】	小論文、美術実技、面接、志望理由書	3	3	15	15	4	5.0	—	500	500	※	※	※	※
			D〈文理〉	前　期	美術実技、面接又は書道実技、面接	7	7	13	13	8	1.9	700	550	1250	428.0	849.0	931	752
	学校教育教員養成課程　小　計					420	420	1,359	1,029	461	2.5							
養護教諭養成課程			A〈文理〉	前　期	小論文	25	20	41	40	20	2.0	900	300	1200	620.9	803.1	854	767
				後　期	面　接	5	10	61	23	12	2.3	900	300	1200	579.4	765.1	839	722
教員養成課程　合　計						550	550	1,869	1,354	607	2.5							
教育協働学科	教育心理科学専攻		A〈文理〉	前　期	小論文	21	22	52	49	24	2.2	900	450	1350	652.1	1008.0	1069	972
				後　期	小論文	9	9	80	39	12	4.3	900	650	1550	673.9	1170.0	1234	1128
	健康安全科学専攻		A〈文理〉	前　期	小論文	25	25	53	51	29	2.0	900	400	1300	574.3	883.0	981	852
				後　期	面　接	6	7	76	26	9	3.7	900	400	1300	630.3	922.3	980	854
	理数情報専攻	数理情報コース	C〈理系〉（注7）	前　期	数学、理科	19	20	38	37	20	1.9	900	600	1500	620.1	979.3	1163	849
				後　期	数　学	16	16	77	33	18	2.1	900	600	1500	645.7	1007.4	1203	854
		自然科学コース	C〈理系〉（注7）	前　期	数学、理科	34	34	54	53	41	1.6	900	600	1500	574.0	945.5	1129	860
				後　期	面　接	20	20	60	31	23	1.6	900	500	1400	621.8	962.5	1154	868
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	B〈文系〉（注8）	課す推薦	面　接	10	8	4	4	4	0.5	1100	600	1700	※	※	※	※
				前　期	英　語	13	12	32	27	26	2.3	1100	600	1700	750.6	1192.3	1382	956
		多文化リテラシーコース	E〈文理〉	課す推薦	面　接	15	15	15	15	14	1.0	500	300	800	※	※	※	※
				前　期	小論文	15	15	45	35	17	2.3	500	300	800	378.1	604.9	667	576
	芸術表現専攻	音楽表現コース	—	課さない推薦	小論文、音楽実技、証明書、志望理由書	9	9	38	38	11	4.2	—	500	500	※	※	※	※
			E〈文理〉	前　期	音楽実技、志望理由書	25	25	69	69	25	2.8	500	500	1000	315.4	791.0	901	※
				後　期	音楽実技、志望理由書	6	6	71	39	9	6.5	500	480	980	354.2	767.9	826	※
		美術表現コース	E〈文理〉	前　期	美術実技	5	5	16	16	5	3.2	500	460	960	※	※	※	※
				後　期	美術実技	5	5	35	25	6	5.0	500	500	1000	※	※	※	※
	スポーツ科学専攻		—	課さない推薦	小論文、体育実技、面接、証明書	20	20	24	24	21	1.2	—	500	500	※	※	※	※
			E〈文理〉	前　期	体育実技	17	17	87	80	24	4.7	500	500	1000	352.3	768.4	833	※
				後　期	体育実技	10	10	127	56	13	5.6	500	450	950	358.6	741.4	803	※
教育協働学科　合　計						300	300	1,053	747	351	2.5							
私費外国人留学生	初等教育教員養成課程		—	—		—	若干人	—	—	—	—							
	学校教育教員養成課程		—	—		—	若干人	7	5	3	—							
	養護教諭養成課程		—	—		—	若干人	1	1	—	—							
	教育協働学科	教育心理科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（小論文・面接）		10	9	23	20	13	2.2							
		健康安全科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（小論文・面接）		4	3	3	3	3	1.0							
		理数情報専攻	—	日本留学試験・個別試験（数学・面接／小論文・面接）		11	10	19	16	14	1.6							
		グローバル教育専攻	—	日本留学試験・個別試験（英語・面接／小論文・面接）		22	25	26	22	20	0.9							
		芸術表現専攻	—	日本留学試験・個別試験（音楽実技・面接／美術実技・面接）		若干人	若干人	—	—	—	—							
		スポーツ科学専攻	—	日本留学試験・個別試験（体育実技・面接）		3	3	3	3	2	1.0							
教育学部　総　計						900	900	3,004	2,171	1,013								

※ 課す推薦：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を表しています。
課す推薦（特別枠）：大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）を表しています。
課さない推薦：大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜を表しています。

※ 学校推薦型選抜及び合格者数が６人以下の募集区分については、合格者の成績情報は公開していません。
※ 一部の専攻の合格者の総合最低点は公開していません。

パターン	教科	大学入学共通テストの利用教科・科目名 科目名等		必須
A（文理）5教科7～8科目 又は 6教科7～8科目	国	国		必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓		から1
	地歴	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ		から1又は2
	公民	現社、倫、政経、倫・政経		
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ		から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報		から1
	理	地歴公民から2科目選択した場合	Ａ：物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ：物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
		地歴公民から1科目選択した場合	Ｃ：物基、化基、生基、地基 から2 並びに 物、化、生、地 から1（注6） Ｄ：物、化、生、地 から2	Ｃ又はＤ
B（文系）5教科7～8科目 又は 6教科7～8科目	国	国		必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓		から1
	地歴	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ		から2
	公民	現社、倫、政経、倫・政経		
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ		から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報		から1
	理	Ａ：物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ：物、化、生、地 から1		Ａ又はＢ
C（理系）5教科7～8科目	国	国		必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓		から1
	地歴	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ		から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経		
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ		から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報		から1
	理	Ｃ：物基、化基、生基、地基 から2 並びに 物、化、生、地 から1（注6） Ｄ：物、化、生、地 から2		Ｃ又はＤ
D（文理）5教科5～6科目	国	国		必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓		から1
	地歴	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ		から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経		
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ		から1
		数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報		
	理	Ａ：物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ：物、化、生、地 から1		Ａ又はＢ
E（文理）3教科3～4科目	国	国		必須
	外	英（リ）、独、仏、中、韓		から1
	地歴	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ		から1
	公民	現社、倫、政経、倫・政経		
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ		
		数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報		
	理	Ａ：物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ：物、化、生、地 から1		Ａ又はＢ

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。
「国語」→国、「外国語」→外、「地理歴史」→地歴、「数学」→数、「理科」→理
「英語（リスニング含む）」→英（リ）、「ドイツ語」→独、「フランス語」→仏
「中国語」→中、「韓国語」→韓、「世界史Ａ」→世Ａ、「世界史Ｂ」→世Ｂ
「日本史Ａ」→日Ａ、「日本史Ｂ」→日Ｂ、「現代社会」→現社、「倫理」→倫
「政治・経済」→政経、「倫理、政治・経済」→倫・政経、「数学Ⅰ」→数Ⅰ
「数学Ⅰ・数学Ａ」→数Ⅰ・数Ａ、「数学Ⅱ」→数Ⅱ、「数学Ⅱ・数学Ｂ」→数Ⅱ・数Ｂ
「簿記・会計」→簿、「情報関係基礎」→情報、「物理基礎」→物基
「化学基礎」→化基、「生物基礎」→生基、「地学基礎」→地基、「物理」→物
「化学」→化、「生物」→生、「地学」→地

（注２）指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

（注３）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）また、英語以外を受験した場合は，筆記（200点満点）の成績をそのまま使用します。

（注４）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等において当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

（注５）地理歴史及び公民については、**同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。**「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史Ａ」と「世界史Ｂ」、「日本史Ａ」と「日本史Ｂ」、「地理Ａ」と「地理Ｂ」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいいます。

（注６）理科については、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

（注７）理数情報専攻数理情報コース及び理数情報専攻自然科学コースの後期の理科は、Ｄ：物，化，生，地 から2 のみになります。

（注８）英語能力測定試験の成績により得点加算をします。

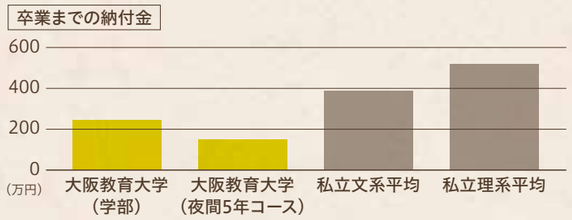
◆ 入学料・授業料について

令和2年度入学	入学料	授業料（年額）	初年度納付金
学部	282,000	535,800	817,800
学部（夜間5年コース）	141,000	267,900	408,900
学部（第３年次編入）	141,000	267,900	408,900
大学院	282,000	535,800	817,800
大学院（長期履修学生制度の適用者）	282,000	357,200	639,200
特別支援教育特別専攻科	58,400	273,900	332,300

※上記金額は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度入学者については、変更される場合があります。
　また、このほか、大阪教育大学校友会費、テキストや英語能力測定試験、実習及び課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

■ 他大学との比較（卒業までにかかる金額）

学部４年間の納付金は、
私立文系平均の62.9%
私立理系平均の46.8%
夜間5年コースの納付金は、
私立文系平均の38.4%
となっています。



※文部科学省「平成25年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」
　私立大昼間部の平均額より。

■ 授業料・入学料免除制度

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生などに授業料や入学料などの免除制度があります。
（令和２年度以降入学の学部・学部（夜間）入学者については、高等教育の修学支援新制度による授業料免除・入学料免除となります。）
※詳細は本学募集要項や合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

（参考）令和２年度授業料免除実績（経済的理由による）　（※）高等教育の修学支援新制度による免除との併用者含む

区　分	免除率	前　期		後　期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
学部	高等教育の修学支援新制度による免除	–	264	–	294	122,296,500
	全額免除（※）	364	228	401	238	77,735,600
	半額免除（※）		103		114	27,236,500
学部（夜間）	高等教育の修学支援新制度による免除	–	34	–	40	8,282,300
	全額免除（※）	48	39	49	40	7,367,300
	半額免除（※）		6		7	803,700
大学院・専攻科	全額免除	63	45	70	46	24,205,150
	半額免除		11		11	2,768,300
	一部免除		–		5	500,000
合　計						271,195,350

◆ 奨学金について

学業が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。
一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金があります。

（参考）令和２年度入学者　日本学生支援機構の奨学金月額例

■ 給付奨学金

奨学金の種類	給付月額	
	自宅	自宅外
給付奨学金	29,200円（第Ⅰ区分） 19,500円（第Ⅱ区分） 9,800円（第Ⅲ区分）	66,700円（第Ⅰ区分） 44,500円（第Ⅱ区分） 22,300円（第Ⅲ区分）

■ 貸与奨学金

奨学金の種類	貸与月額	
	自宅	自宅外
第一種奨学金（無利子）	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金（有利子）	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円	

（参考）令和２年度奨学金採用実績

区分	日本学生支援機構奨学金				
	給付	第一種	第二種	合計	左記の内併用者（内数）
学部	306	176	157	639	99
学部（夜間）	43	9	16	68	5
大学院・専攻科	–	22	5	27	1

学位プログラムと３つのポリシー

学位プログラムは、平成29年度学部教育より導入し、各プログラムに定める到達目標（卒業時に身に付ける力）達成型の教育課程として、運用を開始しました。
「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」及び
「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を一体的に策定のうえ、卒業時に到達目標を獲得できることを念頭に置き、カリキュラムを実施します。

教員養成課程※1	教育協働学科
到達目標	
①豊かな教養と広い視野 ②学校教育の基礎的理解 ③指導内容の理解と実践力※2 ④子どもへの対応の理解 ⑤教職力量を自らひらく力	①豊かな教養と広い視野 ②教育理解 ③協働力 ④専門的知識・技能 ⑤教育協働実践力

到達目標達成型学位プログラム
３つのポリシーをコアとするプログラムシラバス

卒業認定・学位授与の方針
（ディプロマ・ポリシー）

一体的な策定と各段階における目標を明確化

入学者受入れの方針
（アドミッション・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針
（カリキュラム・ポリシー）

学校種や専攻の特性に応じたプログラム

- 幼児教育プログラム
- 小学校教育プログラム
- 小中教育プログラム
- 中等教育プログラム
- 特別支援教育プログラム
- 養護教育プログラム
- 教育心理科学プログラム
- 健康安全科学プログラム
- 理数情報（自然科学・数理情報）プログラム
- グローバル教育（英語・多文化）プログラム
- 芸術表現（音楽・美術）プログラム
- スポーツ科学プログラム

専攻と異なる分野を学ぶプログラム（副専攻プログラム）

- 日本語教育プログラム
- 外国にルーツのある子どもの教育プログラム
- STEAM教育を中心とした教科横断型教育プログラム
- 地域との連携・協働によるダイバーシティと人権教育プログラム
- 心理学のエビデンスを活用できる教員の養成プログラム

※各プログラムにより履修要件が異なります。なお、修了要件を満たすことにより、卒業時に学校教育法施行規則に基づく学修証明書等が交付されます。

各専攻・コースに対応した学位プログラムは本学WEBページにてご確認ください。

※1　初等教育教員養成課程、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程をいう。
※2　養護教諭向けには、養護実践力

アドミッション・ポリシー　Admission Policy　【 入学者受入れの方針 】

【 大学全体 】

❶ 基本理念・目標

大阪教育大学は, 我が国の先導的な教員養成大学として, 教育の充実と文化の発展に貢献し, とりわけ教育界における有為な人材の育成をとおして, 地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため, 大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に, 学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。
教育学部の各課程・学科, 大学院教育学研究科, 大学院連合教職実践研究科, 特別支援教育特別専攻科では, この理念・目標に沿った人材の養成や育成をめざしています。
なお, 本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

❷ 求める学生像

(教育学部)
- 子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
- 教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
- 幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
- 現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

(大学院教育学研究科)
- 学校や地域が抱える課題に強い関心を有する人
- 特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し, これを活用して教育・学習支援に参画することを志す人
- 教育現場の課題について実践的研究を行うことで, 学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担うことを志す人

(大学院連合教職実践研究科)
・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

(特別支援教育特別専攻科)
- 特別支援教育教員をめざすために必要な基礎学力があり, 十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- 特別支援教育の教職に就くことを強く希望し, その意志を持ち続けることのできる人
- 障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命を感じることができる人
- 人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人
- これまでの生活体験をとおして, 学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人

(外国人留学生)
上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて, 次のような人を求めています。
- 一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- 日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

❸ 入学者選抜の基本方針

本学では, 各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために, 次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては, 学力の３要素(①知識・技能, ②思考力・判断力・表現力, ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)等を多面的・総合的に評価して入学者を選抜するため, 一般選抜(前期日程・後期日程), 学校推薦型選抜, 私費外国人留学生入学試験, 第３年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院教育学研究科においては, 学校内外での教育・学習支援への関心, 専門分野に関する知識・技能や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため, 大学院入学者選抜を実施します。

大学院連合教職実践研究科においては, 教職に必要とされる知識や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため, 大学院入学者選抜を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては, 特別支援教育の教職に必要とされる基礎学力や特別支援教育への意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため, 特別支援教育特別専攻科入学者選抜を実施します。

【 初等教育教員養成課程 】

❶ 基本理念・目標

初等教育教員養成課程では, グローバルな視野と豊かな教養を身に付け, 幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために, 教養科目及び基礎的科目を修得しながら, 教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに, 一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い, 幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。
本課程に置く「幼児教育専攻」では, 幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け, 小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは, 児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け, 幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは, 昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに, 豊かな人間性と社会性を備え, かつ, 幼小連携に関心を持ち, 優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお, 夜間コースの編入生に対しては, 学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして, 優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また, 現職教員についても, 個性や経歴を尊重した教育を行います。

❷ 求める学生像
- 教職に就くことを強く希望し, その意志を持ち続けることのできる人
- 教育や子どもの発達について, 強い興味・関心と問題意識を持っている人
- 明朗で協調性に富み, 多様な人とのコミュニケーションが図れる人
- 学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して, 確かな教育実践力を身に付けようとする人
- 高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け, ＩＣＴの活用に積極性のある人

❸ 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために, 次の入学者選抜を実施します。なお, 各選抜区分については, 学力の３要素及び教職に就く強い意欲を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では,「大学入学共通テスト」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書等」を課します。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「実技検査」では, 幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価します。表現力や協調性についても評価します。
「面接」では, 論理性・表現力・応用能力をみるとともに, 学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
「活動報告書等」では, 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を評価します。

一般選抜(前期日程)では,「大学入学共通テスト」・「小論文」・「面接」・「活動報告書等」を課します。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「小論文」では, 提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を中心に総合的に評価しますが, 文章表現力についても採点・評価の対象とします。
「面接」では, 論理性・表現力・応用能力をみるとともに, 学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
「活動報告書等」では, 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を評価します。

一般選抜(後期日程)では,「大学入学共通テスト」・「面接」・「活動報告書等」を課します。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「面接」では, 論理性・表現力・応用能力をみるとともに, 学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
「活動報告書等」では, 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を評価します。

❹ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業段階において求められる基礎的な学力を十分に習得したうえで, 教育に関わる学力(知識・技能, 思考力・判断力・表現力等の能力, 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を身に付けてください。

【 学校教育教員養成課程 】

❶ 基本理念・目標

学校教育教員養成課程では, 広い視野と豊かな教養を身に付け, 専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成します。そのために, 教養科目及び基礎的科目を修得したうえで, 教職に関わる科目を学ぶとともに, 学校安全や危機対応についての知識や能力を養い, さらに, 自らが所属する専攻・コースにおいて, 専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では, 特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち, 特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では, 小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち, 専門の教科などに優れ, 小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では, 専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち, 中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

❷ 求める学生像
- 高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
- 専門分野への関心があり, 十分な学力と適性を持っている人
- 教職に就くことを強く希望し, その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- 多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
- 学校生活の経験をとおして, 学校や教育への親しみや関心を抱いている人
- 特別支援教育専攻では, 特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- 小中教育専攻では, 得意分野を中心に, 小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- 中等教育専攻では, 得意分野があり, その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

❸ 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために, 次の入学者選抜を実施します。なお, 各選抜区分については, 学力の３要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では,「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, さらに思考力や判断力を確かめるために,「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか, さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力, 思考力, 発想力, 表現力などを確かめるために,「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「実技検査」を課します。
- 専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために,「面接」を課します。
- 十分な技能を有しているかどうかを確かめるために,「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために,「志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜(前期日程)では,「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, さらに思考力や判断力を確かめるために,「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか, さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力, 思考力, 発想力, 表現力などを確かめるために,「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「実技検査」を課します。
- 専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために,「面接」を課します。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために,「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜(後期日程)では,「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, さらに思考力や判断力を確かめるために,「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか, さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「個別学力検査」を課します。
- 総合的な理解力, 思考力, 発想力, 表現力などを確かめるために,「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために,「実技検査」を課します。
- 専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために,「面接」を課します。

❹ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に, 生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。

【 教育協働学科 】

❶ 基本理念・目標

多様化し, 複雑化する現代社会においては, 学校の教師だけで子どもの教育を支え, 学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は, 学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために, チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野(教育心理科学, 健康安全科学, 理数情報, グローバル教育, 芸術表現, スポーツ科学)の専門性を有しつつ, 教育的視点から学校, 家庭, 地域, 社会と連携・協働することで, グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため, 学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材, また, 学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても, 他者と協働しつつ高度な指導や支援, マネジメントができる人材, さらに, グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることが出来る人材を養成します。

❷ 求める学生像
- 自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し, 生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
- 自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し, それらを活用して学校, 家庭, 地域, 社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心, 人間への深い愛情を持って, 教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

❸ 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために, 次の入学者選抜を実施します。なお, 各選抜区分については, 学力の３要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では,「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて, 以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「小論文」では, 提示された資料に対する理解力や思考力, 発想力, 論理的構成力を総合的に評価しますが, 文章表現力についても評価の対象とします。
「実技検査」では, 専門的な実技能力や表現力などを評価します。
「面接」を通じて, 論理性や表現力, 応用能力をみるとともに, 各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では, 募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で, 実技能力や創作力を評価します。
「志望理由書」では, 芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜(前期日程)では,「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて, 以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「個別学力検査」では, 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか, さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力, 表現力を有しているかどうかを評価します。
「小論文」では, 提示された資料に対する理解力や思考力, 発想力, 論理的構成力を総合的に評価しますが, 文章表現力についても評価の対象とします。
「実技検査」では, 専門的な実技能力や表現力などを評価します。
「面接」を通じて, 論理性や表現力, 応用能力をみるとともに, 各専門分野への熱意・適性について総合的に評価します。
「志望理由書」では, 芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜(後期日程)では,「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて, 以下の選抜方法を複数組み合わせることによって, 学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「個別学力検査」では, 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか, さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力, 表現力を有しているかどうかを評価します。
「小論文」では, 提示された資料に対する理解力や思考力, 発想力, 論理的構成力を総合的に評価しますが, 文章表現力についても評価の対象とします。
「実技検査」では, 専門的な実技能力や表現力などを評価します。
「面接」を通じて, 論理性や表現力, 応用能力をみるとともに, 各専門分野への熱意・適性について総合的に評価します。
「志望理由書」では, 芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

❹ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで, 大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに, 子どもを教育することの意味を考え, 学校教員という職業への自覚を深めてください。また, 多様な人々とコミュニケーションを図り, そこから学ぶ態度も身に付けてください。

【 養護教諭養成課程 】

❶ 基本理念・目標

養護教諭養成課程では, 教育学の基礎の上に, 医学・看護学・養護学など, 幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え, 健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため, 幅広い教養教育の基礎の上に立って, 各専門分野の学修を深めるとともに, 臨床(病院)実習, 養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに, 学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

❷ 求める学生像
- 養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり, 十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 養護教諭になることを強く希望し, その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

❸ 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために, 次の入学者選抜を実施します。なお, 各選抜区分については, 学力の３要素を別表のとおり評価します。

一般選抜(前期日程)では,「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。
「大学入学共通テスト」では, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。「小論文」では, 提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが, 文章表現力についても採点・評価の対象とします。

一般選抜(後期日程)では,「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。
「大学入学共通」テストでは, 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか, 高等学校での学習の達成度について評価します。
「面接」を通じて, 論理性・表現力・応用能力, 健康問題に関する理解をみるとともに, 学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

❹ 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで, 幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け, 教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

アドミッション・ポリシー Admission Policy 【別表】

◎ 特に評価・○ 評価・△ ある程度評価

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲
					知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接			○	◎
				活動報告書等			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎			◎
				活動報告書等			◎	○
	小学校教育専攻	昼間コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書等			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		○
				活動報告書等			◎	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書等			◎	○
		夜間5年コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書等			◎	○
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		○
				活動報告書等			◎	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
				活動報告書等			◎	○
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎	○	○
				面接	○	◎	◎	◎
	小中教育専攻	学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	○
		国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接		○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査		◎		
				面接			◎	◎
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文		◎		
				面接			◎	◎
		英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	△
		数学教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
		理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
		家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		
		保健体育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
		音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	
		美術・書道教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接	△	○	○	◎
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査・美術	◎	◎	△	○
				実技検査・書道	◎	◎		
	中等教育専攻	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接		○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査		◎		
				面接			◎	◎
		英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	○	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	△

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲
					知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
学校教育教員養成課程	中等教育専攻	数学教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
		理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	○
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	◎
		技術教育コース	学校推薦型	小論文	○	◎		
				面接	○	○	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	◎	◎		
				面接	○	○	○	◎
				調査書及び志望理由書	△	△	○	◎
		家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	○	◎
		保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
				面接	○	○		○
				競技成績に関する証明書	○			
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎			
		音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎	○	
		美術・書道教育コース	学校推薦型	小論文	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接	△	○	○	◎
				志望理由書		○	○	◎
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				実技検査	◎	◎		
				面接	△	○	○	◎
	養護教諭養成課程		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	◎
教育協働学科	教育心理科学専攻		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	△	
	健康安全科学専攻		一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	○	◎	◎	
	理数情報専攻	数理情報コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
		自然科学コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	○	
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	◎	◎	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				個別学力検査	◎	◎	○	
		多文化リテラシーコース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
				面接	△	◎	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
				小論文	○	◎	○	
	芸術表現専攻	音楽表現コース	学校推薦型	小論文	○	◎		
				実技検査	◎	◎		
				演奏能力・創作力に関する証明書	◎		○	
				志望理由書		○	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	◎		
				志望理由書		○	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	◎		
				志望理由書		○	○	
		美術表現コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	○	◎	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	○	◎	○	
	スポーツ科学専攻		学校推薦型	小論文	◎	○	○	
				実技検査	◎	○	○	
				面接	○	◎	○	
				競技成績に関する証明書	○	○	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	○	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト	○			
				実技検査	◎	○	○	

ディプロマ・ポリシー　Diploma Policy　【 卒業認定・学位授与の方針 】

【 教育学部 】

教員養成大学は，多様な教育課題に対応して教育現場を担うことができる人材を養成すること，学校教員と連携し，協働して学校教育を支えることができる人材を育成することが社会から期待されています。

このような状況の下，本学教育学部では，実践的な教職能力を養う優れた教員養成教育を推進し，豊かな教職能力をもって教育現場を担うことができる学校教員を養成するとともに，教育への深い理解と高い専門的知識・技能をもって，様々な職業分野において他者と協働して，多様な教育的課題の解決を図ることができる人材を育成することを目標としています。

この目標に基づき，所定の単位を修得することによって，豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもつ教諭・養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者，又は教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に学士（教育学）の学位を授与します。

【 初等教育教員養成課程 】

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもつ教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）学校教育の基礎的理解
- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- 学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（3）指導内容の理解と実践力
- 保育の各領域や小学校の各教科を指導するために必要な内容の理解を深め，それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を身に付けている。
- 保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
- 保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる。

（4）子どもへの対応の理解
- 子ども理解に基づいて，幼児・児童の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法について修得している。
- 特別な教育のニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
- 道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（5）教職力量を自らひらく力
- 実践的な教育活動に参画し，児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
- チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

【 養護教諭養成課程 】

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもつ養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）学校教育の基礎的理解
- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができている。
- 学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解をしている。

（3）養護実践力
- 養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解している。
- 健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解している。
- 子どもの心身の健康に関して，健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。

（4）子どもへの対応の理解
- 子ども理解に基づいて，幼児・児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法について修得している。
- 特別な教育のニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
- 道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法について理解している。

（5）教職力量を自らひらく力
- 実践的な教育活動に参画し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
- チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

【 教育協働学科 】

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について，次のとおり設定しています。

（1）豊かな教養と広い視野
- 人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）教育理解
- 社会や教育現場のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
- 教育の理念や歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論，及び学校安全に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

（3）協働力
- 他者と協働して問題を分析し，その課題を整理することができる。
- 他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
- 課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

（4）専門的知識・技能
- 所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
- 専門的知識・技能を用いて，専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる。
- 専門的知識・技能を主体的に活用し，行動することができる。

（5）教育協働実践力
教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

カリキュラム・ポリシー　Curriculum Policy　● 教育課程編成・実施の方針

【 教育学部 】

教育学部のカリキュラムは，卒業認定・学位授与の方針を踏まえ，教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，次のように体系的に編成し，実施するものとします。

教養教育については，大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため，「教養教育ポリシー」を策定し，キャリア教育も含めた教養教育の質的充実を図ります。

教員養成教育では，教育職員免許法を踏まえながら，学校教育の基礎的知識を修得し，指導内容と子どもへの対応の理解を深め，実践的な力量を育成するため，教育課程を編成します。

教育・学習支援人材のための教育では，教育の基礎的知識と専門的知識・技能を修得し，他者と連携し，協働して諸課題の解決を図ることができる力量を育成することを目的として教育課程を編成します。

教育課程の編成にあたっては，卒業認定・学位授与の方針に定める「卒業時に必要とされる資質・能力」と授業科目との関連性について，教員と学生間で共有することを目的として，シラバスに明示するとともに，カリキュラムマップやナンバリングを活用して，その体系性を可視化します。

また，学生の実践的な力量を育成する取り組みとして，インターンシップ活動やサービスラーニングを導入するとともに，その活動を支援する体制の充実を図ります。

学生が学修を進める過程においては，履修登録科目の登録上限数（CAP制）を設定し，単位の実質化の取り組みを充実させます。

特に，学生の主体的な学修の促進を目的として，アクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業を拡大し，ラーニング・コモンズなどの環境整備を推進するとともに，電子ポートフォリオを活用して，学修のふりかえりと指導教員からの指導・助言を踏まえた，学生自身による主体的な学びを支援します。

各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。

指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

成績評価は，全学共通の評価基準を明示の上，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，それらがどのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。

評価基準の明確化や厳格な成績評価の実現に寄与することを目的として，GPA制度を導入し，その算定方法や活用方法を明示することによって，学習への意欲の増進や指導教員による履修指導の促進を図ります。

学生の学修成果については，履修カルテにおいて，「卒業時に必要とされる資質・能力」への到達度を把握するとともに，学生，教員及び就職先などからのアンケートを通じて，教育課程の編成及び実施についての評価・改善に取り組みます。

【 初等教育教員養成課程 】

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもつ教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（2）学校教育の基礎的理解
教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（3）指導内容の理解と実践力
保育における各領域や小学校の各教科を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め，それらについての情報機器や教材の活用を含めた指導方法の基本を修得し，保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や，保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる能力を育成するため，保育内容指導法科目，小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目，専門教育としての幼稚園教育専門科目，教職や教育実践，教科教育からなる系列専門科目などの科目を体系的に編成します。

（4）子どもへの対応の理解
子ども理解に基づく幼児・児童の指導，キャリア教育及び教育相談に関する理論と実践的な方法を修得し，特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう，「教育相談の心理学」や「幼児理解と教育相談」，「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（5）教職力量を自らひらく力
実践的な教育活動に参画し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，教育課程を編成します。

（6）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- 成績評価は，全学共通の評価基準を明示の上，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

【養護教諭養成課程】

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもつ養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（2）学校教育の基礎的理解
教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達を含む。）及び教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。），教育の方法や技術（情報機器及び教材の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（3）養護実践力
養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全，子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解するとともに，健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解することができるよう，専門教育としての養護教育専門科目を体系的に編成します。

（4）子どもへの対応の理解
子ども理解に基づく幼児・児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法を修得し，特別な教育的ニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法，特別活動の指導法及び総合的な学習の指導法について理解することができるよう，「生徒指導論」や「教育相談の心理学」，「特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成します。

（5）教職力量を自らひらく力
実践的な教育活動に参加し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，学校インターンシップ科目や「養護実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成します。

（6）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- 成績評価は，全学共通の評価基準を明示の上，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとします。

（1）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と7つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成します。

（2）教育理解
社会のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携の上，協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や，学校安全の学修を通じて，学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため，教育基礎科目における「教育基礎セミナー」や「教育総論」，「学校の役割と経営」や「学校安全」などにより体系的に編成します。

（3）協働力
他者と協働して問題を分析のうえ整理し，課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため，専門教育科目に教育協働科目を開設し，「教育協働概論」，「教育協働デザイン演習」などの協働共通科目，各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目を体系的に編成します。

（4）専門的知識・技能
所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え，専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる能力や，主体的に物事を考え，行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため，専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻分野科目を体系的に編成します。

（5）教育協働実践力
教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため，専門教育科目における教育協働科目「教育コラボレーション演習」，「外国語実践演習」，課題解決型学習（ＰＢＬ）科目であるプロジェクト演習科目などにより体系的に編成します。

（6）授業の実施・成績評価・授業改善
- 各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- 成績評価は，全学共通の評価基準を明示の上，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとします。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとします。

全国から集まる 大教大生たち

全国から学生が集まる大教大！ 地元を離れて学んでいる人もたくさんいます。
彼らがなぜ大教大を選んだのか、どんな魅力があったのかを話してもらいました。

ほとんど全国から志願者・入学者が！

志願者数	入学者数
8,980名	2,662名

高卒認定試験・外国人留学生を除く
（過去3年〈平成31～令和3年度〉）

出身地
広島県
学校教育教員養成課程
特別支援教育専攻
野口 東子さん

大教大を選んだ理由は?
教育実習や専門科目の講義が充実しており、教師になることを志している自分にとってはとても必要なことが詰まっている大学だと思ったからです。また、「教育大学」であるため、同じ夢を持っている人に出会えると思ったからです。
大教大をの魅力は?
大教大の魅力は、一生大切にしたいと思える仲間に出会えることです。同じ夢を持つ仲間が多く集まっており、互いに切磋琢磨しながら学びあえることや、サークル活動に全力で取り組むことを通してかけがえのない仲間に出会うことができました。

出身地
香川県
学校教育教員養成課程
中等教育専攻 音楽教育コース
石川 明日菜さん

大教大を選んだ理由は?
1つの分野に囚われず、幅広く学ぶことができると思ったからです。教育のことだけでなく、学科や専攻によっては、社会で役立つ資格を取得することができるため、志望しました。
大教大をの魅力は?
教育協働学科では、学生が学校や地域と協働して子どもを育む社会づくりに在学中から取り組む授業があります。知識を習得するだけでなく、自ら体験しながら学んでいけることに魅力を感じています。

出身地
福岡県
教育協働学科
健康安全科学専攻
横山 美歩さん

出身地
兵庫県
学校教育教員養成課程
小中教育専攻 学校教育コース
荒川 詞恩さん

大教大を選んだ理由は?
小学生の頃から教員にあこがれを抱いていました。「先生になるなら大教!!」という多くの現役の先生方からのご意見と大学生活4年間に詰め込まれた様々な実践的な体験や充実した就職支援が決め手でした。
大教大をの魅力は?
先生方はもちろん、学科の友人もいい人ばかりです。教育に対して真剣に考えていて、やるときはやる。そんな切り替え上手な人が沢山います。落ち着いて学ぶことのできる自然豊かな環境も魅力の1つです!

大教大を選んだ理由は?
私の所属する音楽教育コースでは、4年間に渡るピアノ・声楽・管楽器など専門実技や、ソルフェージュ・アナリーゼのレッスンに加え、和楽器・打楽器・作曲など、多岐に渡る講義が用意されています。深く教養を身に付けられる点に魅力を感じ、大教大を選びました。
大教大をの魅力は?
切磋琢磨できる仲間たちに囲まれ、学ぶことができるところです。教員はもちろん、様々な進路をめざして日々努力を重ねる友人を見て、自分自身を奮起させています。人を大切にし、人に真摯に向き合うことを大切にする学生が多いと思います。

出身地
北海道
教育協働学科
芸術表現専攻 音楽表現コース
杉本 愛里沙さん

大教大を選んだ理由は?
音楽についてより専門的に学びたい!と思い、音楽表現コースのある大教大を選びました。特にこのコースでは、音楽に関する専門的知識や音楽教育法の他にも、レッスンや演奏会を通して音楽専門実技を中心に深く学ぶことができます。
大教大をの魅力は?
全国から集まった個性豊かな生徒たちや、知識や経験のある先生方との交流を通して、多くの刺激を得ることができることが大教大の魅力だと思います。
仲間と音楽について語り合い、切磋琢磨しながら共に学びを深めることができるこの環境にとても感謝しています。

出身地
宮城県
学校教育教員養成課程
小中教育専攻 理科教育コース
小山 莉奈さん

大教大を選んだ理由は?
西日本最大の教員養成大学というところに惹かれ、新たな出逢いを求めて大阪に来ました。他学科と関わる機会が多いので、学科の枠を越えたつながりができました。
大教大をの魅力は?
大教大は様々な『出逢い』ができる場です。教員になりたいと考えている人や子どもと関わりたい人にとって、とても恵まれた環境だと思います。大阪に来た甲斐がありました。

出身地
静岡県
学校教育教員養成課程
中等教育専攻 技術教育コース
小池 優真さん

大教大を選んだ理由は?
工業高校出身の私は、数学や物理より工業専門科目の授業数が多くセンター試験で戦う実力はありませんでした。そんなとき私を助けてくれたのがセンター試験を課さない推薦入試でした。工業高校で教師をめざしている人はこの大学しかないですね。
大教大をの魅力は?
私は関西弁がとても好きなので、関西弁を聞きながら教師になる為の勉強ができる環境は魅力の一つだと思います。あとは、柏原キャンパスは階段が多いので、毎日の通学で脚が強くなります。ここで筋肉にハマってサプリメントにお金をかけ過ぎないように気を付けてくださいね。

出身地
群馬県
教育協働学科
スポーツ科学専攻
高橋 賢さん

大教大を選んだ理由は?
幼い頃から抱いてきた「教師になる」という夢の実現と、これまでずっと続けている剣道を充実した環境で練習に励むという2つを両立させるのに、最適な環境だと思ったため、大阪教育大学への進学を決めました。
大教大をの魅力は?
教育大学ということもあり、教員になるためのサポートを手厚く受けることができますが、教員以外の就職にも力を入れており、学生一人一人の進路に合わせた支援を受けることができます。また、全国各地から集まる仲間とともに、楽しく充実した4年間を過ごせることが魅力だと感じています。

中国地方	鳥取	島根	岡山	広島	山口
志願者数	70名	33名	145名	217名	47名
入学者数	27名	15名	43名	78名	12名

近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
志願者数	80名	253名	4,110名	1,577名	759名	247名
入学者数	26名	65名	1,236名	476名	249名	69名

九州地方	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
志願者数	90名	23名	29名	26名	33名	26名	33名	33名
入学者数	24名	9名	15名	9名	7名	3名	7名	6名

四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
志願者数	62名	121名	91名	43名
入学者数	18名	34名	24名	10名

関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
志願者数	26名	11名	9名	25名	22名	74名	18名
入学者数	4名	2名	1名	5名	4名	16名	3名

東北地方	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
志願者数	5名	2名	14名	5名	3名	9名
入学者数	3名	0名	5名	2名	1名	1名

中部地方	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
志願者数	15名	34名	73名	56名	3名	30名	40名	56名	174名	98名
入学者数	2名	7名	20名	19名	0名	2名	8名	13名	37名	33名

北海道地方	北海道
志願者数	30名
入学者数	12名

Access

天王寺キャンパス

柏原キャンパス

※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。

柏原キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

- 新大阪 —4分（大阪方面）— JR大阪 —16分（JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面）
- 三ノ宮 —24分（JR神戸線新快速 大阪方面）— JR大阪 —16分（JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面）
- 神戸三宮 —48分（阪神本線快速急行）
- JR京都 —28分（JR京都線新快速 大阪・神戸方面）— JR大阪 —16分（JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面）
- 丹波橋 —33分（京阪本線特急 淀屋橋方面）— 京橋 —7分（JR大阪環状線外回り 鶴橋・天王寺方面）
- 大阪難波 —5分（近鉄奈良線 大和西大寺方面）
- 岸和田 —28分（南海線急行 なんば方面）— 新今宮 —8分（JR大阪環状線内回り 天王寺・鶴橋方面）
- 関西空港(鉄道) —33分（JR特急はるか）— 天王寺 —8分（JR大阪環状線内回り 鶴橋・京橋方面）
- 和歌山 —75分（JR直通快速 天王寺行き）— 天王寺 —8分（JR大阪環状線内回り 鶴橋・京橋方面）

鶴橋 —17分（近鉄大阪線急行）— 河内国分 —1分（近鉄大阪線準急）— 大阪教育大前 —約15分（徒歩（約1km）大教大名物のエスカレーターがあります。）— 柏原キャンパス

- JR奈良 —16分（JR大和路線快速 大阪方面）— 王寺 —12分（JR大和路線 難波方面）— 柏原 —約7分（徒歩（550m））— 堅下 —7分（近鉄大阪線区間準急 名張方面）— 大阪教育大前 —約5分（近鉄バス）— 柏原キャンパス
- 大和西大寺 —22分（近鉄橿原線急行 橿原神宮前方面）
- 近鉄名古屋 —116分（近鉄名古屋線特急 大阪難波方面）
- 津 —14分（近鉄名古屋線 伊勢中川方面）— 伊勢中川 —73分（近鉄大阪線快速急行 大阪上本町方面）

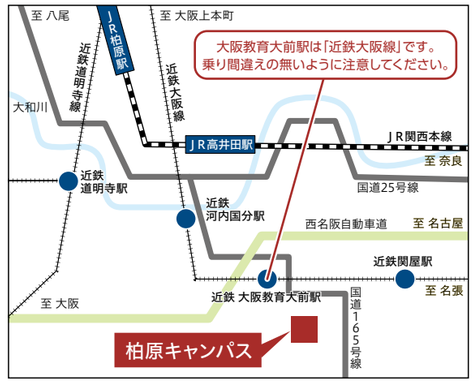
近鉄大和八木 —7分（近鉄大阪線急行 大阪上本町方面）— 五位堂 —10分（近鉄大阪線準急 大阪上本町方面）— 大阪教育大前

意外と近いかも！

キャンパスまでのルートを最寄りの駅から調べてください。

大阪上本町駅から
大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23**分

JR大阪環状線鶴橋駅から
大阪教育大前駅までなら**19**分



天王寺キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

- 大阪教育大前 —1分（近鉄大阪線準急）— 河内国分 —17分（近鉄大阪線急行）— 鶴橋 —4分（JR大阪環状線外回り 天王寺・弁天町方面）
- 大阪 —20分（JR大阪環状線外回り 京橋・鶴橋方面）
- 京橋 —12分（JR大阪環状線外回り 鶴橋・天王寺方面）

寺田町 —約5分（徒歩（約350m））— 天王寺キャンパス

- JR奈良 —35分（JR大和路快速 大阪方面）
- 神戸三宮 —31分（阪神本線快速急行 近鉄奈良方面）— 西九条 —16分（JR大阪環状線内回り 弁天町・天王寺方面）

天王寺 —約10分（徒歩（約600m））— 天王寺キャンパス

大阪市内中心地　天王寺駅から約600m（寺田町駅から350m）

国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学　学務部入試課
〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
TEL072-978-3324
https://osaka-kyoiku.ac.jp/

◎柏原キャンパス陸上競技場にて撮影

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。